平成２６年度

教　育　要　覧

木津川市教育委員会

市章

「人」を組み合わせることで『木』を表し、木津川の清流をイメージしたブルーを基調に動きのあるラインで、「清潔感」と「躍動感」を示しています。

豊かな自然に育まれ、文化を創造し、市民すべての力で大きく飛躍発展する『木津川市』を表現しています。

市の木　桜

市内の各所でその美しい姿を見ることができる「桜」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた木です。

また、初春に誕生しました木津川市にとって、その時を待ちわびたように咲き誇る姿は、まさに木津川市の誕生を祝福すると共に、木津川市の華やかな未来を象徴するにふさわしい木であることから、「桜」を本市の木に制定しました。

市の花　コスモス

木津川市の各所で色様々に咲く「コスモス」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた花です。

また、それぞれに特色・魅力のある 3 町がひとつになり誕生した木津川市にとって、様々な色のコスモスが寄り添い、ひとつの壮大な景観を造る姿は、木津川市の多様性と調和に満ちた発展を象徴するにふさわしい花であることから、「コスモス」を本市の花に制定しました。

目　　　次

Ⅰ　木津川市の概要

1　位置・面積等、歴史、展望、沿革 …… 1

2　木津川市の要図 …… 2

3　各委員等一覧 …… 3

4　教育委員会事務局 …… 8

5　木津川市の財政 …… 14

Ⅱ　教育委員会の活動状況

1　教育委員について …… 15

2　教育委員会の開催状況 …… 15

3　教育委員会の活動状況 …… 20

Ⅲ　学校教育

1　学校教育指導の重点 …… 21

2　施設 …… 26

3　通学区域 …… 30

4　園児・児童・生徒数 …… 31

Ⅳ　社会教育

1　社会教育指導の重点 …… 33

2　施設 …… 35

3　文化財 …… 40

Ⅴ　学校（園）の概要

1　木津幼稚園 …… 49

2　相楽幼稚園 …… 55

3　高の原幼稚園 …… 60

4　木津小学校 …… 66

5　相楽小学校 …… 75

6　高の原小学校 …… 85

7　相楽台小学校 …… 95

8　木津川台小学校 …… 103

9　梅美台小学校 …… 113

10　州見台小学校 …… 121

11　城山台小学校 …… 130

12　加茂小学校 …… 135

13　恭仁小学校 …… 143

14　南加茂台小学校 …… 151

15　上狛小学校 …… 159

16　棚倉小学校 …… 168

17　木津中学校 …… 176

18　木津第二中学校 …… 184

19　木津南中学校 …… 190

20　泉川中学校 …… 198

21　山城中学校 …… 206

Ⅰ　木 津 川 市 の 概 要

１　位置・面積等、歴史、展望、沿革

（１）位置・面積等

位置	東経１３５度４９分・北緯３４度４４分（市役所位置） 京都府の最南端に位置し、東は和束町、笠置町、西は精華町、北は井手町に接している。
面積	８５．１２平方キロメートル
人口	総数　72,411人　男　34,990人　女　37,421人　（平成２６年４月末日現在）
世帯数	27,125世帯　（平成２６年４月末日現在）

（２）歴史

この地域では、古代から木津川が交通路として利用され、淀川を通り大和と瀬戸内を結ぶ航路の起点にあった。奈良時代になると、木津が平城京などの都城建設の木材の引揚げ港として栄え、「木津」という地名の由来となっている。天平１２（西暦７４０）年１２月には、聖武天皇が平城京から加茂町瓶原を中心とした恭仁京へ遷し、５年あまりにわたり日本の首都となった。

また、古くから都と関連の深い地域として発展したこの地域は、近郊農業の地として発展する素地を築いた。

その後、奈良や京都、伊勢、伊賀を結ぶ街道の宿場町として発展するとともに、宇治茶やタケノコなどの主産地として名声を高め、優良な農業地域として栄えた。また、江戸時代には木津川の治水事業や農地の拡大などが進められ、集落が発展し、現在のまちの姿に近いものとなった。

明治時代になると木津川の水運としての役割は小さくなり、鉄道や道路の交通網の整備が進められた。また、茶の栽培や大都市近郊の立地条件を生かした近郊農業が盛んに行われた。

昭和２６年に木津町と相楽村が合併し木津町に、加茂町、当尾村、瓶原村の３町村が合併し加茂町に、昭和３１年に上狛町、棚倉村、高麗村の３町村が合併し山城町になった。

そして、平成１９年３月１２日、木津町・加茂町・山城町が合併し「木津川市」が誕生した。

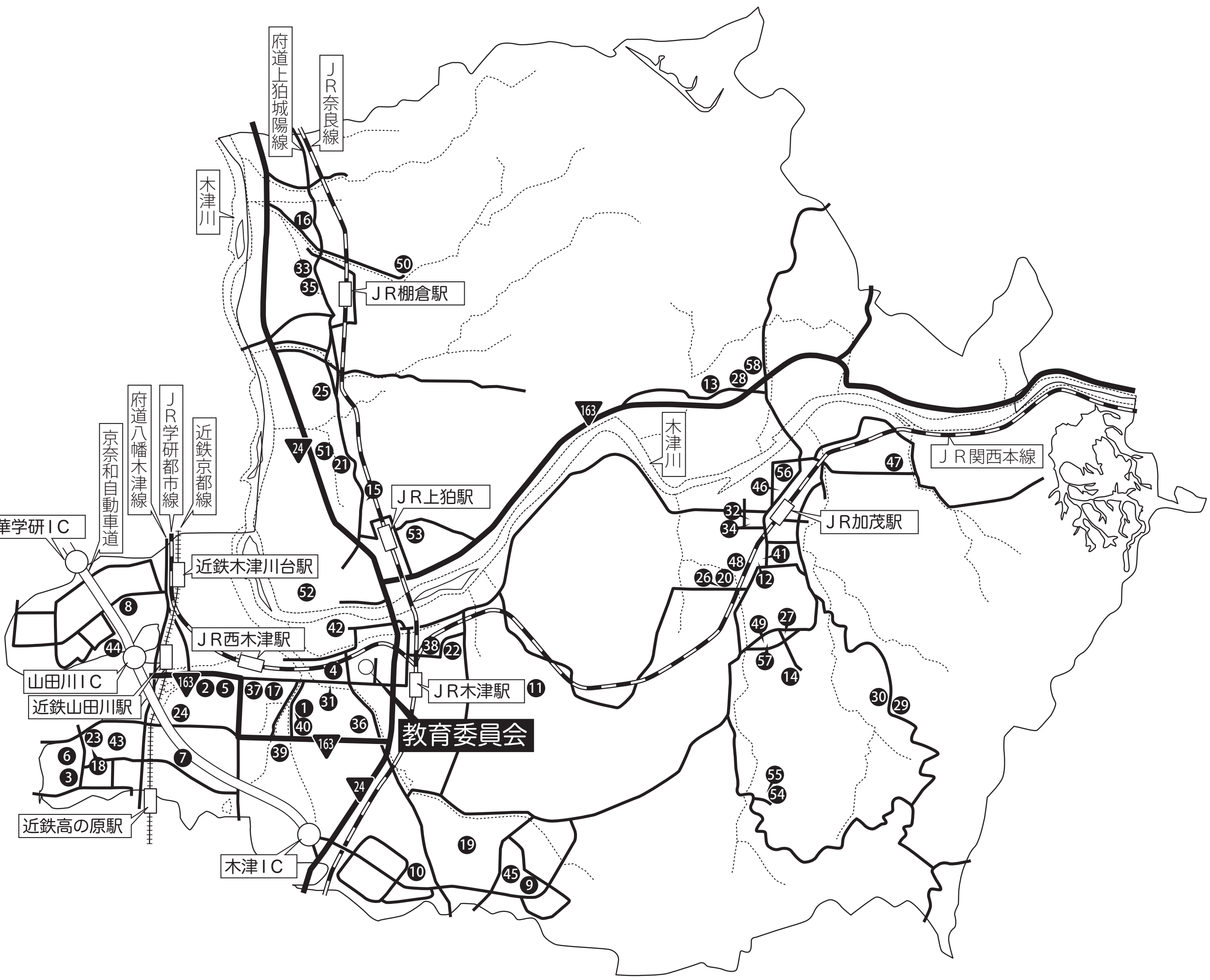
（３）展望

最先端の科学技術を有する関西文化学術研究都市や、多くの国宝を始めとするロマン溢れる文化財、また、緑豊かな里山や農地、伝統など、先人から受け継がれてきた魅力ある資源を大切に守りながら、ひとが耀きともに創る豊かな未来をめざして、新しい魅力あふれる文化創造都市をつくりあげる。

（４）沿革

平成１９年	３月１２日	木津川市誕生（木津町・加茂町・山城町合併による） 木津川市教育委員会発足（所在地：旧木津町教育委員会）
平成１９年	４月　１日	州見台小学校開校
平成２０年	９月　１日	教育委員会事務局、本庁に移転（市役所新庁舎完成に伴う）
平成２２年	４月　１日	加茂学校給食センター開所
平成２２年	５月　１日	加茂図書館、加茂支所に移転
平成２２年	５月２１日	文化財整理保管センター分室開所
平成２３年	４月　１日	木津南中学校開校
平成２４年	３月３１日	当尾小学校閉校
平成２６年	３月１２日	木津中学校新校舎竣工式
平成２６年	３月３１日	木津小学校鹿背山分校閉校
平成２６年	４月　１日	城山台小学校開校

2　木津川市の要図



❶ 木津幼稚園
❷ 相楽幼稚園
❸ 高の原幼稚園
❹ 木津小学校
❺ 相楽小学校
❻ 高の原小学校
❼ 相楽台小学校
❽ 木津川台小学校
❾ 梅美台小学校
❿ 州見台小学校
⓫ 城山台小学校
⓬ 加茂小学校
⓭ 恭仁小学校
⓮ 南加茂台小学校
⓯ 上狛小学校
⓰ 棚倉小学校
⓱ 木津中学校
⓲ 木津第二中学校
⓳ 木津南中学校
⓴ 泉川中学校
㉑ 山城中学校
㉒ 府立木津高等学校
㉓ 府立南陽高等学校
㉔ 木津学校給食センター
㉕ 山城学校給食センター
㉖ 加茂学校給食センター
㉗ 南加茂台公民館
㉘ 瓶原公民館
㉙ 当尾公民館
㉚ 当尾の郷会館
㉛ 中央図書館
㉜ 加茂図書館
㉝ 山城図書館
㉞ 加茂文化センター
㉟ 山城総合文化センター
㊱ 中央交流会館
㊲ 西部交流会館
㊳ 東部交流会館
㊴ 中央体育館
㊵ 市民スポーツセンター
㊶ 加茂体育館
㊷ 木津グラウンド
㊸ 兜台公園
㊹ 木津川台公園
㊺ 梅美台公園
㊻ 加茂プール
㊼ 加茂グラウンド
㊽ 赤田川グラウンド
㊾ 塚穴公園
㊿ 不動川公園
51 やすらぎタウン山城プール
52 山城コミュニティ運動公園
53 上狛駅東公園
54 加茂青少年山の家
55 加茂プラネタリウム館
56 加茂青少年センター
57 文化財整理保管センター
58 文化財整理保管センター分室

3　各委員等一覧

(1)教育委員　　　　　　　　（平成26年6月1日現在）

職　名	氏　名
委員長	杉本　清重
委員長職務代理者	有賀　やよい
委員	小松　信夫
委員	高橋　史代
教育長	森永　重治

(2)社会教育委員　　　　　　（平成26年4月1日現在）

職　名	氏　名
委員長	武田　正一
副委員長	髙原　和子
副委員長	木村　勝
委員	葛谷　髙明
〃	武田　博利
〃	岡田　敏
〃	福井　美保
〃	三上　かず子
〃	森本　茂子
〃	花田　康子
〃	米田　崇
〃	井上　若菜
〃	渡邊　素子
〃	森岡　康彰

(3)スポーツ推進委員　　　　　　　　　　（平成26年4月1日現在）

職名	氏名	専門種目	職名	氏名	専門種目
委員長	尾崎　田鶴	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ、野外活動	委員	青井　栄子	卓球
副委員長	河口　宏	ｻｯｶｰ、ﾊﾞｳﾝﾄﾞﾃﾆｽ	委員	松原　稔	野球、剣道
副委員長	木村　勝	ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、野球、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	委員	永野　彰	全般
委員	石本　将隆	全般	委員	駒　雅文	陸上、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ
委員	戸嶋　尚子	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ	委員	森川　恭美	ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ
委員	波尻　寛之	ｽｷｰ、ｺﾞﾙﾌ、卓球	委員	染井　洋子	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ
委員	大倉　竹次	ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ、ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ	委員	新田　浩	水泳
委員	小西　彰	水泳	委員	早川　幸子	ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ
委員	光橋　通信	野球、ｽｷｰ	委員	谷川　博則	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ
委員	杉田　賢知	野球、陸上	委員	小西　将裕	ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ
委員	徳山　昌伸	ｻｯｶｰ、野球、陸上	委員	石崎　完治	ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ
委員	宮川　慶子	水泳、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ、ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ	委員	豊田　明子	ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ

(4)文化財保護審議会審議員　　　　（任期：平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	白石　太一郎	審議員	田辺　英夫
副会長	中津川　敬朗	〃	岩井　照芳
審議員	伊東　史朗	〃	浦本　幹男
〃	源城　政好	〃	炭本　武
〃	増井　正哉	〃	大山　順子

(5)木津学校給食センター運営委員　　　　　　　　　　　　　　　　　　（平成26年4月1日現在）

役職名	氏名	役職名	氏名
教育委員	有賀 やよい	高の原小学校校長	松本 茂人
木津中学校校長	河村 保	〃 ＰＴＡ副会長	今津 武士
〃 ＰＴＡ書記	天津 珠生	相楽台小学校校長	岡田 しげ子
木津第二中学校校長	森岡 康彰	〃 学級委員	岩見 華南子
〃 ＰＴＡ書記	松尾 吉子	木津川台小学校校長	松田 秀
木津南中学校校長	谷村 信治	〃PTA保健体育委員長	中嶋 みどり
〃 ＰＴＡ会長	山合 玲子	木津幼稚園園長	井上 直美
木津小学校校長	柚木 泰人	〃 ＰＴＡ副会長	松井 淳子
〃PTA福祉厚生委員長	井谷 可代	相楽幼稚園園長	井ノ上 恵己子
相楽小学校校長	西村 敏行	〃 ＰＴＡ副会長	木原 あかね
〃PTA保健体育部副部長	角井 仁美		

(6)山城学校給食センター運営委員　　　　　　　　　　　　　　　　　　（平成26年4月1日現在）

役職名	氏名	役職名	氏名
教育委員	小松 信夫	棚倉小学校校長	池尻 寛之
山城中学校校長	井上 桂一	〃 ＰＴＡ庶務	中野 友香子
〃 ＰＴＡ副会長	高岡 伸行	高の原幼稚園園長	川﨑 由記子
上狛小学校校長	大西 篤	〃 ＰＴＡ会長	安藤 貴子
〃 ＰＴＡ会長	小嶋 秀規		

(7)加茂学校給食センター運営委員　　　　　　　　　　　　　　　　　　（平成26年4月1日現在）

役職名	氏名	役職名	氏名
教育委員長	杉本 清重	城山台小学校校長	安倉 晃一
教育委員	高橋 史代	〃PTA文化・保体委員長	河村 智穂
泉川中学校校長	濵 喜代巳	加茂小学校校長	大仲 順子
〃 ＰＴＡ副会長	清水 百合子	〃 ＰＴＡ会長	北村 洋子
梅美台小学校校長	大谷 和久	恭仁小学校校長	奥村 郁雄
〃PTA保健体育委員長	大橋 志乃	〃 ＰＴＡ会長	板谷 亜希子
州見台小学校校長	城野 智	南加茂台小学校校長	小嶋 二朗
〃PTA保健体育委員長	更井 裕子	〃 ＰＴＡ会長	上月 亜矢子

(8)就学指導委員会　　　　　　　　　　　（平成26年4月1日現在）

職名	氏名	所属
会長	松田 秀	木津川台小学校
副会長	奥村 郁雄	恭仁小学校
〃	波尻 寛之	棚倉小学校
〃	南 享子	いづみ保育園
〃	戎崎 綾子	州見台小学校ＰＴＡ
庶務	奥田 静代	加茂小学校
庶務・会計	安見 和代	木津第二中学校
事務局・会計	竹本 充代	学校教育課
事務局・庶務	唐井 隆圭	学校教育指導主事

（9）学校（園）評議員一覧　　（平成26年4月1日現在）

学校（園）名	氏　名	学校（園）名	氏　名
木津小学校	三上　かず子 光橋　通信 山本　次郎	上狛小学校	岡嶋　知子 安井　千鶴子 高田　明
相楽小学校	武田　博利 和田　稔 岸原　文江	棚倉小学校	原田　亘啓 井上　博子 尾﨑　吉博 大西　晴己 古川　禎昭
高の原小学校	鴛田　美幸 宇惠　義人	木津中学校	山本　次郎 塚田　高司 濵野　陽子
木津川台小学校	戸川　誠二 福島　祥子	木津第二中学校	小谷　一彦 鴛田　美幸 柳ケ瀬　弘宣
相楽台小学校	西澤　浩美 岡田　敏 田島　忠夫	木津南中学校	木村　洋一 大竹　善夫 角井　正幸 村田　紀美子
梅美台小学校	森田　省三 森田　美佳 藤井　千賀	泉川中学校	吉村　泰彦 大西　清司 佐伯　功 福井　美保
州見台小学校	駒　好修 永野　三和子 上島　裕子	山城中学校	高井　啓介 井上　雅至 木村　勝
城山台小学校	吉井　雅晃 高垣　りか 三上　かず子	木津幼稚園	中下　和男 福守　和美
加茂小学校	川下　浩美 杉本　一雄 坂本　利正 和田　正司	相楽幼稚園	明平　正覺 山畑　節子
恭仁小学校	石﨑　光二 山﨑　節子	高の原幼稚園	宇恵　義人 牧井　富子
南加茂台小学校	佐伯　功 大西　清司 髙原　和子		

(10)幼・小・中学校(園)長会　　（平成26年4月1日現在）

役職名		氏名	所属
校園長会	会長	奥村　郁雄	恭仁小学校
	副会長	西村　敏行	相楽小学校
	副会長	河村　保	木津中学校
	副会長	井上　直美	木津幼稚園
	庶務	森岡　康彰	木津第二中学校
	会計	松本　茂人	高の原小学校
人権教育研究会長		小嶋　二朗	南加茂台小学校
就学指導委員会長		松田　秀	木津川台小学校
小学校体育連盟会長		波尻　寛之	棚倉小学校
社会科副読本編集委員会		大谷　和久	梅美台小学校
PTA連絡協議会		城野　智	州見台小学校
不登校対策連絡協議会		河村　保	木津中学校
道徳教育研究会		柚木　泰人	木津小学校
学力充実推進委員会 小中連携推進委員会		濵　喜代巳	泉川中学校
教務主任会担当		森岡　康彰	木津第二中学校
		城野　智	州見台小学校
学校（園）保健会・連絡協議会		大西　篤	上狛小学校
		井上　直美	木津幼稚園
青少年育成委員会		安倉　晃一	城山台小学校
		谷村　信治	木津南中学校
教育研究会		谷村　信治	木津南中学校
国際交流協会		濵　喜代巳	泉川中学校
男女共同参画推進懇話会		小嶋　二朗	南加茂台小学校
学校事務職員会		岡田　しげ子	相楽台小学校
特別支援教育推進委員会		大仲　順子	加茂小学校
「科学のまちのこどもたち」を育てる 木津川市立学校教員研究会		松本　茂人	高の原小学校
		井上　桂一	山城中学校
情報教育研究会		井上　桂一	山城中学校
		安倉　晃一	城山台小学校

(11)歴代教育委員

氏　　名	就任年月日	退任年月日	備　　考
杉 本　清 重	平成19年 3月12日	現在に至る	任期4年※
藤 井　　昇	平成19年 3月12日	平成19年 5月10日	
山 本　欽 一	平成19年 3月12日	平成22年 5月10日	任期3年※
原　　俊 一	平成19年 3月12日	平成21年 5月10日	任期2年※
久 保　三左男	平成19年 3月12日	平成23年 5月10日	任期4年※
有 賀　やよい	平成19年 5月11日	平成20年 5月10日	任期1年※
西 井　敦 子	平成20年 5月11日	平成24年 5月10日	
有 賀　やよい	平成21年 5月11日	現在に至る	
小 松　信 夫	平成22年 5月11日	現在に至る	
森 永　重 治	平成23年 5月13日	現在に至る	
高 橋　史 代	平成24年 5月11日	現在に至る	

※合併後、最初に任命される委員の任期(平成19年3月12日～5月10日は暫定委員)

(12)歴代教育委員長

氏　　名	就任年月日	退任年月日	備　　考
杉 本　清 重	平成19年 3月12日	現在に至る	

(13)歴代教育長

氏　　名	就任年月日	退任年月日	備　　考
久 保　三左男	平成19年 3月12日	平成23年 5月10日	
森 永　重 治	平成23年 5月13日	現在に至る	

4　教育委員会事務局

（1）所在地　　　京都府木津川市木津南垣外110番地9

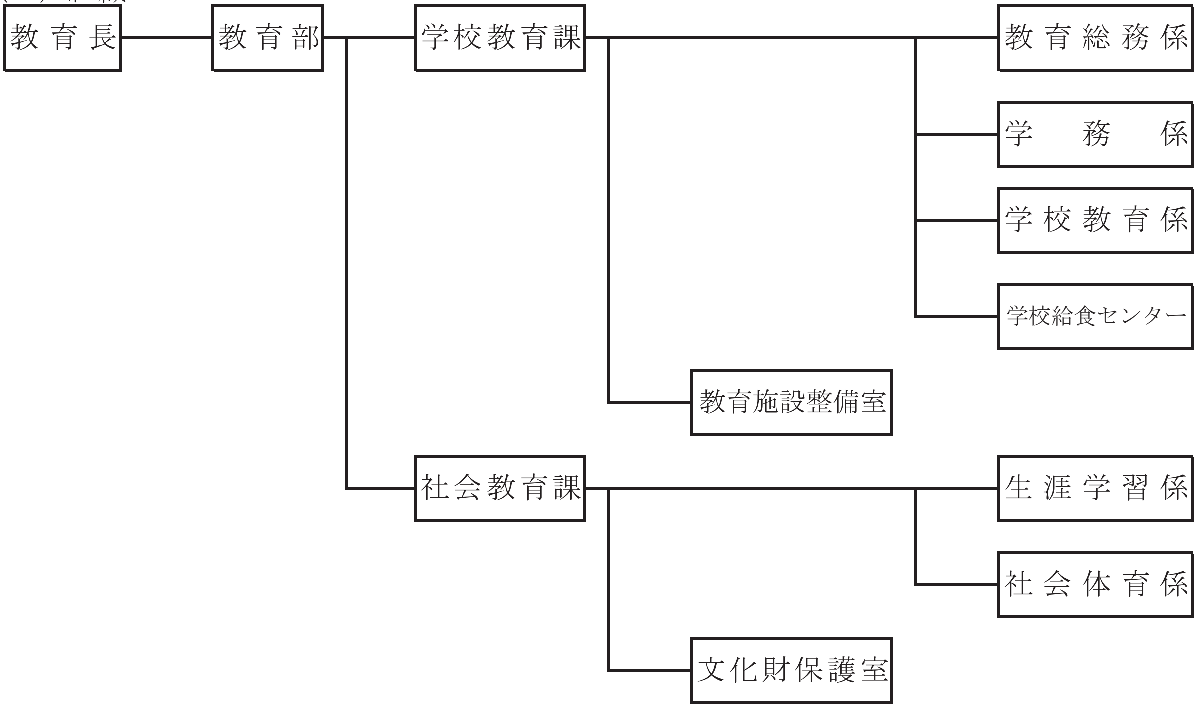
郵便番号　619-0286

電　　話　(0774) 72-0501 ㈹

学校教育課	(0774) 75-1230	（直通）
教育施設整備室	(0774) 75-1231	（直通）
社会教育課	(0774) 75-1233	（直通）
文化財保護室	(0774) 75-1232	（直通）

Ｆ Ａ Ｘ　(0774) 73-2566

（2）組織



(3)職員配置(平成26年4月1日現在)

教育長	1名
教育部長	1名
教育部理事	3名
教育部次長	1名

課名等	課長	課長補佐	係名等	係長	係員	
学校教育課	(1)	3	教育総務係	1	主任	1
			学務係	1	主任	1
					主事	1
			学校教育係	(1)	主任	1
					主事	1
			学校教育指導主事		嘱託	4
			英語指導助手		嘱託	3
			適応指導教室		嘱託	1
			学校安全対策指導員		嘱託	1
教育施設整備室	室長1	1		1	主任	2
					技師	1
木津学校給食センター	所長1		木津学校給食センター		主任	1
					嘱託	6
			山城学校給食センター		主査	1
					嘱託	4
			加茂学校給食センター		主任専門員	1
					嘱託	1
木津幼稚園	園長1	教頭2			教諭	6
					嘱託	3
相楽幼稚園	園長1	教頭1			教諭	4
					嘱託	2
高の原幼稚園	園長1	教頭1			教諭	5
					嘱託	2
小学校13校						
中学校5校						
社会教育課	1	2	生涯学習係	1	主査	1
					主任	2
					主事	1
			社会体育係	1	主査	1
			社会教育指導員		嘱託	6
文化財保護室	室長1			1	主査	1
					主任	1
			文化財指導員		嘱託	1
図書館	館長(1)		中央図書館	1	主査	2
					主任	1
					主任専門員	1
					嘱託	3
			加茂図書館	担当係長1	嘱託	2
			山城図書館	担当係長1	嘱託	2
加茂文化センター						
山城総合文化センター						
中央交流会館						
西部交流会館						
東部交流会館	館長1				主任専門員	(1)
					嘱託	(1)
南加茂台公民館	館長1				嘱託	(1)
瓶原公民館	館長(1)				嘱託	1
当尾公民館	館長(1)				嘱託	1
加茂青少年山の家	館長1				嘱託	(1)
加茂プラネタリウム館	館長(1)				嘱託	(1)
加茂青少年センター						
中央体育館						
市民スポーツセンター						
加茂体育館						
やすらぎタウン山城プール						

※( )内は兼務職員数

(4) 事務分掌

ア　学校教育課

教育総務係
①　教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
②　教育委員会の会議に関すること。
③　教育委員に関すること。
④　公印の保管に関すること。
⑤　教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
⑥　公文書の保管その他文書に関すること。
⑦　表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
⑧　京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
⑨　教育委員会の職員（府費負担教職員を除く。）の人事、給与及び福利厚生等に関すること。
⑩　教育委員会規則等の公布等に関すること。
⑪　教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
⑫　教育費の調査及び統計に関すること。
⑬　後援申請に関すること。
⑭　教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
⑮　公用車の管理に関すること。
⑯　その他教育部における課に属さない事項等の処理に関すること。
⑰　課の庶務に関すること。

学務係
①　学校の組織編成に関すること。
②　通学区域に関すること。
③　児童生徒の安全に関すること。
④　学齢簿の編成及び整備に関すること。
⑤　児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関すること。
⑥　児童生徒の就学猶予又は免除に関すること。
⑦　児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関すること。
⑧　小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑨　就学時健康診断に関すること。
⑩　府費負担教職員の人事、給与等に関すること。
⑪　府費負担教職員の研修に関すること。
⑫　市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑬　所掌に係る調査及び基幹統計に関すること。
⑭　市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑮　市立幼稚園に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑯　市立幼稚園の使用料に関すること。
⑰　市立幼稚園児の入退園に関すること。
⑱　市立幼稚園の通園バスの運行・管理等に関すること。
⑲　市立幼稚園の教材備品の管理に関すること。
⑳　市立・私立幼稚園の補助に関すること。
㉑　その他学務に関すること。

学校教育係
① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。
② 教育課程及び学習指導に関すること。
③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。
④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。
⑤ 就学指導委員会に関すること。
⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。
⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取り扱いに関すること。
⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
⑨ 外国語指導助手に関すること。
⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。
⑪ 就学奨励費に関すること。
⑫ 就学援助に関すること。
⑬ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。
⑭ 教育相談に関すること。
⑮ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。
⑯ その他学校教育に関すること。

学校給食センター
① 学校給食センターの設置、管理及び運営に関すること。
② 学校給食に関すること。

教育施設整備室
① 教育財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
② 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設台帳に関すること。
③ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設に係る調査に関すること。
④ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設の建設計画に関すること。
⑤ 市立幼稚園、小学校及び中学校の新設及び改修に関すること。
⑥ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設の管理及び営繕に関すること。
⑦ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設の用途廃止に関すること。
⑧ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設の防災に関すること。
⑨ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設（通学路を含む。）の環境整備に関すること。
⑩ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
⑪ 市立幼稚園、小学校及び中学校の設備に関すること。
⑫ 市立幼稚園、小学校及び中学校の使用許可に関すること。
⑬ 市立幼稚園、小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
⑭ 教育委員会の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
⑮ 公民館、図書館、交流会館及びその他社会教育施設の新設及び大規模改修に関すること。
⑯ 体育館・プール及びその他社会体育施設の新設及び大規模改修に関すること。

イ　社会教育課

生涯学習係
①　社会教育の総合企画及び調整に関すること。
②　公民館、図書館、交流会館及びその他社会教育施設の設置、管理及び運営に関すること。（施設の新設及び大規模改修を除く。）
③　社会教育委員、公民館運営審議会及び図書館協議会に関すること。
④　社会教育活動の奨励に関すること。
⑤　青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関すること。
⑥　社会教育関係団体の指導育成及び援助に関すること。
⑦　文化・芸術の振興に関すること。
⑧　国民文化祭及び平城遷都記念事業に関すること。
⑨　成人式に関すること。
⑩　学校と社会教育との連携に関すること。
⑪　社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑫　生涯学習の総合企画及び調整に関すること。
⑬　生涯学習関係団体との連絡調整に関すること。
⑭　教育ボランティア及び指導者の育成に関すること。
⑮　生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑯　生涯学習相談に関すること。
⑰　国際交流に関すること。
⑱　その他生涯学習推進に関すること。
⑲　課の庶務に関すること。

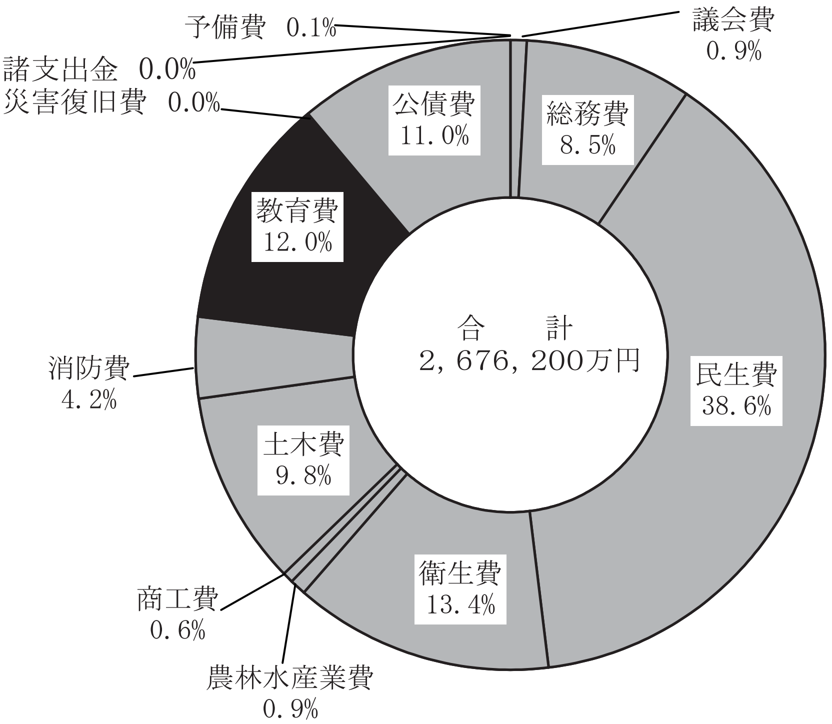
社会体育係
①　体育・スポーツの総合企画及び調整に関すること。
②　スポーツ推進委員に関すること。
③　体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関すること。
④　社会体育事業の企画立案及び運営に関すること。
⑤　スポーツ指導者の育成に関すること。
⑥　社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関すること。
⑦　体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑧　スポーツ相談に関すること。
⑨　学校体育施設の開放事業に関すること。
⑩　体育館、プール及びその他社会体育施設の設置、管理及び運営に関すること。
⑪　その他社会体育に関すること。

文化財保護室
①　文化財関係総括に関すること。
②　文化財関係計画の立案に関すること。
③　文化財の調査に関すること。
④　文化財保護審議会等に関すること。
⑤　文化財保護団体に関すること。
⑥　文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。
⑦　講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。

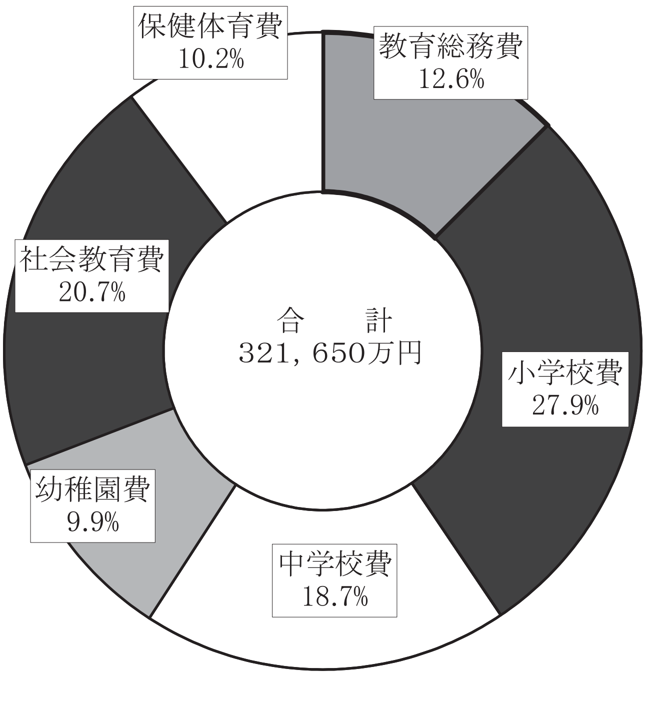
⑧	文化財補助金に関すること。
⑨	埋蔵文化財の発掘に関すること。
⑩	埋蔵文化財の周辺整備に関すること。
⑪	歴史考古資料の収集、保存、調査、整理及び研究に関すること。
⑫	文化財関係施設に関すること。
⑬	文化財資料の利用者に対する情報提供及び指導助言に関すること。
⑭	市史編さんに関すること。
⑮	その他文化財の管理調査に関すること。

5　木津川市の財政

目的別歳出予算（平成26年度）



教育費歳出予算（平成26年度）



Ⅱ　教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

1. 教育委員について

市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し見識を有する者から市長が市議会の同意を得て任命した5人の委員で構成されています。

平成25年度　木津川市教育委員会委員

役職名	氏名	備考
委員長	杉本　清重	
委員長職務代理者	有賀　やよい	
委員	高橋　史代	
委員	小松　信夫	
委員（教育長）	森永　重治	

2. 教育委員会の開催状況

平成25年度教育委員会会議開催状況一覧

No.	件名	開催日
1	第 4回定例会	平成25年 4月24日
2	第 5回定例会	平成25年 5月16日
3	第 6回定例会	平成25年 6月13日
4	第 7回定例会	平成25年 7月25日
5	第 8回定例会	平成25年 8月28日
6	第 9回定例会	平成25年 9月26日
7	第 1回臨時会	平成25年10月 1日
8	第10回定例会	平成25年10月25日
9	第11回定例会	平成25年11月20日
10	第12回定例会	平成25年12月25日
11	第 1回定例会	平成26年 1月22日
12	第 2回定例会	平成26年 2月20日
13	第 1回臨時会	平成26年 2月26日
14	第 3回定例会	平成26年 3月26日

【第4回定例会　平成25年4月24日】

○ 議　事

議案第23号　木津川市社会教育委員の委嘱について

【第5回定例会　平成25年5月16日】

○ 議　事

議案第24号　木津川市教育委員会委員長の選挙について

議案第25号　木津川市教育委員会委員長職務代理の指定について

議案第26号　木津川市立学校評議員の委嘱について

議案第27号　木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

議案第28号　木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

【第6回定例会　平成25年6月13日】

○ 議　事

議案第29号　平成25年度木津川市一般会計補正予算第1号について

議案第30号　木津川市立幼稚園条例の一部改正について

○ その他

(1)教育振興基本計画策定委員会会議報告(第2回・第3回)

【第7回定例会　平成25年7月25日】

○ 議　事

議案第31号　木津川市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

報告第　1号　木津川市育英資金の交付状況について

○ その他

(1)平成25年第2回木津川市議会定例会一般質問について

(2)学校給食アンケートについて

(3)木津川市教育振興基本計画策定委員会会議報告(第4回)

(4)木津川市生涯学習推進計画策定委員会ワーキング会議報告

(5)いじめ防止対策推進法について

【第8回定例会　平成25年8月28日】

○ 議　事

議案第32号　平成25年度木津川市一般会計補正予算第2号について

議案第33号　木津川市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

○ その他

(1)木津川市教育振興基本計画について

（2）木津川市生涯学習推進計画について
（3）木津中学校南校舎の吹き付けアスベストについて
（4）平成25年度第1回いじめ調査概要について
（5）新任 AET について
（6）平成26年度成人式について
（7）平成25年度幼稚園・小学校運動会、中学校体育大会教育委員等出席者（案）について

【第9回定例会　平成25年9月26日】
○ 議　事
議案第34号　木津川市立幼稚園規則の一部改正について
○　その他
（1）（仮称）城山台小学校の校章について
（2）平成25年第3回木津川市議会定例会一般質問について

【第1回臨時会　平成25年10月1日】
○ 議　事
議案第35号　木津川市立幼稚園使用料減免規則の一部改正について
議案第36号　木津川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

【第10回定例会　平成25年10月25日】
○ 議　事
議案第37号　児童及び生徒の入学すべき学校区を指定する規則の一部改正について
○ その他
（1）木津川市教育振興基本計画（中間案）について
（2）木津川市生涯学習推進計画（中間案）について
（3）城山台小学校の校章について

【第11回定例会　平成25年11月20日】
○ 議　事
議案第38号　木津川市社会教育委員条例の一部改正について
議案第39号　木津中学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて
議案第40号　（仮称）城山台小学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて
議案第41号　平成25年度木津川市一般会計補正予算第5号について

○　その他

（1）学校給食に関するアンケート結果について

【第12回定例会　平成25年12月25日】

○ 議　案

議案第42号　木津川市いじめ防止等対策委員会条例の制定について

議案第43号　木津川市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

議案第44号　木津川市いじめ防止等対策チーム設置要綱の制定について

議案第45号　木津川市立小学校及び中学校ハラスメントの防止に関する要綱の一部改正について

○ その他

（1）学校給食費の改定について

（2）平成25年第4回木津川市議会定例会一般質問について

【第1回定例会　平成26年1月22日】

○ 議　案

議案第1号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

議案第2号　学校給食費の改定について

○ その他

（1）平成25年度幼稚園：卒園式、小・中学校：卒業式　教育委員等出席者（案）

【第2回定例会　平成26年2月20日】

○ 議　事

議案第　3号　木津川市教育振興基本計画の策定について

議案第　4号　木津川市生涯学習推進計画の策定について

議案第　5号　木津川市いじめ防止基本方針の制定について

議案第　6号　平成25年度木津川市一般会計補正予算第6号について

議案第　7号　平成26年度木津川市一般会計予算について

議案第　8号　木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

○ その他

（1）　平成26年度幼稚園：入園式、小・中学校：入学式　教育委員等出席者（案）

【第1回臨時会　平成26年2月26日】

○ 議　事

議案第 9号 平成26年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第3回定例会 平成26年3月26日】

○ 議 事

議案第10号 木津川市教育委員会規則の一部改正について

議案第11号 木津川市教育委員会公印規則の一部改正について

議案第12号 木津川市教育委員会学校教育指導主事の設置に関する規則の一部改正について

議案第13号 木津川市立幼稚園規則の一部改正について

議案第14号 木津川市社会教育指導員の設置等に関する規則の一部改正について

議案第15号 公民館長等の任命について

議案第16号 木津川市スポーツ推進委員の委嘱について

○ その他

(1) 平成26年第1回木津川市議会会派代表質問及び一般質問について

(2) 学校教育の重点について

(3) 社会教育の重点について

(4) 木津川市指定文化財について(報告)

(5) 土曜日を活用した教育活動について(報告)

3. 教育委員会の活動状況

平成25年度　研修等参加状況

開催日	件　名	開催場所
平成25年 4月22日	山城地方教育委員会連絡協議会 第1回理事会	京都府山城教育局
5月10日	山城地方教育委員会連絡協議会定期総会 及び委員長部会・教育長部会合同研修会	木津川市中央図書館
5月24日	京都府市町村教育委員会連合会 定期総会・委員研修会	京都府総合教育センター
7月　3日	相楽地方教育委員会連絡協議会 教育委員合同研修会	木津川市中央図書館
10月18日	近畿市町村教育委員研修大会	橿原文化会館
11月　1日	京都府内市町(組合)教育委員研修会	ルビノ京都堀川
11月　5日	市町村教育委員会研究協議会	島根県松江市
平成26年 2月　6日	相楽地方教育委員会連絡協議会 委員長・教育長合同会議	木津川市中央図書館
2月12日	山城地方教育委員会連絡協議会 教育委員研修会	京都府総合教育センター

Ⅲ　学　校　教　育

1　学校教育指導の重点

学校教育では、平成26年3月に「木津川市教育振興基本計画　～生きる力をはぐくみ　新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」を策定しました。今後は、この計画に基づき、毎年学校教育の重点を定め、取り組みます。

平成26年度学校教育の重点

重点目標１
質の高い学力をはぐくむ

（１）学習意欲と学習習慣
（２）基礎的・基本的な知識・技能
（３）活用する力

① 授業づくりのための研修の充実(1)(2)(3)
② 外部の専門家や研究施設と連携した体験授業の充実(1)(2)(3)
③ 学力向上を目指した学校間連携の推進(1)(2)(3)
④ 家庭と連携した学習習慣・生活習慣の確立に向けた取組の充実(1)
⑤ ICT機器の計画的な充実によるわかる授業の充実(1)(2)(3)
⑥ 「全国学力学習状況調査」「京都府学力診断テスト」等を活用した個に応じた指導の充実と授業改善(2)(3)
⑦ 補充学習を活用した基礎・基本の徹底を図る学習活動の充実(2)(3)
⑧ 「ことばの力」をはぐくむための各教科等での言語活動の充実(3)

〇ホップアップ学習(小学校補充学習)
〇ステップアップ学習(中学校補充学習)
〇チャレンジ学習(中学校英検・漢検向け学習)
〇「科学のまちのこどもたち」を育てる木津川市立学校教員研究会

○木津川市子どもはぐくみ人材バンク
○きづがわっ子生活カリキュラム
　（ベーシック木津川版）
○木津川市式教材学習バンク
○木津川市式学校間連携制度
○市内統一学力テスト

◇中１振り返り集中学習　　◇中２学力アップ集中講座

重点目標２
豊かな心と規範意識をはぐくむ

（４）道徳教育
（５）生徒指導
（６）読書活動

① 効果的・実践的な資料の活用(4)
② 校種間連携による道徳教育の充実(4)
③ 生徒指導の機能を生かした児童生徒の意欲を引き出す教育活動の充実(5)
④ コミュニケーション能力の育成とあいさつ運動などの展開(5)
⑤ いじめや不登校の未然防止と早期発見・早期対応(5)
⑥ 幼少期からの本に親しむ機会の充実(6)
⑦ 子どもが自ら進んで読書活動に取り組むための環境づくり(6)

〇木津川市道徳教育研究会　〇スクールカウンセラー　〇スクールソーシャルワーカー
〇木津川市適応指導教室　〇カウンセリングルーム
〇としょかんスタートセット　〇朝読書･昼読書　〇学校図書館補助員
〇市民ぐるみあいさつ運動　〇木津川市いじめ防止等対策委員会　〇木津川市いじめ防止等対策チーム

○学校図書館システム整備事業

◇私たちの道徳　◇京のこども　明日へのとびら　◇ファミリー読書

重点目標３
健やかな体をはぐくむ

（７）食育
（８）体力の向上
（９）健康の保持増進

① 食に関する指導の充実と望ましい健全な生活習慣の確立(7)(8)(9)
② 地域社会と連携した食育の充実(7)
③ 安心・安全な学校給食の実施(7)(8)(9)
④ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を活用した子どもの体力・運動能力向上に向けた取組の充実(8)(9)
⑤ 学校体育や運動部活動の充実(8)(9)
⑥ 大学等関係機関との連携や小中連携を通じたスポーツの推進(8)
⑦ 喫煙・飲酒・薬物乱用の防止教育や性に関する教育の充実(9)
⑧ PTAや家庭と連携した基本的な生活習慣の確立に向けた取組の充実(7)(9)

〇木津川市食育推進事業　〇5分間スタディ　〇栄養教諭による出前授業　〇アレルギー対応マニュアル　〇地産地消
〇木津川市立中学校運動部活動連携事業　〇木津川市学校保健連絡協議会

◇京の子ども元気なからだスタンダード

重点目標４
一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

（10）人権教育
（11）特別支援教育
（12）キャリア教育
（13）幼児教育

① 人権教育推進体制の充実及び全体計画や年間計画・指導方法の工夫改善(10)
② 人権教育推進のための教職員の認識の深化と指導力向上(10)
③ 子どもたちが主体的に学ぶための教材等の開発(10)(11)
④ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携を図った人権尊重の環境づくり(10)(11)
⑤ 個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成・活用と適切な支援(11)
⑥ 校内委員会や特別支援教育コーディネーター等の校内組織の充実(11)
⑦ 地域支援センターや相楽地方通級指導教室等との連携による支援(11)
⑧ ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと教育環境の充実(11)
⑨ 体験活動の充実(10)(12)
⑩ 発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進(12)
⑪ 進路相談体制や支援体制の充実(12)
⑫ 様々な人との触れ合いを通した豊かな人間関係の構築(13)
⑬ 子どもや保護者の不安を解消し安心して子育てができる環境の充実(13)

○木津川市人権教育研究会　○相談支援ファイル
○特別教育支援員
○木津川市私立幼稚園就園奨励費
○公立幼稚園使用料減免

◇KYO発見　仕事・文化体験活動推進事業
◇親のための応援塾
◇もうすぐ１年生　体験入学推進事業

重点目標５
社会の変化に対応し、
未来を確かに生きる力をはぐくむ

（14）情報教育
（15）国際理解教育
（16）環境教育

① 発達の段階に応じた情報活用能力の育成(14)
② 学習意欲の向上や活用する力の向上に向けたICT機器やデジタル教材の積極的な活用(14)
③ 正しい知識と情報モラルを身につけるための教育の充実と教職員の研修の充実(14)
④ 国際交流等による国際感覚をみがくための取組の充実(15)
⑤ 帰国子女や外国人児童生徒への支援(15)
⑥ 環境保全に向けた自発的活動の充実(16)
⑦ 小・中・高・大学との連携による環境学習や取組の充実(16)

○木津川市情報教育研究会　○外国語指導助手　○小学校英語講師
○木津川市ペンフレンド制度　○サンタモニカ交流事業
○ICT教育推進事業　○ICT支援員

重点目標６
魅力ある・信頼される学校・園をつくる

（17）学校の組織力と教職員の資質向上
（18）魅力ある学校・園づくり
（19）安全・安心なより良い教育環境の整備

① 協働できる体制づくりに向けた学校組織マネジメント能力の向上(17)
② OJT等による教職員の資質向上に向けた取組の充実(17)
③ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取組の充実(17)
④ 特色ある学校づくりの推進(18)
⑤ 地域の人材を生かしつつ学校を中核とした地域の絆を深める取組の充実(18)
⑥ 学校評価（自己評価及び学校関係者評価）の充実による学校運営の改善と「開かれた学校」づくり(18)
⑦ 危機管理体制の整備と警察等との連携による教職員の研修の充実(19)
⑧ 通学路の定期的な安全点検の実施(19)
⑨ 実践的な防犯・安全教育の実施(19)
⑩ ユニバーサルデザインの視点に立った教育環境の充実(19)

○木津川市特色ある学校づくり推進事業　○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○危機管理マニュアル　○木津川市通学路安全対策協議会　○学校安全マップ
○施設管理事業(耐震化・吊り天井・転落防止柵設置)　○幼稚園機械警備事業

○校務用PC整備事業
○施設管理事業
（非構造部材対応・老朽化対策）

重点目標７
地域の力を活かして子どもをはぐくむ

（20）地域ぐるみによる子育て支援
（21）家庭教育を支援
（22）生涯学習環境
（23）安全対策

① 地域コーディネーターと連携した地域ぐるみで子どもを守り育てる体制の充実(20)
② 地域の人材を活用した教育活動の充実(20)
③ 保護者への子育てに対する相談・サポート体制の充実(21)
④ 保護者が学び合える環境の整備(21)
⑤ 児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応の教職員研修の充実と関係機関との連携強化(21)
⑥ 就学に対する保護者への負担軽減(21)
⑦ スポーツ教室や文化講座開催等による生涯学習環境の充実(22)
⑧ 市民の生涯学習活動の支援(22)
⑨ ボランティアの育成や青少年指導者の養成の充実(22)
⑩ 地域と連携した防犯対策の充実(23)
⑪ ボランティア・消防署・子ども110番の家等との連携による地域で見守る体制の充実(23)

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○木津川市小学生ソフトボール大会
○木津川市少年の主張大会　　○木津川市リーダー研修会
○木津川市要保護児童対策地域協議会
○木津川市育英資金交付事業
○木津川市遠距離通学費補助金
○木津川市青少年指導者養成事業
○木津川市通学路安全推進会議
○地域見守り箱　　○学校安全マップ
○市民ぐるみあいさつ運動

○木津川市子どもはぐくみ人材バンク

◇京のまなび教室事業
◇親のための応援塾
◇子育てサロン

重点目標８
地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

（24）自然・歴史についての学習
（25）地域資源の活用

① 関係施設や関係団体との連携を図った地域の文化財を学ぶ機会の充実(24)(25)
② 質の高い文化・芸術に触れる機会の充実(24)
③ 地域と連携した自然体験学習の充実(24)
④ 研究所等との連携による体験的な学習の充実と子どもの科学的知識を深める取組の充実(25)
⑤ 研究機関や企業とのネットワークづくりの推進(25)

○文化財出前授業　　○わたしたちの木津川市（小学校社会科副読本）
○遺跡公園　　○文化財整理保管センター
○少年少女合唱団育成事業

◇発見！山城のあゆみ　　◇芸術演劇鑑賞事業

木津川市の現行及び拡充を図っていく主な施策

木津川市が今後新たに取り組む主な施策

国及び京都府の主な施策

木津川市教育振興基本計画

木津川市は、関西文化学術研究都市の中核地であり、豊かな自然環境をはじめ、歴史、文化遺産などの地域資源や豊富な人的資源に恵まれた『まち』です。
木津川市教育委員会では、これまで実施してきた様々な施策の成果と課題を整理し、さらに木津川市の特色を活かした教育に関する総合的な計画として、今後10年間の本市教育行政の基本的な方向を示すため本計画を策定しました。

基本理念

生きる力をはぐくみ
新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して

目指す子ども像

共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども

重点目標

1　質の高い学力をはぐくむ
2　豊かな心と規範意識をはぐくむ
3　健やかな体をはぐくむ
4　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ
5　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
6　魅力ある・信頼される学校・園をつくる
7　地域の力を活かして子どもをはぐくむ
8　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

目指す教育の姿

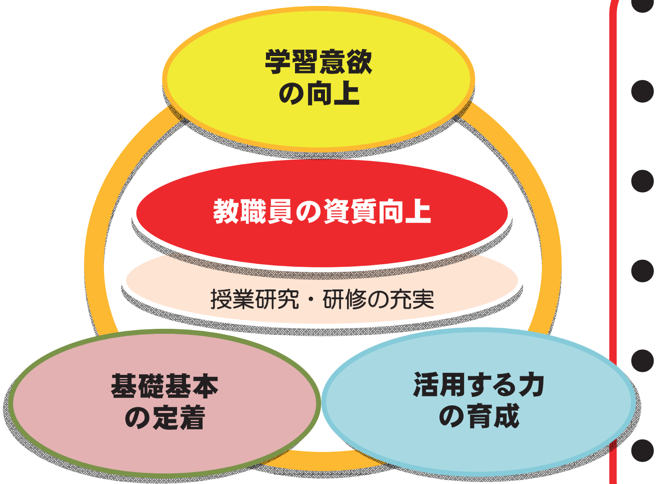
- 子どもの力を伸ばし、未来に向かって生きる力をはぐくむ
- 一人一人が輝き、社会の一員としての基盤をはぐくむ
- 木津川市の力を結集し、みんなで守りはぐくむ

視点　1　子どもの将来を見通す
視点　2　木津川市全体で守り育てる
視点　3　木津川市の特色や地域資源を活用する

平成26年度　重点取組事項

1　学力をはぐくむ

学力の向上は、学校の使命であることを自覚し、「学習意欲の向上」「基礎基本の定着」「活用する力の育成」の3つの力が統合された「質の高い学力」を児童生徒にはぐくむ。



- ●授業のねらいを明確にし、児童生徒のニーズに応じたユニバーサルデザインの視点に立った授業の展開　［学習意欲］
- ●家庭と連携した『学習の手引き』の活用　［学習意欲］［基礎基本］
- ●小学校「ホップアップ学習」、中学校「ステップアップ学習」等の補充学習の推進・充実　［学習意欲］［基礎基本］
- ●全国学力調査・府学力診断テストを活用した組織的な取組の充実と授業改善　［基礎基本］［活用する力］
- ●ＩＣＴ機器を活用したわかる授業の推進と児童生徒の活用力の向上　［学習意欲］［基礎基本］［活用する力］
- ●あらゆる教育活動の場面で「ことばの力」をはぐくむ言語活動の推進　［活用する力］

2　豊かな心をはぐくむ

いじめは、どの子にもどの学校でも起こり得るという認識を持ち、未然防止・早期発見・早期対応ができるよう生徒指導・人権教育・道徳教育の充実を組織的・計画的に推進する。

いじめへの対応

未然防止

- ●人権意識の涵養を図る人権教育・心に響く道徳教育の展開等、教育活動全体を通した豊かな心と望ましい人間関係の育成
- ●「いじめ防止基本方針」策定と組織的な取組の充実

早期発見・早期対応

- ●児童生徒の状況を把握するためのいじめアンケート・定期的な教育相談の実施
- ●児童理解のための教職員研修の充実と家庭・地域・関係機関との連携の推進
- ●ネットいじめ対策等情報モラルに関する教職員の指導力の向上

3　魅力ある学校・園づくり

地域の特色、児童生徒の実態を踏まえ、学校(園)長のリーダーシップのもと、市内21学校(園)は魅力ある学校(園)づくりを推進する。

- ●『特色ある学校づくり推進事業』『地域で支える学校教育推進事業』等を活用した特色ある教育活動の推進・充実
- ●地域人材等の積極的な活用と保護者・地域の方々との連携推進
- ●学校（園）の状況・教育活動の様子・学校評価等の家庭や地域への積極的な情報発信

２　施設

（１）木津川市立学校給食センター

◆木津学校給食センター

所在地　　木津川市相楽台４丁目６番地
℡72-2362　Fax 72-5345

沿　革

昭 35.10. 1　共同調理場方式で木津小学校にて（鹿背山分校・梅谷分校含む）・相楽小学校の完全給食を実施。
昭 42.11.25　木津幼稚園の副食給食を実施。
昭 43. 4.15　木津中学校の完全給食を実施。
昭 53. 3.10　学校給食センター竣工。
米飯給食設備を備える、調理能力は、副食１日 3,000 食、米飯１日 750 食。
昭 53. 4.25　相楽幼稚園の副食を実施。
昭 63. 2.29　学校給食センター竣工。
オートメーションシステムを完備したフルドライシステムを採用、調理能力は、副食１日 5,000 食、米飯１日 2,500 食。
平 元. 4.　高の原幼稚園の副食給食を実施。
平 3. 4.　木津川台小学校の完全給食を実施。
平 5. 4.　相楽台小学校の完全給食を実施。
平 9. 4.　梅美台小学校の完全給食を実施。
平 19. 3.　給食配送車（保冷車）を購入、配送車は合計４台になる。
平 19. 4.10　州見台小学校の完全給食を実施。
平 21. 9.　米飯給食週３回から週 3.5 回に増やす。
平 22. 4. 1　加茂学校給食センターの新設により梅美台小学校・州見台小学校の配送を加茂学校給食センターへ変更。
平 23.4.12　木津南中学校の完全給食を実施。
平 23.4.21　高の原幼稚園の副食給食を山城学校給食センターへ変更。

施　設

敷地面積　４，６０６㎡
建物面積　１，３２１㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
調理能力　１日５，０００食（副食）
１日２，５００食（米飯）

輸　送

配送車　　２ｔ積（パワーゲート付）４台

職員数

合計２６名
所長　１名、主任　１名、事務兼運転手（嘱託）１名、栄養教諭（府職員）２名
調理員（嘱託）　５名、臨時職員　１３名
配送車運転業務委託　従業者　３名

◆山城学校給食センター

所在地　　木津川市山城町椿井北代１０４番地１
℡ 86-2303　Fax 86-2433

沿　革

昭 39. 4. 1　全校ミルク給食（脱脂粉乳）を実施。
昭 40. 4.　　全校生牛乳に切替える。
昭 42. 4.　　センター方式による完全給食。
昭 52. 5.　　精白米委託で月１回米飯給食の実施。
昭 54.　　　給食施設設備の改善等充実。
昭 63.　　　給食配送車を更新。
平　2. 4.　　米飯給食週 2.5 回のうち１回をセンターで炊飯実施。
平　4. 4.　　米飯給食週３回のうち３回ともセンターで炊飯実施。
平 14. 3　　山城学校給食センター竣工。米飯給食週 3.5 回。
平 23. 4.21 高の原幼稚園の副食給食を実施。
平 23.7　　　給食配送車を購入、配送車は合計２台になる。

施　設

敷地面積　１，３０８㎡
建物面積　　　６１７㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造平家建
調理能力　１日１，０００食（副食）
　　　　　１日２，４００食（米飯）

輸　送

配送車　２ｔ積（パワーゲート付）２台

職員数

合計１４名
　主査　１名、栄養教諭（府職員）　１名
　調理員（嘱託）　４名、臨時職員　５名
　配送車運転臨時職員　３名

◆加茂学校給食センター

所在地　　木津川市加茂町観音寺石部６１番地１
　　　　　℡ 76-0031　Fax 76-0032

沿　革

平 22.4.1　　建物竣工、加茂学校給食センター開設。
平 22.4.12　梅美台小学校・州見台小学校・泉川中学校に完全給食を実施。
　　　　　　泉川中学校については、完全給食の開始となる。米飯給食週 3.5 回。
平 23.4.11　単独調理場から共同調理場への移行により、加茂小学校・恭仁小学校・当尾小学校・南加茂台小学校の完全給食を実施。
平 24.3.31　当尾小学校閉校。

施　設

敷地面積　２，３７６．８９㎡
建物面積　１，３３８．９２㎡
構　　造　鉄骨造２階建
調理能力　１日２，５００食（副食）
　　　　　１日２，５００食（米飯）

輸　送

配送車　２ｔ積（パワーゲート付）３台

職員数
合計３４名
　主任専門員１名、栄養教諭（府職員）２名、栄養士（嘱託）１名
　調理配送業務委託　従業者　３０名

給食実施人員数　　H26.5.１現在

◆木津学校給食センター

名　称	児童・生徒及び園児数	職員数	合　計	学級数	備　考
木津小学校	493	36	529	20	
相楽小学校	398	23	421	15	
高の原小学校	376	20	396	13	
相楽台小学校	241	21	262	11	
木津川台小学校	645	33	678	21	
木津中学校	388	27	415	13	
木津第二中学校	592	30	622	17	
木津南中学校	551	39	590	18	
木津幼稚園	225	16	241	7	
相楽幼稚園	106	13	119	4	
木津学校給食ｾﾝﾀｰ	－	26	26	－	
合　計	4,015	284	4,299	139	

◆山城学校給食センター

名　称	児童及び生徒数	職員数	合　計	学級数	備　考
上狛小学校	189	15	204	9	
棚倉小学校	336	21	357	14	
山城中学校	224	18	242	7	
高の原幼稚園	129	20	149	4	
山城学校給食ｾﾝﾀｰ	－	14	14	－	
合　計	878	88	966	34	

◆加茂学校給食センター

名　称	児童及び生徒数	職員数	合　計	学級数	備　考
梅美台小学校	923	51	974	30	
州見台小学校	804	39	843	27	
城山台小学校	69	13	82	7	
加茂小学校	395	26	421	15	
恭仁小学校	46	12	58	7	
南加茂台小学校	211	16	227	9	
泉川中学校	326	32	358	12	
加茂学校給食ｾﾝﾀｰ	－	34	34	－	
合　計	2,774	223	2,997	107	

全体合計	7,667	595	8,262	280	

（２）心の教育施設

ア　カウンセリングルーム

①　所在地　　木津川市立中央図書館２階

②　設　立　　平成８年４月１日

③　目　的　　学習や心身に問題を持つ児童生徒や家庭教育に悩みを持つ保護者及び教職員に対する相談活動を通じて、専門的な立場から指導または援助を行うことにより、心身ともに健全な児童生徒を育成することを目的とする。

イ　適応指導教室「キッズふれあい教室」

①　所在地　　木津川市立木津小学校内

②　設　立　　平成１０年９月１日

③　目　的　　心理的な要因で不登校に陥っている児童生徒を対象に、学習支援を中心に相談活動を行う。また、集団生活への適応に向けて様々な体験活動を通じて社会性の育成を図るとともに、その自立を促し、学校生活への復帰を図る。

３　通学区域

学　校　名	学　　　校　　　区
木津小学校	木津町 木津のうち八ヶ坪、門樋、神田、田中前、馬ヶ瀬、西小林、大次、八後、宮ノ内、奈良道（国道２４号以南の区域を除く区域）、 清水、南垣外、殿城、雲村、宮ノ堀、馬場南、川端、小川、八色、瓦谷、西垣外 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうちＪＲ関西本線以西の区域 木津片山のうち１１２番地から１２６番地の区域 木津天神山及び大谷のうち木津中央特定土地区画整理事業区域を除く区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道２４号以北の区域
相楽小学校	相楽 吐師のうち近鉄京都線以西を除く区域 木津のうち山田川、下川原、南後背、野色、小釜、石塚
高の原小学校	兜台
相楽台小学校	相楽台
木津川台小学校	木津川台 吐師のうち近鉄京都線以西の区域
梅美台小学校	梅美台 梅谷のうち木津中央特定土地区画整理事業区域を除く区域
州見台小学校	州見台 木津奈良道のうち国道２４号以南の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道24号以北の区域を除く区域並びに市坂のうち木津中央特定土地区画整理事業区域を除く区域
城山台小学校	鹿背山 木津のうち白口、今城、内田山、東小林 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうちＪＲ関西本線以西の区域を除く区域 木津片山のうち１１２番地から１２６番地の区域を除く区域 木津中央特定土地区画整理事業区域
加茂小学校	里、高田、観音寺、大野、法花寺野、兎並、美浪、北、銭司、山田、駅東一丁目、駅東二丁目、駅東三丁目、駅東四丁目、駅西一丁目、駅西二丁目
恭仁小学校	井平尾、岡崎、河原、西、例幣、奥畑
南加茂台小学校	南加茂台、岩船、東小上、東小下、南大門、北大門、西小、南下手、北下手、森、高去、勝風、大畑、辻、尻枝
棚倉小学校	綺田、平尾
上狛小学校	上狛、椿井、北河原、神童子
木津中学校	木津小学校、相楽小学校、城山台小学校の区域
木津第二中学校	高の原小学校、木津川台小学校、相楽台小学校の区域
木津南中学校	梅美台小学校、州見台小学校の区域
泉川中学校	加茂小学校、恭仁小学校、南加茂台小学校の区域
山城中学校	棚倉小学校、上狛小学校の区域

4　園児･児童･生徒数

(1) 幼　稚　園

ア　園児数

H26.5.1現在（単位：人,学級）

項目／園名	3歳児		4歳児		5歳児		計	
	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数
木津幼稚園	20	1	88	3	137	4	245	8
相楽幼稚園	20	1	50	2	56	2	126	5
高の原幼稚園	40	2	61	2	68	2	169	6
計	80	4	199	7	261	8	540	19

イ　園児数の推移

各年　5.1現在（単位：人）

年　　度	平成１９年	平成２０年	平成２１年	平成２２年	平成２３年	平成２４年	平成２５年	平成２６年
木津幼稚園	246	251	238	249	226	233	262	245
相楽幼稚園	183	153	159	147	148	151	143	126
高の原幼稚園	144	147	166	156	168	179	182	169
計	573	551	563	552	542	563	587	540

（2）小　学　校

ア　児童数

H26.5.1現在（単位：人,学級）

学校名	項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
木津小学校	児童数	77	92	80	80	82	76	7	494
	学級数	3	3	3	3	3	2	3	20
相楽小学校	児童数	71	76	53	68	63	66	1	398
	学級数	3	3	2	2	2	2	1	15
高の原小学校	児童数	55	61	56	70	61	73	3	379
	学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
相楽台小学校	児童数	33	38	46	42	35	45	3	242
	学級数	1	2	2	2	1	2	1	11
木津川台小学校	児童数	93	115	94	110	114	119	4	649
	学級数	3	4	3	3	3	3	2	21
梅美台小学校	児童数	186	171	170	142	132	113	10	924
	学級数	6	5	5	4	4	4	2	30
州見台小学校	児童数	151	118	139	120	139	133	8	808
	学級数	5	4	4	4	4	4	2	27
城山台小学校	児童数	26	16	9	8	6	3	1	69
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
加茂小学校	児童数	67	54	69	62	61	79	4	396
	学級数	2	2	2	2	2	3	2	15
恭仁小学校	児童数	6	8	6	9	7	10	1	47
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
南加茂台小学校	児童数	31	34	36	39	44	29	1	214
	学級数	1	1	1	2	2	1	1	9
上狛小学校	児童数	38	34	23	30	34	29	3	191
	学級数	2	1	1	1	1	1	2	9
棚倉小学校	児童数	53	63	57	47	44	64	9	337
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
計	児童数	887	880	838	827	822	839	55	5148
	学級数	32	31	29	29	28	28	21	198

イ　児童数の推移

各年　5.1現在（単位:人）

年　度	平成１９年	平成２０年	平成２１年	平成２２年	平成２３年	平成２４年	平成２５年	平成２６年
木津小学校	430	438	439	435	465	479	532	494
相楽小学校	331	333	358	366	373	367	395	398
高の原小学校	496	466	442	426	435	407	383	379
相楽台小学校	296	293	275	265	235	236	242	242
木津川台小学校	620	625	650	672	682	674	684	649
梅美台小学校	256	328	417	543	647	743	837	924
州見台小学校	512	602	658	719	745	796	785	808
城山台小学校								69
加茂小学校	370	398	421	404	410	402	399	396
恭仁小学校	62	62	59	50	50	46	48	47
当尾小学校	35	30	25	19	11			
南加茂台小学校	259	249	236	238	228	236	228	214
上狛小学校	216	191	185	191	176	171	177	191
棚倉小学校	259	267	301	311	319	328	332	337
計	4,142	4,282	4,466	4,639	4,776	4,885	5,042	5,148

（3）中　学　校

ア　生徒数

H26.5.1現在（単位:人,学級）

項目／学校名	1　年		2　年		3　年		特別支援学級		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
木津中学校	148	4	111	4	129	4	4	1	392	13
木津第二中学校	187	5	207	6	197	5	3	1	594	17
木津南中学校	201	6	180	5	162	5	8	2	551	18
泉川中学校	109	3	107	4	107	3	6	2	329	12
山城中学校	73	2	82	3	71	2	0	0	226	7
計	718	20	687	22	666	19	21	6	2,092	67

イ　生徒数の推移

各年　5.1現在（単位:人）

年　度	平成１９年	平成２０年	平成２１年	平成２２年	平成２３年	平成２４年	平成２５年	平成２６年
木津中学校	706	690	672	624	386	374	351	392
木津第二中学校	350	406	504	571	583	586	597	594
木津南中学校					281	393	483	551
泉川中学校	333	300	299	327	348	357	334	329
山城中学校	245	257	235	222	211	222	233	226
計	1,634	1,653	1,710	1,744	1,809	1,932	1,998	2,092

Ⅳ　社　会　教　育

１　社会教育指導の重点

～生涯学習推進計画を着実に進めるために～

木津川市では、平成 26 年３月に「木津川市生涯学習推進計画～きずなプラン～」を策定しました。この計画の基本理念である「人をはぐくみ　こころを結び　まちを創る」の実現を目指し、年度ごとの目標や具体的施策などを社会教育関係者等に示すことを目的として、平成 26 年度「社会教育の重点」を定めます。

重点課題１　生涯学習を支える基盤整備を行う

①学習情報の総合的な収集・整理を行い、市民に情報を提供する
- 生涯学習関連情報の提供
- 生涯学習情報誌の充実

②気軽に生涯学習に取り組むことができるよう機会の充実を図る
- 夜間、休日開催講座の充実
- 人権に関する学習機会の充実
- 男女共同参画社会実現に向けた学習機会の充実
- 子どもの体験活動の推進
- 親子でふれあえる機会の拡大
- ニュースポーツの普及

③地域的課題や現代的課題に対応した学習内容の設定を行う
- 地域課題解決のための支援
- 市民の防災意識を高めるための学習機会の充実
- 郷土への愛着を深めるための取り組み
- 放課後の子どもたちの安全な居場所づくり

④気軽に相談を行うことができるよう相談体制の充実を図る
- 気軽に相談ができる窓口の設置
- 市内で活動する団体、サークルの活動状況の把握
- 団体、サークルが求める情報の提供

⑤生涯学習施設をより利用しやすい施設とするための整備を行う
- 利用者の声を施設運営に反映させる
- 各施設の機能の充実を図る

重点課題２　市民との連携・協働を図る

①学校・地域・家庭の連携を促進し、地域による学校支援充実を図る
- 放課後子どもプラン推進事業の充実
- 学校支援地域本部事業の充実
- 地域ぐるみで子どもを守り、育てる体制づくりを行う

②ＮＰＯや企業・高等教育機関との連携を図る
- ＮＰＯや民間教育事業者等との連携を行う
- 京都府や関係機関と連携した学習支援の充実を図る
- 学研都市研究所等との連携を図る

③地域交流活動を支援し、人と人とのネットワークづくりを推進する
- 世代を超えた交流を図る事業への支援を行う
- 多くの人が参加できる催しの開催
- 国際理解を深めるための取り組みの推進

④リーダーとなる人材の発掘と育成を図る
- 幅広い年齢層におけるリーダーの育成を行う
- 特技や能力を持った人材の掘り起しと活動の場の提供に努める

重点課題３　生涯学習推進都市を目指す

①講師・ボランティア情報の収集と整理を行い、市民に的確な情報を提供する
- 指導者、ボランティア情報の一元化を図る
- 登録者に講師を依頼するなど積極的な活用を図る

②自主グループ活動への支援を行い、地域コミュニティ活動を推進する
- 市民主体の地域づくりにつながる事業を推進する
- 地域的課題解決の支援を行う
- 地域子ども会の育成、支援を行う

③学んだ成果を発表できる場の提供や成果を活かせる機会を積極的に創出する
- 学びの成果を発表する機会の充実を図る
- 発表の場が交流の場となるよう内容の充実を図る

④市民の様々な活動を支援し、まちづくりへの発展を促進する
- ボランティア活動に関するコーディネート機能の充実を図る
- 社会教育施設間のネットワーク化を図る

２．施設

（１）公民館

名　　称　　南加茂台公民館
所 在 地　　南加茂台５丁目２番地３
開館時間　　午前９時～午後１０時（但し、水・木・日は午後５時まで）
電　　話　　７６－５９５９
休　　館　　月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設　　備　　ホール、和室、集会室、料理室、工作室

名　　称　　瓶原公民館
所 在 地　　加茂町岡崎考１４番地
開館時間　　午前９時～午後１０時
電　　話　　７６－４７４５
休　　館　　月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設　　備　　会議室大、小、和室、料理室

名　　称　　当尾公民館
所 在 地　　加茂町辻広垣外１番地
開館時間　　午前９時～午後１０時
電　　話　　７６－４７９１
休　　館　　月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月３日
設　　備　　会議室、和室、料理室

（２）図書館

名　　称　　中央図書館
所 在 地　　木津町内垣外３６番地
電　　話　　７２－２９８０
資 料 数　　（資料数は平成２６年３月３１日現在）
総合計　１４６，７５７冊
　内　図書　　１３４，２５６冊
（一般書９１，９２５冊、児童書４２，３３１冊）
雑誌　　９，４６７冊（タイトル１２８誌）
視聴覚資料　３，０３４タイトル
（ＶＨＳ・ＤＶＤ・ＣＤ・カセットテープ）
新聞　　１０紙
開館時間　　火～金曜日　　午前１０時～午後６時
土・日曜日　　午前１０時～午後５時
休 館 日　　月曜日・祝日・館内整理日（毎月最終金曜日。ただし１２月のみ２８日）・年末年始・特別整理期間

名　　称　　加茂図書館
所 在 地　　加茂町里南古田１５６番地
電　　話　　７６－６４６６
資 料 数　　（資料数は平成２６年３月３１日現在）

総合計　６８，６８１冊

内　図書　　６５，０３４冊

（一般書３９，５２０冊、児童書２５，５１４冊）

雑誌　　３，３３６冊（タイトル　７７誌）

視聴覚資料　　３１１タイトル（ＶＨＳ・ＣＤ・ＤＶＤ）

新聞　　７紙

開館時間　　火曜日～金曜日　午前１０時～午後６時

土曜日・日曜日　午前１０時～午後５時

休　館　日　　月曜日、祝日、館内整理日（毎月最終金曜日 ただし１２月のみ２８日）、年末年始、特別整理期間

名　　称　　山城図書館

所　在　地　　山城町平尾前田２４番地

（山城総合文化センターアスピアやましろ内）

電　　話　　８６－５００１

資　料　数　　（資料数は平成２５年３月３１日現在）

総合計　　９２，２４０冊

内　図書　　８７，５８５冊

（一般書５９，６５１冊、児童書２７，９３４冊）

雑誌　　３，３４７冊（タイトル８３誌）

視聴覚資料　１，３０８タイトル（ＶＨＳ・ＤＶＤ）

新聞　　７紙

開館時間　　火～金曜日　　午前１０時～午後６時

土・日・祝日　午前１０時～午後５時

休　館　日　　月曜日・祝日の翌日・館内整理日（毎月最終金曜日。ただし 12 月のみ 28 日）・年末年始・特別整理期間

（３）文化ホール

名　　称　　加茂文化センター

所　在　地　　加茂町里南古田１５６番地

電　　話　　７６－４６１１

開館時間　　午前９時～午後１０時

休　館　日　　月曜日、祝日の翌日（月曜日と重なる場合はその翌日）

１２月２８日～翌年１月４日

設　　備　　ホール、リハーサル室、研修室、創作室、調理室、ランチルーム、音楽室、和室

名　　称　　山城総合文化センター（アスピアやましろ）

所　在　地　　山城町平尾前田２４番地

電　　話　　８６－５８５１

開館時間　　午前８時 30 分～午後１０時

休　館　日　　月曜日、祝日の翌平日（月曜日と重なる場合はその翌日）

１２月２８日～翌年１月４日

設　　備　　多目的ホール、控室、練習室、研修室、視聴覚室、和室、創作室、スクエ

ア、イベント広場

（４）交流会館

名　　称	中央交流会館（いずみホール）
所 在 地	木津宮ノ内９２番地
電　　話	７２－８８００
開館時間	午前9時～午後１０時
休 館 日	月曜日、１２月２９日～翌年１月３日
設　　備	多目的ホール、研修室、クラフト室、調理教室、会議室、和室

名　　称	西部交流会館
所 在 地	相楽高下４番地９
電　　話	７３－６８８８
開館時間	午前9時～午後１０時
休 館 日	月曜日、１２月２９日～翌年１月３日
設　　備	集会室、会議室、和室

名　　称	東部交流会館
所 在 地	木津宮ノ堀１４９番地
電　　話	７１－８１３０
開館時間	午前9時～午後１０時
休 館 日	月曜日、１２月２９日～翌年１月３日
設　　備	多目的ホール、調理教室、カルチャールーム１・２、和室１・２、野外広場

（５）スポーツ施設

名　　称	中央体育館
所 在 地	木津石塚１４７番地
貸出時間	午前9時～午後１０時
休 館 日	火曜日、１２月２８日～翌年１月３日

名　　称	市民スポーツセンター（アリーナ・テニスコート２面）
所 在 地	木津田中前４０番地１
貸出時間	午前9時～午後１０時
休 館 日	月曜日、１２月２８日～翌年１月３日

名　　称	加茂体育館
所 在 地	加茂町里東上田１番地
貸出時間	午前9時～午後１０時
休 館 日	１２月２８日～翌年１月３日

名　　称	木津グラウンド
所 在 地	木津川端６９番地１
貸出時間	午前8時～日没
休 業 日	１２月２８日～翌年１月３日

名　　　称	兜谷公園（グラウンド・テニスコート２面）
所　在　地	兜台６丁目４番地外
貸出時間	グラウンド　　午前９時～午後５時
	テニスコート　午前９時～午後１０時

名　　　称	木津川台公園（グラウンド・テニスコート３面）
所　在　地	木津川台６丁目４番地３
貸出時間	グラウンド　　午前９時～午後５時
	テニスコート　午前９時～午後１０時

名　　　称	梅美台公園（テニスコート２面）
所　在　地	梅美台一丁目９番地
貸出時間	テニスコート　午前９時～午後１０時

名　　　称	加茂グラウンド
所　在　地	加茂町大野中宇称５７番地
貸出時間	午前８時～日没
休　業　日	１２月２８日～翌年１月３日

名　　　称	赤田川グラウンド
所　在　地	加茂町里赤田川１番地
貸出時間	午前８時～日没
休　業　日	１２月２８日～翌年１月３日

名　　　称	塚穴公園（テニスコート２面）
所　在　地	南加茂台６丁目１４番地
貸出時間	午前９時～午後５時

名　　　称	不動川公園（多目的広場・テニスコート）
所　在　地	山城町平尾大谷１番地
貸出時間	多目的広場　午前８時３０分～午後５時　季節により時間が変わります。
	テニスコート　午前９時～午後５時　季節により時間が変わります。

名　　　称	やすらぎタウン山城プール
所　在　地	山城町椿井柳田２６番地
開館時間	午前１０時３０分～午後８時３０分　時期により時間が変わります。

名　　　称	上狛駅東公園（テニスコート３面兼フットサルコート）
所　在　地	山城町上狛北野田芝６０番地
貸出時間	午前９時～午後９時

名　　　称	山城コミュニティ運動広場
所　在　地	山城町上狛川原３番地
貸出時間	午前８時～日没

休　業　日　　１２月２８日～翌年１月３日

名　　　称　　加茂プール
所　在　地　　加茂町里中森１１番地
開館時間　　午前１０時～午後４時３０分
休　業　日　　９月１日～翌年の７月１９日、月曜日

（６）その他の施設
名　　　称　　加茂青少年山の家
所　在　地　　加茂町尻枝七辻１５番地１
電　　　話　　７６－３１３０
開館時間　　午前８時～午後１０時
休　館　日　　木曜日（祝日の場合は翌日）、１２月２８日～翌年１月４日
設　　　備　　研修室（和室３５畳）、和室１５畳２室、和室１０畳６室、
テニスコート２面、ゲートボールコート１面、食堂、浴室（大・小各１）

名　　　称　　加茂プラネタリウム館
所　在　地　　加茂町岩船ガンド２番地
電　　　話　　７６－７６４５
開館時間　　午前９時～午後４時３０分
休　館　日　　月・木曜日（祝日の場合は翌日）、１２月２８日～翌年１月４日
設　　　備　　プラネタリウム室、資料室

名　　　称　　加茂青少年センター
所　在　地　　加茂町里中森１０１番地
電　　　話　　７６－６９００
開館時間　　午前１０時～午後１０時
休　館　日　　月曜日、祝日、１２月２９日～翌年１月４日
設　　　備　　会議室、いこいの部屋、ふれあい室、学習室、多目的ホール

名　　　称　　文化財整理保管センター
所　在　地　　南加茂台６丁目１８番地
電　　　話　　７６－６３７７
開館時間　　午前９時～午後５時
休　館　日　　祝日、１２月２８日～翌年１月４日
設　　　備　　多目的室

名　　　称　　文化財整理保管センター分室
所　在　地　　加茂町岡崎考２８番地
電　　　話　　７６－９２０２
開館時間　　午前９時～午後５時
休　館　日　　月曜日（月曜日が休日の場合翌日が休館）
１２月２８日～翌年１月４日
設　　　備　　多目的室、資料展示室

３．木津川市の文化財

●美術・工芸品の部

No.	指定級	名　称	種　別	員　数	年　代　等	指　定　日	所有者・管理者	所　在　地
1	国宝	銅造釈迦如来坐像	美工（彫刻）	１躯	奈良時代	明治30年12月28日	(宗)蟹満寺	山城町綺田浜36
2	国宝	木造四天王立像	美工（彫刻）	４躯	平安時代	明治34年3月27日	(宗)浄瑠璃寺	増長天・持国天：本堂 広目天：東京国立博物館寄託 多聞天：京都国立博物館寄託
3	国宝	木造阿弥陀如来坐像	美工（彫刻）	９躯	平安時代	明治34年8月2日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
1	重要文化財	厨子入木造吉祥天立像	美工（彫刻）	１躯	建暦２(1212)	明治30年12月18日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
2	重要文化財	木造馬頭観音立像	美工（彫刻）	１躯	仁治２(1241)	明治34年8月2日	(宗)浄瑠璃寺	奈良国立博物館寄託
3	重要文化財	木造地蔵菩薩立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治34年8月2日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
4	重要文化財	木造薬師如来坐像	美工（彫刻）	１躯	永承２(1047)	明治34年8月2日	(宗)西明寺	加茂町大野大野27
5	重要文化財	木造薬師如来坐像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治37年2月18日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
6	重要文化財	木造地蔵菩薩立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治37年2月18日	(宗)浄瑠璃寺	東京国立博物館寄託
7	重要文化財	木造十一面観音立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治42年4月5日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
8	重要文化財	木造十一面観音立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治42年4月5日	(宗)法泉寺	京都国立博物館寄託
9	重要文化財	木造十一面観音菩薩立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治42年4月5日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
10	重要文化財	木造十一面観音菩薩立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治42年4月5日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
11	重要文化財	絹本著色法華経曼荼羅図	美工（絵画）	１幅	鎌倉時代	明治42年4月5日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
12	重要文化財	木造不動明王及二童子立像	美工（彫刻）	３躯	応長元(1311)	明治43年4月20日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
13	重要文化財	木造阿弥陀如来坐像	美工（彫刻）	１躯	天慶９(946)	明治43年8月29日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
14	重要文化財	厨子入木造普賢菩薩像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	明治43年8月29日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
15	重要文化財	木造文殊菩薩坐像	美工（彫刻）	１躯	鎌倉時代	大正2年4月14日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
16	重要文化財	木造十一面観音坐像	美工（彫刻）	１躯	鎌倉時代	大正2年4月14日	(宗)現光寺	加茂町北山ノ上９

17	重要文化財	木造愛染明王坐像	美工（彫刻）	1躯	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
18		木造不動明王立像	美工（彫刻）	1躯	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
19		木造阿弥陀如来坐像	美工（彫刻）	1躯	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
20		木造毘沙門天立像	美工（彫刻）	1躯	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
21		木造日光月光菩薩立像	美工（彫刻）	2躯	平安時代	大正2年4月14日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
22		木造伎楽面	美工（彫刻）	1面	建久7(1196)	大正2年4月14日	(宗)神童寺	奈良国立博物館寄託
23		石燈籠	美工（工芸）	2基	1基：貞治5 (1366) 1基：南北朝時代	昭和38年2月14日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
24		海住山寺文書	美工（書）	24通・16巻	鎌倉～室町時代	昭和47年5月30日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
25		木造薬師如来坐像	美工（彫刻）	1躯	平安時代	昭和49年6月8日	(宗)高田寺	加茂町高田奥畑54
26		三重塔初重壁画十六羅漢像	美工（絵画）	16面	平安時代	昭和52年6月11日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
27		絹本著色仏涅槃図　附寛正三年六月施入旧裏	美工（絵画）	1幅・1巻	鎌倉時代	昭和52年6月11日	(宗)常念寺	京都国立博物館寄託
28		浄瑠璃寺流記 附浄瑠璃寺縁起	美工（書）	1冊・1巻	南北朝時代	平成4年6月22日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
29		木造四天王立像	美工（彫刻）	4躯	鎌倉時代	平成9年6月30日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
1	府指定文化財	木造薬師如来坐像	美工（彫刻）	1躯	平安時代	昭和58年4月15日	(宗)西念寺	鹿背山鹿曲田65
2		梵鐘	美工（工芸）	1口	正嘉元(1257)	昭和58年4月15日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
3		当尾磨崖仏 阿弥陀如来及両脇侍坐像 弥勒如来立像・不動明王立像	美工（彫刻）	5躯	阿：永仁7(1299) 弥：文永11(1274) 地：弘安10(1287)	昭和60年5月15日	岩船区	木津川市加茂町岩船
4		当尾磨崖仏 不動明王立像・毘沙門天立像	美工（彫刻）	2躯	不：正中3(1326) 毘：鎌倉時代	昭和63年4月15日	(宗)八幡宮	加茂町森陀羅尼田1
5		木造四天王立像	美工（彫刻）	4躯	正応6(1293)	昭和60年5月15日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
6		絹本著色釈迦三尊十六羅漢図　附絹本着色三千仏図	美工（絵画）	3幅・3幅	建武4～5 (1337～1338)	昭和61年4月15日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
7		木造扁額「海住山寺」	美工（工芸）	2面	1面：承元2 (1208)	平成4年4月14日	(宗)海住山寺	奈良国立博物館寄託
8		絹本著色春日宮曼荼羅十六善神図	美工（絵画）	1幅	鎌倉時代	平成14年3月26日	(宗)海住山寺	京都国立博物館寄託
9		曳覆曼荼羅版木	歴史資料	2枚	永和元(1375)	平成17年3月18日	(宗)西明寺	加茂町大野大野27
10		狛文書	古文書	25点	室町～江戸時代	平成24年3月23日		山城町上狛東林1番地1

1	府登録	木造十王坐像 木造倶生神半跏像 木造奪衣婆坐像	美工（彫刻）	十：10躯 倶：２躯 奪：１躯	文明６～８ (1474～1476)	昭和59年4月14日	(宗)常念寺	加茂町里小田22
2		当尾磨崖仏 不動明王立像	美工（彫刻）	１躯	永仁４(1296)	昭和60年5月15日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
3		木造日光・月光菩薩立像	美工（彫刻）	２躯	永正11(1514)	昭和62年4月15日	(宗)西念寺	鹿背山鹿曲田65
4		紙本著色狛秀綱像	美工（絵画）	１幅	桃山時代	昭和62年4月15日	(宗)西福寺	山城町上狛良町３
5		絵仏供	美工（工芸）	11個	室町時代～近代	昭和63年4月15日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
1	市指定文化財	道標（伊賀街道）	歴史資料	４基	江戸時代	昭和49年6月1日	木津川市	木津川市
2		袈裟襷文銅鐸	考古資料	１口	弥生時代	昭和61年11月6日	木津川市	京都府立山城郷土資料館常設展出陳
3		木造地蔵菩薩立像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	昭和63年3月31日	(宗)地蔵院	加茂町観音寺中貝戸37
4		袋中上人絵詞伝	美工（絵画）	２巻	寛延２(1749)	昭和63年3月31日	(宗)鶯滝寺	京都府立山城郷土資料館寄託
5		木造地蔵菩薩坐像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	昭和63年4月1日	(宗)西教寺	木津雲村３
6		木造阿弥陀如来立像	美工（彫刻）	１躯	鎌倉時代	昭和63年4月1日	(宗)心楽寺	梅谷南中ノ谷69
7		木造如来形坐像	美工（彫刻）	１躯	奈良時代	平成6年5月6日	(宗)蟹満寺	山城町綺田浜36
8		泉橋寺石造地蔵菩薩坐像	美工（彫刻）	１躯	鎌倉時代	平成11年5月11日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下55
9		木造牛頭天王半跏像	美工（彫刻）	２躯	平安時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
10		木造女神坐像	美工（彫刻）	２躯	平安時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
11		狂言福の神図並びに能猩々図絵馬	美工（絵画）	１面	江戸時代	平成13年4月9日	(宗)松尾神社	京都府立山城郷土資料館寄託
12		絹本著色方便法身尊像	美工（絵画）	１幅	江戸時代	平成13年4月9日	(宗)円成寺	山城町上狛西下52
13		高井手瓦窯出土鬼瓦	考古資料	４点	奈良時代	平成13年4月9日	木津川市	木津川市
14		山城国相楽郡綺田村検地帳	古文書	１点	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
15		城州相楽郡平尾村入組片桐主膳正領分絵図	古文書	１点	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
16		大般若経	古文書	602巻	江戸時代	平成13年4月9日	木津川市	京都府立山城郷土資料館寄託
17		木造弁才天十五童子像	美工（彫刻）	１基	江戸時代	平成17年3月22日	(宗)玉臺寺	山城町椿井天敷堂37
18		木造地蔵菩薩立像	美工（彫刻）	１躯	鎌倉時代	平成18年3月31日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下55
19		山城町の考古遺物	考古資料	10点	弥生～古墳時代	平成19年2月26日	木津川市	木津川市
20		木造阿弥陀如来坐像	美工（彫刻）	１躯	平安時代	平成26年3月31日	(宗)安福寺	木津川市木津宮ノ裏274
21		紙本墨書岩船寺縁起	書籍・典籍	１巻	江戸時代	平成26年3月31日	(宗)岩船寺	木津川市加茂町岩船上ノ門43
22		木津浜絵馬	歴史資料	1面	文政11(1828)	平成26年3月31日	(宗)御霊神社	木津川市木津宮ノ裏285

●建造物の部

No.	指定級	名　称	員数	概　要	年代等	指定日	所有者・管理者	所在地
1	国宝	浄瑠璃寺三重塔（九体寺三重塔）	1基	三間三重塔婆、檜皮葺	平安時代	明治30年12月28日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
2	国宝	浄瑠璃寺本堂（九体寺本堂）	1棟	一重、寄棟造、本瓦葺	嘉承2(1107)	明治30年12月28日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
3	国宝	海住山寺五重塔	1基	三間五重塔婆、本瓦葺	建保2(1214)	明治31年12月28日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
1	重要文化財	五輪塔	1基	石造、総高3.47m	正応5(1292)	昭和32年2月19日	木津川市	木津清水27
2	重要文化財	岩船寺三重塔　附隅木受飾束	1基・1個	三間三重塔婆、本瓦葺	嘉吉2(1442)	明治32年4月5日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
3	重要文化財	海住山寺文殊堂	1棟	一重、寄棟造、銅板葺	鎌倉時代	明治34年3月27日	(宗)海住山寺	加茂町例幣海住山20
4	重要文化財	相楽神社本殿	1棟	三間社流造、檜皮葺	室町時代	明治44年4月17日	(宗)相楽神社	相楽清水1
5	重要文化財	松尾神社本殿　附拝所、棟札	1棟	一間社春日造、檜皮葺	天明6(1786)	大正2年4月14日	(宗)松尾神社	山城町椿井松尾41
6	重要文化財	御霊神社本殿	1棟	三間社流造、檜皮葺	室町時代	大正10年4月30日	(宗)御霊神社	加茂町兎並寺山41
7	重要文化財	神童寺本堂　附棟札、銘札、旧鬼瓦	1棟	一重、寄棟造、本瓦葺	応永13(1406)	大正12年3月28日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
8	重要文化財	十三重塔	1基	石造	永仁6(1298)	昭和12年7月29日	千日墓地管理組合	加茂町辻三田25番地の1
9	重要文化財	岩船寺十三重塔	1基	石造	鎌倉時代	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
10	重要文化財	岩船寺石室	1棟	石造仏龕	応長2(1312)	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
11	重要文化財	石造岩船寺五輪塔	1基	石造	鎌倉時代	昭和27年11月22日	(宗)岩船寺	加茂町岩船上ノ門43
12	重要文化財	白山神社本殿　附棟札	1棟	一間社春日造、檜皮葺	嘉吉2(1442)頃	昭和28年3月31日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94
13	重要文化財	五輪塔	2基	石造	鎌倉時代	昭和31年6月28日	木津川市	加茂町西小　長尾共同墓地
14	重要文化財	泉橋寺五輪塔	1基	石造、高さ2.36m	室町時代	昭和32年2月19日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下55
15	重要文化財	天神社十三重塔	1基	石造	建治3(1277)	昭和32年2月19日	(宗)天神神社	山城町神童子不晴谷177
16	重要文化財	小林家住宅　附家之普請合力覚、古図	1棟	切妻造、茅葺	寛文5(1665)	平成15年12月25日		山城町上狛東林1番地1

1	府指定	小林家住宅長屋門・土蔵	2棟		享保6(1721)	平成4年4月14日		山城町上狛東林1番地1
2		不動川砂防施設	1構	石積堰堤8基	明治時代	平成9年3月14日	国土交通省	山城町平尾
1	府登録文化財	天神神社本殿	1棟	切妻造、銅板葺	室町時代	昭和58年4月15日	(宗)天神神社	山城町神童子不晴谷177
2		松尾神社	3棟	拝殿 境内社御霊神社本殿 表門	拝：慶長12(1607) 御：江戸時代 表：元和3(1617)	昭和58年4月15日	(宗)松尾神社	山城町椿井松尾41
3		和伎座天乃夫岐売神社本殿　附棟札	1棟	三間社流造、銅板葺	元禄5(1692)	昭和58年4月15日	(宗)和伎座天乃夫岐売神社	山城町平尾里屋敷54
4		相楽神社末社若宮神社本殿	1棟	一間社春日造、檜皮葺	室町時代	昭和60年5月15日	(宗)相楽神社	相楽清水1
5		白山神社摂社春日神社本殿　附棟札	1棟	一間社春日造、檜皮葺	江戸時代	昭和62年4月15日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94
6		岡田国神社	6棟	本殿・拝殿・舞台・南北氏子詰所	本：安永3(1774) 拝：元和6(1620) 舞：江戸時代 氏：明治時代	昭和63年4月15日	(宗)岡田国神社	木津大谷1
7		大智寺	4棟	本堂・庫裏・鐘楼・表門	本：寛文9(1669) 他：江戸時代	平成10年3月13日	(宗)大智寺	木津雲村42-1
8		春日神社本殿　附棟札	1棟	一間社春日造、銅板葺	弘化2(1845)	平成18年3月17日	(宗)春日神社	加茂町銭司宮小谷36の4
1	市指定文化財	涌出宮石灯籠	2基		南北朝時代	昭和49年6月1日	(宗)和伎座天乃夫岐売神社	山城町平尾里屋敷54
2		神童寺護摩堂	1棟		江戸時代	昭和58年4月1日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
3		泉橋寺表門	1棟		元禄2(1689)	平成6年5月6日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下55
4		神童寺表門	1棟		江戸時代	平成13年4月9日	(宗)神童寺	山城町神童子不晴谷112
5		和伎座天乃夫岐売神社表門	1棟		室町時代	平成13年4月9日	(宗)和伎座天乃夫岐売神社	山城町平尾里屋敷54
6		和伎座天乃夫岐売神社拝殿	1棟		江戸時代	平成17年3月22日	(宗)和伎座天乃夫岐売神社	山城町平尾里屋敷54

●無形民俗文化財の部

No.	指定級	名　　称	員　数	年　代　等	指　定　日	所有者・管理者	所　在　地
1	国指定	涌出宮の宮座行事			昭和61年1月14日	涌出宮宮座行事保存会	山城町平尾・綺田
1	府指定	相楽の御田と正月行事			昭和59年4月14日	相楽神社宮座	相楽清水１
1	府登録文化財	岩船のおかげ踊			昭和59年4月14日	岩船おかげ踊保存会	加茂町岩船
2		西教寺六斎念仏			昭和60年5月15日	西教寺六斎念仏講	木津雲村３
3		上狛の精霊踊			昭和60年5月15日	しょうらい踊り保存会	山城町上狛
4		仏生寺六斎念仏			昭和60年5月15日	仏生寺六斎念仏保存会	加茂町仏生寺
5		銭司の獅子舞・田楽・相撲			昭和62年4月15日	銭司宮座行事保存会	加茂町銭司
1	市指定	木津御輿太鼓祭			平成14年10月18日	木津御輿太鼓運営委員会	木津・木津町

●有形民俗文化財の部

No.	指定級	名　　称	員　数	年　代　等	指　定　日	所有者・管理者	所　在　地
1	府登録	泉川座人形浄瑠璃用具	118点	明治時代	平成3年4月19日	木津川市	木津川市
2		おかげ踊絵馬	１点	慶応４(1868)	平成12年4月17日	(宗)春日若宮社	加茂町里口薬井17
3		おかげ踊絵馬	１点	明治元(1868)	平成12年4月17日	(宗)白山神社	加茂町岩船上ノ門94

●史跡名勝天然記念物の部

No.	指定級	名称	種別	員数	年代等	指定日	所有者・管理者	所在地
1	国指定	浄瑠璃寺庭園	特別名勝	11,505.04㎡	平安時代	昭和60年1月18日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
1	国指定	恭仁宮跡（山城国分寺跡）	史跡	236,939.2㎡	奈良時代	昭和32年7月1日 平成19年2月6日 平成20年7月28日 平成22年2月22日	木津川市他	加茂町例幣・河原他
2	国指定	高麗寺跡	史跡	20100.50㎡	飛鳥時代	昭和15年8月30日	木津川市	山城町上狛
3	国指定	浄瑠璃寺庭園	史跡	11505.04㎡	平安時代	昭和40年11月12日	(宗)浄瑠璃寺	加茂町西小札場40
4	国指定	奈良山瓦窯跡	史跡	38893.86㎡	奈良時代	平成22年8月5日	木津川市・奈良市	市坂・相楽台・州見台・梅美台・鹿背山
5	国指定	石のカラト古墳	史跡	4,925㎡	奈良時代	平成8年7月16日	木津川市・奈良市	兜台２・奈良市神功１
6	国指定	椿井大塚山古墳	史跡	15715.89㎡	古墳時代	平成12年9月6日	木津川市他	山城町椿井三階
1	府指定	銭司遺跡	史跡	418㎡	奈良時代	昭和59年4月14日		加茂町銭司金鋳山23-1
2	府指定	当尾の豊岡柿	天然記念物		明治時代	平成2年4月17日		加茂町大畑柘榴谷
1	市指定	上狛環濠集落（環濠・大井戸・郷井戸）	史跡		室町時代	昭和49年6月1日		山城町上狛良町・巽町・坤町・乾町
2	市指定	稲荷山	史跡		室町時代	昭和49年6月1日		山城町北河原北谷
3	市指定	鳶ヶ城跡	史跡		室町時代	昭和49年6月1日		山城町神童子横峰
4	市指定	弁天山	名勝		室町時代	昭和49年6月1日		山城町椿井天敷堂
5	市指定	泉橋寺境内	史跡	976㎡	奈良時代	平成11年5月11日	(宗)泉橋寺	山城町上狛西下54・55-1・55-2

●環境保全地域・地区の部

No.	指定級	名称	員数	年代等	指定日	所有者・管理者	所在地
1	府決定	京都府歴史的自然環境保全地域（当尾）	196,800㎡		昭和60年12月20日		木津川市加茂町西小・岩船
1		天神神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)天神神社	木津川市山城町神童子不晴谷177
2		松尾神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)松尾神社	木津川市山城町椿井松尾41
3		和伎座天乃夫岐売神社文化財環境保全地区			昭和58年4月15日	(宗)和伎座天乃夫岐売神社	木津川市山城町平尾里屋敷54
4		相楽神社文化財環境保全地区			昭和60年5月15日	(宗)相楽神社	木津川市相楽清水42番1
5		当尾磨崖仏文化財環境保全地区			昭和60年5月15日	岩船区	木津川市加茂町岩船
6		白山神社文化財環境保全地区			昭和62年4月15日	(宗)白山神社	木津川市加茂町岩船上ノ門94
7		岡田国神社文化財環境保全地区			昭和63年4月15日	(宗)岡田国神社	木津川市木津大谷105番
8		八幡宮文化財環境保全地区			昭和63年4月15日	(宗)八幡宮	木津川市加茂町森・高去

●文化財件数

国指定文化財

国宝・重要有形文化財								重要民俗文化財		史跡名勝天然記念物			計
美術工芸品							建造物	無形	有形	史跡	名勝	天然記念物	
絵画	彫刻	工芸品	書籍典籍	古文書	考古資料	歴史資料							
3	26(3)	1	2				19(3)	1		6	1(1)		59(7)

※（）内は重要文化財内の国宝数及び史跡名勝天然記念物内の特別指定数である。
※史跡数には２府県にわたるもの２件を含む。

府指定・登録文化財

有形文化財								民俗文化財		史跡名勝天然記念物			計
美術工芸品							建造物	無形	有形	史跡	名勝	天然記念物	
絵画	彫刻	工芸品	書籍典籍	古文書	考古資料	歴史資料							
2	4	2		1		1	2	1		1		1	15
1	3	1					8	5	3				21

※上段が指定文化財数、下段が登録文化財数である。

市指定文化財

有形文化財								民俗文化財		史跡名勝天然記念物			計
美術工芸品							建造物	無形	有形	史跡	名勝	天然記念物	
絵画	彫刻	工芸品	書籍典籍	古文書	考古資料	歴史資料							
3	10		1	3	3	2	6	1		4	1		34

V　学校（園）の概要

木津川市立木津幼稚園

木津幼稚園園歌

作詞　ＫＴＳ（木津幼稚園職員）
作曲　尾上昭典

一、
お庭に咲いてる　きれいな花も
ランランみんな　おともだち
げんきな笑顔で　あそびましょう
たのしいたのしい　木津幼稚園

二、
お空でうたう　かわいい小鳥
ランランみんな　おともだち
大きな声で　歌いましょう
たのしいたのしい　木津幼稚園

三、
赤いほっぺの　きみとぼく
ランランみんな　おともだち
きょうも仲良く　手をつなごう
たのしいたのしい　木津幼稚園

郵便番号　６１９－０２１４
所 在 地　京都府木津川市木津田中前３０番地
電　　話　（０７７４）７２－０１０１
ＦＡＸ　（０７７４）７２－０８００
ＥｍａＩｌ　kizu-yo@city.kizugawa.lg.jp

１．園の沿革

昭32. 3.12	園舎落成
4. 8	木津小学校附属幼稚園として発足。初代園長　竹田正司（小学校兼務）
33.	「幼児の健康教育について」研究発表会開催
39.	「視聴覚経験を生かした効果的な保育について」研究発表会開催
40. 1.23	放送教育研究発表会開催
41. 3.17	昭和40年度学校安全努力園として表彰を受ける
42. 4. 4	創立10周年記念挙行
11.25	完全給食実施
44.	園舎増築工事地鎮祭
4. 1	二年保育実施
5.30	園舎増築完成
46.	「社会領域においての各年令ごとの重点的な指導のねらいと内容について」 京都府教育委員会指定研究発表（第一年次）
49.11. 1	「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる指導」 京都府教育委員会指定研究発表（第二年次）
50.10.23	「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる ―発展的な遊びの経過を通して―」第２年次研究発表会開催
51.11.20	関西幼稚園連合会教育研究大会で研究発表（同上テーマについて）
52. 3. 1	創立20周年記念式及び記念行事生活発表会挙行。園歌作成。
4.12	園舎増築工事（プレハブ教室２教室及び倉庫）及び旧倉庫撤去工事完成
6. 1	三地区（鹿背山、梅谷、市坂）の園児送迎の通園バス運行実施
9.18	創立20周年記念バザーとよい子のまつり開催
53. 3.	園舎一部改造（給食準備室、資料室）
4.	完全給食再実施
54. 9.	水洗便所増設
55. 5.10	小プール設置（中嶋哲太郎氏寄贈）
57. 4. 1	専任園長制となる
9.22	新園舎起工式
58. 2.28	新園舎工事完成
3. 2	新園舎へ移転
3. 9	園舎竣工感謝のつどい
3.30	プール工事完成
59.11. 1	山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会 「心を動かす子どもをもとめて」－こどもの思いを正しく理解し育てるためには－
61.11.12	創立30周年記念式挙行　30年のあゆみ刊行　園歌入り額作成
62. 5.19	「なかよし号」新規購入・運行
平元. 4. 1	園名　木津幼稚園と変更
11.30	平成元年度歯科指導努力園として表彰を受ける
3.10.23	山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会 「一人一人が自己充実し感性を豊かにするには」
6. 4.	園児送迎の通園バス町運営となる

8.11.24	創立40周年記念式典挙行　40年のあゆみ刊行
10. 8. 4	平成10年度幼稚園教育課程京都府研究大会発表
11. 4. 1	３年保育実施（１学級20名）
13. 4. 1	文部科学省調査研究委託　木津町教育委員会研究指定（13・14年度） 幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（２年間）
14. 4. 1	幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（２年間）
15. 2.21	文部科学省委託「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」 発表会「豊かな心のはぐくみをめざして」－やさしく・たくましく・いきいきと－
15.11. 7	第５３回全国学校保健研究大会　課題別研究協議会発表（青森大会） 「幼稚園における心の健康つくりをめざす教育活動について」
16. 8	園舎増築（２教室）
17. 7.30	第５２回全国国公立幼稚園教育研究協議会（埼玉大会） ポスターセッション展示発表 「豊かな心のはぐくみをめざして」
18. 7	園児用トイレ改修工事
18.10.15	創立５０周年記念式挙行　５０年のあゆみ刊行 ５０周年記念植樹「きんもくせい」
19.3.12	木津川市誕生により木津川市立木津幼稚園と改称
21.1.26	平成２０年度山城地方学校安全研究協議会実践発表 「幼児が安全で伸びやかに活動できる環境や援助とは」
23・8．26	平成23年度幼稚園教育課程理解推進事業京都府研究大会発表

２．教育

（１）幼稚園教育目標

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもを育成する。

（２）本園のめざす幼児像

ⓒころ豊かな子

ⓓんなことにも興味をもつ子

ⓜのごとを考え工夫する子

ⓝびのびと行動できる子

ⓢいいっぱい頑張る子

ⓚらだも心も健康な子

ⓘのちを大切にする子

（３）教育方針

１．基本的な生活習慣や態度の育成を図る。

２．自然とのふれあいや身近な環境とのかかわりを重視し、一人一人の発達過程や課題を考えながら生きる力の基礎となる意欲や道徳性・社会性を培う。

３．人とのかかわりを大切にし、温かな心や感性をはぐくみ、人間性あふれる情操豊かな子どもの育成を図る。

４．遊びを通した総合的な指導を行い、言葉への興味関心を養い、教育活動の充実を図るとともに地域や家庭との連携を推進する。

木津川市立相楽幼稚園

相楽幼稚園園歌

作詞　吉岡　守
作曲　吉中俊道

一、
おそらにおひさまポッカポカ
おはなもゆれてるニッコニコ
みんななかよしだたのしいな
さがなかさがなかようちえん

二、
おにわにぶらんこギッコギコ
すーべりだいだよすなやまだ
みんなげんきなこたのしいな
さがなかさがなかようちえん

三、
おへやにせんせいおともだち
おはなしおゆうぎターランラン
みんなかんがえるたのしいな
さがなかさがなかようちえん

郵便番号　６１９－０２２２
所 在 地　京都府木津川市相楽清水１番地
電　　話　（０７７４）７２－１８２２
ＦＡＸ　（０７７４）７２－０６６６
Ｅｍａｉｌ　saga-yo@city.kizugawa.lg.jp

１．園の沿革

昭52．4.15	相楽小学校附属幼稚園として開園
53．4.25	完全給食実施
54．4．5	園舎増築（プレハブ１教室）
8.23	京都府教育課程研究発表 「幼児に自発的・自主的な活動を促すためには、どのように環境を構成し、どのような指導上の配慮や工夫が必要か。」
57．2.27	園舎新築完成
4．1	専任園長制となる
11．5	第30回京都府美術教育研究大会 「自分の目と心と頭と手を通してつくるよろこびを、ゆたかな創造性とたしかな表現をめざして」
62．1.26	山城地方学校安全研究協議会提案 「幼児の安全能力を育てる―自分で判断し機敏に行動できる子をめざして―」
2.25	創立10周年記念式挙行
3．1	高の原地区の園児送迎の通園バス運行
11 .11	山城地方公立幼稚園教育研究会指定園研究発表 「環境を生かし精一杯とりくむ子どもを育てよう」
平元．3.31	高の原幼稚園開園のため通園バス運行中止
4．1	園名　木津町立相楽幼稚園と変更
6．4．1	吐師・木津川台地区の園児送迎の通園バス運行
7．5	京都府公立幼稚園ＰＴＡ連絡協議会・山城地方公立幼稚園ＰＴＡ連絡協議会、総会並びに研修会開催
9．2 .1	創立20周年記念式挙行
4．1	３年保育試行実施（１学級20名）
10．4．1	３年保育試行２年目実施（１学級20名）
11．4．1	３年保育実施（１学級20名）
13．4．1	歯・口の健康つくり推進事業指定（３年間）
15.10.23	歯・口の健康つくり推進事業指定研究発表会（公開保育・実践発表）
16．4．1	幼稚園評議員制度実施（２名に委嘱）
11.12	全国学校歯科保健研究大会　幼稚園・保育園部会で実践報告 「しなやかな心と体の健康をはぐくむ」
18.12．5	創立３０周年記念式挙行
19．3.12	木津川市誕生により木津川市立相楽幼稚園と改称
20.10.29	平成１９・２０年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園、研究発表 「自分が好き　友達が好き　幼稚園が好き」

２． 教 育

（１）教育目標

「やさしさ」と「豊かさ」そして「たくましさ」をもった子どもの育成をめざし、友だちとともに生活する楽しさを味わわせながら、人格形成の基礎を培う。

（２）めざす幼児像

㋚わやかなあいさつをする子

(が)んばりぬく子

㋤かよくできる子

㋕んがえる子

(の)びのびと行動できる子

㋙ころもからだも丈夫な子

（３）基本方針（本年度の指導の重点）

◆幼児期の特性を踏まえ、遊びを通して総合的な指導を進める。

・基本的な生活習慣や態度を育て、しなやかな心と体を育てる。

・多様な体験や遊びを通して、自らやろうとする意欲や豊かな心情など生きる力の基礎を培う。

・自然体験や動植物との触れ合いを通して命の大切さや道徳性の芽生えを培う。

・人とのかかわりに重点をおき、幼児期における人権感覚や人権意識の芽生えに努める。

・「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実し、コミュニケーション能力の育成に努める。

・家庭や地域との連携を密にし、信頼関係を深める。（保育園・小学校を含む）

木津川市立高の原幼稚園

高の原幼稚園園歌

作詞　丹田長史
作曲　森本陽三郎

一、さんさんおひさま　あかるいこ
うたうのだいすき　おはなしだいすき
いいな　いいな　おともだち
えがおがいっぱい　たかのはらようちえん

二、みどりのそよかぜ　やさしいこ
おはなもだいすき　ことりもだいすき
いいな　いいな　おともだち
えがおがいっぱい　たかのはらようちえん

三、あおぞらひろびろ　げんきなこ
かけっこだいすき　あそぶのだいすき
いいな　いいな　おともだち
えがおがいっぱい　たかのはらようちえん

郵便番号	６１９－０２２４
所 在 地	京都府木津川市兜台４丁目４番地２
電　　話	（０７７４）７２－６６５８
ＦＡＸ	（０７７４）７２－６６４７
Ｅメール	taka-yo@city.kizugawa.lg.jp

１．園の沿革

平成 1. 4. 1	木津町立高の原幼稚園設置
平成 1. 4.12	開園式
	第１回入園式挙行（園児数　192 名）
平成 3. 7.	園舎増築（４学級増）
平成 5. 6.30	木津町立高の原幼稚園ＰＴＡ発足
平成 6. 4. 6	相楽台地区の園児送迎の通園バス運行
平成 8.11. 1	平成７・８年度　京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園
	［研究発表会］
	研究課題「幼児が自ら環境に関わって、充実した生活を展開していくためには、環境をどのように構成すればよいか」
平成 9. 7. 4	園歌発表会
平成11. 2.23	10周年記念式典挙行
平成 11. 4.1	３年保育実施（２学級　40名）
平成13. 1.29	山城地方学校安全研究協議会提案発表
平成13. 4. 1	「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」事業指定（１３年度・１４年度）
平成15. 2.21	文部科学省委託
	「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」事業指定園研究発表会
平成 19. 3.12	木津川市誕生により木津川市立高の原幼稚園と改称
平成 20.11.28	20 周年記念式典挙行

2． 教　育

（1）教育目標

やさしさ、豊かさ、たくましさを持った子どもを育成する。（からだ・あたま・こころづくり）

（2）めざす幼児像

㋟くましいこころとからだの子

㋕んがえる子

ⓝびのび表現できる子

㋩きはきあいさつする子

㋶んらん仲良くできる子

（3）基本方針（指導の重点）

ア　様々な遊びや体験を通して、環境や自然に主体的にかかわろうとする意欲や態度を培い、自立していくための生きる力の基礎づくりを図る。

イ　温かな心や感性をはぐくみ、やさしさ・思いやり・たくましさを合わせもった豊かで人間性あふれる子どもの育成を図る。

ウ　いきいきとした感動を体験し、思ったこと感じたことを素直に表現したり、絵本や物語に親しみ、想像性や物事への興味・関心を高める。

木津川市立木津小学校

木津小学校校歌

作詞・作曲　桜井武雄

一　歴史にかおる　山城の
ぼくたち　木津の小学生
大地をふんで　胸はって
明るく強く　育ちます
木津　木津　木津
木津小学校

二　木津川鹿背山　友として
わたしら　木津の小学生
朝夕かよう　この道に
木津小学校　待ってます
木津　木津　木津
木津小学校

三　平和の鐘の　鳴りひびく
木津の子どもは　日本の子
仲よく笑って　手をつなぎ
元気に今日も　学びます
木津　木津　木津
木津小学校

郵便番号　　６１９－０２１７
所 在 地　　京都府木津川市木津町内垣外９５
電　　話　　（０７７４）７２－００３８
ＦＡＸ　　（０７７４）７２－３８５２
Ｅ－mail　　kizu-es@kizu.ed.jp
HP　URL　　http://www.kyoto-be.ne.jp/kizu-es/cms

１．沿革

明治５　木津小学校として創立
15　木津尋常小学校と改称
28　鹿背山及び梅谷分教場設置
34　高等科を併置し木津尋常高等小学校と改称
大正 11　講堂新築
昭和９　木造２階建本館落成
16　木津国民学校と改称
22　木津小学校と改称、両分教場を鹿背山・梅谷分校と改称
23　学校給食開始
29　創立８０周年記念式典挙行
32　木津小学校附属幼稚園開園　鉄筋南校舎落成式
33　第７回保健体育優良校として表彰される
障害児学級開設
36　全日本健康優良学校府代表として表彰される
39　学校給食優良校として文部大臣表彰
40　健康教育及び理科教育により学研教育賞を受ける
42　府道徳研究発表会開催
43　文部省指定道徳教育研究発表会開催
44　トランペット鼓隊、万国博エキスポランドに特別出演
48　創立１００周年記念式典挙行
52　道徳教育研究発表会開催（文部省）
本館増改築により鉄筋３階校舎竣工
53　京都府学校安全優良校として表彰される
学校安全優良校として文部大臣表彰を受ける
日本ＰＴＡ全国協議会長賞受賞
54　金銭教育研究校の委嘱を受ける（～55 年）
優良「子ども銀行」として大蔵大臣及び日本銀行総裁表彰
健康安全教育研究発表会開催（府教育委員会委嘱）
東校舎新築
56　体育館及び屋上プール竣工
57　優良ＰＴＡとして文部大臣表彰を受ける
59　みどりの広場（中庭）造園完成
62　交通安全優良校として府交通安全協会より表彰される
府教育委員会より小学校教育実践推進校（図工）の指定を受ける
63　国体なぎなた競技開会式にマーチングバンド、カラーガーズ等出場
平成元　梅谷分校休校

2　府社会福祉協議会より社会福祉協力校の指定を受ける（～４年）
4　府小学校教育研究会生活科研究大会開催
6　全国都市緑化京都フェアオープニングパレードに金管バンド出場
7　京都小学校金管バンドフェスティバルに参加
梅谷分校閉校式並びに記念碑除幕式
金銭教育研究校の指定を受ける（～９年）
中国天津市より友好使節団来校
8　本館２階にコンピュータ室開設、児童用コンピュータ２０台設置
相楽郡通級指導教室開設
9　ひまわり学級２学級に増設
10　府教育委員会指定「教育実践パイロット校（情報教育）」研究発表会開催
校門改装
11　よい歯の表彰を受ける
13　２１世紀記念航空写真撮影
15　国際理解教育学校公開実施
16　校区安全対策協議会（ネットワーク）発足
17　町指定国際理解教育（英語活動）学校公開実施
18　文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受ける
木津川市誕生に伴い木津川市立木津小学校と改称する（19．３．12）
19　「人権教育総合推進地域事業」・「心の教育実践研究校」中間報告会開催
20　人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」開催
21　文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」推進校、木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」中間発表会開催
南校舎耐震工事完了
22　文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」、木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」研究発表会開催
23　木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
相楽地方通級指導教室西部分室開設
24　木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
25　京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
木津川市 ICT 機器研究指定校
26　城山台小学校開校に伴い、鹿背山分校閉校

２．教育

(1)　教育目標、学校経営方針等の設定及び教育課程編成の視点

ア　京都府教育委員会「京都府教育振興プラン」、「学校教育の重点」及び木津川市「教育振興基本計画」「学校教育の重点」を踏まえる。

イ　学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開を図る。

ウ　生涯学習の基盤を培う学校教育の充実に努める。

エ　地域社会との交流、連携を深め、開かれた学校、特色ある学校づくりを目指す。

(2)　教育目標

「たくましく心豊かに生きぬく児童の育成」

(3)　目指す児童像

○　よくかんがえる子
○　なかよくする子
○　たくましい子

(4)　本年度最重点課題

◎　主体的な学習習慣の形成と質の高い学力の定着と向上

(5)　学校経営方針（中期経営目標）

ア　未来を切り拓く教育の推進（展望する力）

生涯にわたって自ら学び続けることで自己を開拓し、夢と希望を持って未来を切り拓いていくための基盤となる力の育成に努める。

イ　社会の一員としての自覚をうながす教育の推進（つながる力）

全ての教育活動を通じて豊かな人間性をはぐくみ、とりわけ地域社会との交流と連携を深めることで、自然、人、社会とつながり共生できる力の育成を目指す。

ウ　健康でたくましく生きる力を育成する教育の推進（挑戦する力）

自ら目標や課題を見つけ、それらに向かって失敗を恐れず積極的に挑戦し続ける強くしなやかな意志と、健康でたくましく生きる力の育成に努める。

エ　教師力の向上と協働体制の確立

一人一人が教職員評価制度の活用などを通して、自己の「教師力」の向上に努め、適正やよさを十分に発揮するとともに、全教職員一体となって課題解決に当たる。

オ　家庭・地域社会との連携強化

学校評価を活用しながら開かれた学校を目指し、家庭や地域社会との連携を一層進める中で、教育目標の達成に迫る。

(6)　学校経営の重点

ア　未来を切り拓く教育の推進（展望する力）

○学習状況の的確な把握と指導

・学力診断テスト等を活用し、学力実態を把握し、指導に生かす。
・少人数授業の充実。特に習熟の程度に応じた学習集団の編成による授業を推進する。
・ペア学習やグループ学習を取り入れ、練り合う時間を重視した授業展開を工夫する。

○特別な支援を必要とする児童への支援方策を明らかにし、個に応じたきめ細かな指導に努める。

○「きっづをはぐくむ家庭の力」（家庭学習の手引き）を基に家庭との連携を大切にし、発達段階に応じた学習習慣の定着に努める。

イ　社会の一員としての自覚をうながす教育の推進（つながる力）

○児童と教職員の信頼関係づくりに努める。
○仲良く助け合い、高まることのすばらしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合う児童相互の人間関係づくりに努める。
○道徳の時間では「私たちの道徳」「京の子ども明日へのとびら」をはじめとした効果的な資料の活用や豊かな体験活動を通し、道徳的な心情と道徳的な判断力の育成に努める。
○特別活動や様々な体験活動を通して、社会貢献の意識やリーダーシップをはぐくむ。
○ 発達段階に即した計画的な人権教育の推進に努める。

ウ　健康でたくましく生きる力を育成する教育の推進（挑戦する力）
○木津小学校ベーシックストレッチを継続し、自主性を重視した体力・運動能力の向上の取組を支援するとともに、「京の子どもげんきなからだスタンダード」を活用する。
○豊かな運動経験や望ましい食習慣の形成など体力づくりの工夫に努める。
○計画的な保健指導の実施に努める。
○自ら安全な行動がとれる能力と態度の育成に努める。

エ　教師力の向上と協働体制の確立
○学校教育目標の実現に向け、自己目標を持って校務の分担に努める。
○自らをレベルアップするための自己研鑽に努める。
○本校の課題解決に向け、全教職員が一体となって取組を進める。
○週案に基づく計画的な教育実践に努める。

オ　家庭・地域社会との連携強化
○家庭学習の手引きややるきっづ週間の取組を通して、家庭での学習習慣や読書習慣の確立を目指す。
○地域協力員や学校支援ボランティアとの連携を深め、児童の安全な登下校や学習活動を豊かにする取組を進める。

(7)　本年度重点研究

ア　テーマ

「考え、練り合い、高め合う『学びの力』の育成」
～自己を開拓し未来を切り開く基盤形成を目指して～

イ　研究の目的
・基礎基本の確実な定着を土台として、より質の高い学力へのステップアップ
・将来への夢をふくらませ、自己の可能性を広げ未来を切り拓こうとする意欲をもった児童の育成
・学習に対する有用感と耐性をもち、図書資料を活用したり他者と意見を交わしたりして課題解決に向かう「学習力（学びの力）」をもった児童の育成
・国語科における問題解決的な学習課題による読解力の育成
・地域素材を活かし、現代的な課題に対応した「総合的な学習の時間の」カリキュラム開発

ウ　期待する効果
・思考力・判断力・表現力の向上
・主体的な金学習態度の向上
・将来を前向きにとらえ、自己を鍛え向上させようとする意欲の充実
・学習課題の達成に向けて粘り強く学び続ける力の向上
・共通テーマに向かって研さんを積むことによる学校組織の活性化
・保護者、地域社会との信頼関係の深まり

(8)　指導の重点

ア　学習指導
○各教科等における言語活動を充実させる。
○体験的な学習や問題解決的な学習など指導方法の工夫改善を図る。

○学習意欲の向上と「家庭学習の手引き」の活用による学習習慣の定着に向けた指導を計画的に行う。
○読書活動を充実させ、読書意欲の向上や読書習慣の形成に努める。

イ　特別支援教育

○校内委員会や特別支援教育コーディネーターを機能的に活用し、障害のある児童を学校全体として支援する取組を進める。
○通常の学級に在籍する発達障害を含む配慮を要する児童に対する個別の指導計画を活用し、個に応じた指導及び指導方法の工夫改善を図る。
○全ての児童が、障害のある人及び特別支援教育についての正しい理解と認識を深める指導を計画的に行う。

ウ　道徳教育

○豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の要として道徳教育を位置付け、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。
○学校として育てたい心を焦点化した年間指導計画、学級における指導計画を策定し、これらに基づく指導の徹底を図る。
○魅力的な資料の活用、体験活動を生かす工夫や地域の人々の協力など多様な学習活動を展開し、道徳的実践力の育成を図る。

エ　特別活動

○人間的な触れあいを基盤として、望ましい集団活動を展開する。
○児童が自分の役割や責任を果たすことにより、社会性の育成を図る。
○異年齢集団による自発的、自治的な活動を一層充実させる。

オ　生徒指導

○生徒指導の３機能を活かした教育活動を展開する。
○自らの課題を解決する意欲と実践力、自律心や社会性の伸長に努める。
○不登校については、教育相談機能を充実させるとともに、状況に応じて効果的な対応を組織的に行い、その未然防止と解決に向けた総合的な取組の充実を図る。
○いじめの問題については、「いじめ防止基本方針」に基づき、日頃から児童が発する心のサインを見逃さないようにし、早期発見と早期対応に努める。
○学校や社会のきまり・ルールを守ることの意義や重要性について繰り返し指導し、児童の規範意識の醸成を図る。

カ　人権教育

○地域や児童の実態を考慮した人権教育推進計画を策定し、校長主導の全校推進体制のもとに、あらゆる教育活動を通じて人権教育を進める。
○生涯にわたって学び続ける基盤を培うという視点に立って、児童の学力向上や就学保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図る。
○互いの個性や価値観の違いを認め、自己とともに、他者を尊重する態度や実践力を育成する。
○「人権学習資料集」等を活用して学習内容の工夫・改善を図り、児童の発達段階に即した体系的・計画的な人権教育を推進する。

キ　健康安全教育

○健康・安全で活力ある生活を営むために必要な資質や能力を育成し、心身の調和のとれた発達を図るために、家庭や地域、関係機関との連携を強化し、発達段階を考慮した健康安全教育を組織的・計画的に推進する。
○生命尊重と健康で安全な生活についての認識や実践力を高める取組の充実に努める。
○危機管理体制を整備・充実し、全教職員が「安全ファイル」を持ち、活用する。また、「危機管理マニュアル」を検証・改善することにより、教職員がその意識を高め、あらゆる教育活動における児童の安全確保に努める。
○施設・設備の安全点検、安全指導及び教職員研修等に関する学校安全計画を策定・実施するとともに、安全な生活を営む判断力と実践力の育成に努める。

木津川市立相楽小学校

相楽小学校校歌

作詞　鳴原一穂
作曲　前田卓央

一
晴れた空から　小鳥の歌だ
歌に合わせて　跳ねて踊れば
相楽校は　花咲く園だよ
ああ　明るい

二
雪に嵐に　鍛えて練って
強い身体で　勉め学ぶよ
相楽の子は　伸び行く若木よ
ああ　楽しい

三
胸に太陽　しっかと抱いて
歩む足並　とりあう手から
相楽の子に　ひらける未来だ
ああ　明るい

郵便番号　６１９－０２２２
所在地　京都府木津川市相楽清水１番地
電　話　（０７７４）７２－０２２１
ＦＡＸ　（０７７４）７２－０２８０
Ｅ-mail　saganaka-es@kizu.ed.jp

１．沿革

明治６	初めて校舎を相楽郡吐師村小字郷和田に設立
９	大字里に相楽校を開校
22	町村制度の実施に伴い従来の吐師校を廃止して相楽校に合併する 相楽尋常小学校と改称
29	校舎改築竣工　現在地（小字清水１）に移転
昭和４	中校舎竣工
12	講堂新築
16	相楽国民学校と改称
22	相楽村立相楽小学校と改称
26	町村合併により木津町立相楽小学校と改称
33	新校舎改築竣工（鉄筋二階建、木造二階建、南校舎移転）
34	歯科治療器設置
35	プール竣工、完全給食開始（Ａ型）
42	交通安全優良校受賞（府交協）、第12回学研教育賞受賞、優良児童会受賞（消防庁長官）
43	歯の健康について研究発表（全学歯大会）、優良育友会受賞（府Ｐ連）
44	５年連続よい歯の学校表彰受ける（日学歯会） 歯の健康について研究発表（全学歯大会）
45	優良育友会受賞（文部大臣）、講堂移転、体育倉庫新築、全国特選健康優良校受賞
46	奥村賞受賞
47	第２回京都府小学校図書館教育研究大会開催
48	文化財愛護図画習字コンクールで学校賞受賞（山城文化財愛護協議会） 創立百周年記念祝賀式挙行（記念碑設立、記念植樹八重桜20本）
49	10年連続よい歯の学校受賞、第38回全国学校歯科保健大会開催 全国花いっぱいコンクール優良賞受賞
50	平成50・51年度道徳教育共同推進校指定（文部省）
51	校地を拡張し南校舎竣工（鉄筋二階建、普通教室５・特別教室３） 学校保健講習会で研究発表、家庭科研究発表大会開催（府小教研）
52	道徳教育研究発表大会開催（文部省・京都府）、台北市教育視察団学校訪問
53	本館（北校舎）と南校舎間に中校舎竣工（鉄筋三階建、普通教室10、特別教室５） 障害児学級（２学級）開設、体育館完成
56	プール竣工（６コース・低学年用プール）
60	北校舎木造４教室改築59年７月着工、２月完成
61	正面拡張改修61年８月25日完成 社会福祉協力校（福祉教育実践校）
62	子ども銀行　日銀総裁大蔵大臣賞受賞、保健室改修 社会福祉協力校２年次（福祉教育実践校）
63	社会福祉協力校３年次（福祉教育実践校）、用務員室・教職員更衣室改修
平成元	北校舎改修及び改築　ふるさと交流学習促進事業１年次（文部省委嘱） 図書館教育研究大会（府小教研）
２	ふるさと交流学習促進事業２年次（文部省委嘱）

第７回京都府歯科保健文化賞受賞
3　よい歯の表彰及び動物愛護賞受賞
３・４年度心身障害児理解推進校指定
4　文部省指定「心身障害児理解推進校研究発表会 」、 観察池・放送設備全面改修
交通安全運動及びよい歯の表彰受ける
5　よい歯の表彰受賞、心身障害児理解推進校視察来校多数
心身障害児理解推進校の取組について文部省より感謝状を受ける
町Ｐ会長校となる　ふるさと交流学習として、６年修学旅行で丹後町間人小学校訪問開始
南山城養護学校との交流教育継続
6　学校文化芸術祭・小中学校音楽フェスティバル出演（住友ホール）
よい歯の表彰受賞
南山城養護学校との交流教育継続
7　プール浄化装置改修、塗装（全面塗装）
運動場全面改修（総合遊具設置）
南山城養護学校との交流教育
8　コンピュータ教室の設置
9　中国天津市児童使節団来校
10　平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）
11　平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）研究発表会
平成11年度木津町教育委員会指定国際理解教育交流発表会
南山城養護学校との交流教育
12　木津町ＰＴＡ会長校となる
13　平成13・14年度文部科学省歯・口の健康つくり研究推進指定校
南山城養護学校との交流教育
14　健やか賞受賞（京都府教育委員会）
14　文部科学省歯・口の健康つくり研究発表会（於：本校）にて授業公開
15　健康教育推進学校優良校表彰（日本学校保健会）
15　創立１３０周年記念事業・式典開催
16　京都府キャリア教育推進地域指定
16　お話ルーム設置
17　平成１７年度「人権の花」運動実施校
18　人権教育総合推進地域事業推進協力校（～２０年度）
キャリア教育実践に関わる文部科学省表彰
キャリア教育実践報告会開催
19　木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽小学校と改称
20　人権教育総合推進地域指定事業発表会開催
21　よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
第73回全国学校歯科保健研究大会で本校の取組発表
山城地方ＰＴＡ連絡協議会会長校となる
22　第27回京都府歯科保健文化賞受賞
歯科保健文化賞に伴う府歯科医師会から感謝状受賞

よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
北校舎耐震工事・飼育小屋の設置
緑化推進事業を受け、植樹
23　中校舎・体育館耐震工事
よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
25　木津川市ＰＴＡ会長校となる
140 周年記念航空写真を撮影

2．教　育

(1) 教育目標、学校経営方針等の設定及び教育課程編成の視点

ア　京都府教育委員会「京都府教育振興プラン」、「学校教育の重点」及び「木津川市教育振興基本計画」、木津川市「学校教育の重点」を踏まえる。

イ　学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開を図る。

ウ　生涯学習の基盤としての学校教育の充実に努める。

エ　伝統や文化、校風、ふるさと相楽を大切にする。

オ　家庭、地域社会との連携を深め、開かれた学校、特色ある学校づくりを目指す。

(2) 教育目標

創造性にあふれ、心豊かで主体的に生き抜く児童の育成

(3) 目指す児童像

- ○　考える子
- ○　思いやりのある子
- ○　たくましい子

(4) 教育方針

ア　創意工夫を生かした特色ある学校づくりを通して、学校の活性化を図る。

イ　自ら学び、自ら考える力を育て、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。

ウ　他人を思いやる心、自立心、自己抑制力などの豊かな人間性の育成に努める。

エ　健康で安全に生きぬく実践力を育てる。

オ　あらゆる教育活動を通じて人権教育を推進する。

カ　開かれた学校を目指し、家庭・地域社会との連携のもと信頼される学校づくりを推進する。

(5) 本年度重点課題

◎ 質 の 高 い 学 力 と 豊 か な 人 間 性 の 育 成

(6) 学校経営方針

ア　新しい時代を拓く教育の推進

国際化、高度情報化、少子高齢化など急激な社会の変化に対して自ら柔軟かつ的確に対応できる『生きる力』（確かな学力、豊かな人間性、健康な体）の育成に努める。

イ　学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開

公教育に課せられた使命と職責の自覚のもと、学習意欲の向上や言語活動の充実・向上を目指す取組を組織的に進め、教育活動全体において質の高い学力の育成を目指すとともに、一人一人の個性を伸ばす教育を一層推進する。

ウ　教育目標の具現化

教育目標の具現化に向けて、各教育活動における評価計画をもち、その達成状況を点検しながら進める。

エ　協働体制の確立

教職員一人一人が教職員評価制度の活用などを通して自己の資質能力の向上に努め、適性やよさを十分発揮するとともに、全教職員一体となって課題解決に努める。

オ　特色ある学校づくり

伝統や文化、校風、ふるさと相楽を大切にしつつ、校区のもつよさを積極的に生かした特色ある学校づくりを進め、教育の活性化を図る。

カ　家庭・地域社会との連携強化

学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

(7) 指導の重点

○基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の推進

ア　特色ある学校づくり

①　学習指導要領の趣旨を踏まえ、特色ある教育内容の創造を目指した教育課程を編成する。

②　校区のよさを生かし「さがらっ子を守り育てる懇談会」や「学級懇談会」学校評議員制度の充実などを通して、家庭や地域社会の信頼を得る特色ある学校づくりに努める。

③　地域の自然や人材などの資源を積極的に活用し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

イ　学習指導

①　学習指導要領の趣旨に即した授業改善を一層進める。

②　綿密な指導計画に基づいた指導を進め、授業時数を確保する。

③　質の高い学力を育成するため、少人数授業等指導方法の工夫による個に応じた指導を一層組織的に推進する。

④　質の高い学力の基盤となる言語力の育成について、全教育活動を通じて重視する。

⑤　体験的な学習や問題解決的な学習などを積極的に取り入れる。

⑥　学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況を評価し、きめ細かな指導に生かす。

⑦　「総合的な学習の時間」と各教科で身に付けた力が相互に生かされるようにする。

⑧　読書活動を充実させ、読書意欲の向上や読書習慣の形成に努める。

⑨　家庭との連携による発達段階に応じた学習習慣の形成を図る。

ウ　特別支援教育

①　特別支援教育方針を確立し、校内委員会やコーディネーターの機能を充実させ、学校全体として取組を進める。

②　発達障害を含む、障害のある児童個々の教育的ニーズに応じた適切な教育課程の編成及び個別の指導計画の充実と指導方法の工夫改善に努める。

③　すべての児童が障害についての正しい理解と認識を深める指導を計画的に行う。

④　好ましい人間関係を確立するため、交流及び共同学習を計画的・継続的に推進する。

⑤　児童の実態を踏まえた個別の教育支援計画の策定について検討する。

⑥　各学校間並びに関係諸機関との連携を一層強め、相談を重視した就・修学の指導に努める。

エ　キャリア教育

①　将来への希望を持たせ、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。

②　望ましい勤労観や職業観を身に付けさせるキャリア教育年間指導計画の充実を図る。

③　働くことの体験や様々な仕事の見学など、啓発的経験を得させる活動を充実させる。

④　ガイダンスの機能を充実させ、自己の特性に気付かせながら将来への希望を持たせる。

○　豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

ア　道徳教育

①　「心の教育」の要として道徳教育を位置付け、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。

②　学校として育てたい心を焦点化した年間指導計画と学級における指導計画を策定する。

③　ボランティア活動などの豊かな体験活動や心を耕す読書活動の展開をさらに強化する。

④　魅力的な資料の活用や地域の人々の協力、管理職の授業参加等多様な学習活動を展開する。

⑤　家庭や地域社会と一体となって、道徳的実践を促す環境づくりに努める。

イ　特別活動

①　教師と児童及び児童相互の人間的なふれあいを基盤として、望ましい集団活動を展開する。

②　なすことによって学ぶ活動を通して、個性の伸張を図り、自主的、実践的な態度を育てる。

③　児童一人一人が自分の役割や責任を果たすことにより、社会性の育成を図る。

④　異年齢集団による自発的、自治的な活動を一層充実させる。

ウ　生徒指導

① 教職員と児童及び児童相互の深い信頼関係、好ましい人間関係の育成に努める。
② 生徒指導の３機能を生かした教育活動を展開する。
③ 児童の内面理解に努め、いじめや不登校の早期発見と組織的な早期対応により、その解消に努める。
④ 学校のきまりや社会のルールについて繰り返し指導を行い、規範意識の向上を図る。
⑤ 個々の課題に対応すべく教育相談機能を充実させ、総合的な取組を推進する。
⑥ 児童虐待の早期発見に努めるとともに、関係機関との連携を図り、必要な支援を行う。

エ　人権教育

① 地域や児童の実態を考慮した推進計画を策定し、全教育活動を通じて人権教育を進める。
② 人権教育の推進に当たっては、同和問題を人権問題の重要な柱として位置付け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識の基礎のもとに、解決に向けた実践的態度を養う。
③ 児童の学力向上や修学保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図る。
④ 個性や価値観の違いを認め、自己とともに、他者を尊重する態度や実践力を育成する。
⑤ 職員研修を系統的に進め、認識の深化と指導力の向上を図る。

オ　芸術文化活動

① 創造性に富む情操豊かな人間の育成を目指し、豊かな感性と芸術を愛する心情を養う。
② 芸術文化活動を適切に行い、表現能力や鑑賞能力の伸長に努める。
③ 地域の文化や文化財に積極的に関わらせ、文化や伝統を尊重する態度の育成に努める。

カ　体育・スポーツ活動

① スポーツに親しむ能力や態度の育成を目指し、体育・スポーツ活動を適切に行う。
② 新体力テストの結果をもとに自己の体力を理解させ、体力・運動能力の向上に努める。
③ 地域大会に積極的に参加させるなど競技スポーツの特性にふれさせる活動を推進する。

キ　健康安全教育

① 健康の保持増進に係る取組を推進するため組織体制を整理し保健管理と保健教育を進める。
② 心身の成長発達に関して、適切な行動することができるよう、教科等との関連を図りながら指導する。
③ 自ら「歯・口の健康つくり」に努める児童の育成を図る。
④ 「危機管理マニュアル」を改善し、教職員の意識を高め、児童の安全確保に努める。
⑤ 安全指導と安全管理を徹底し、危険予測の能力を高め、安全な生活を営む実践力を養う。
⑥ 食育を推進するため、教科横断的な指導を行う。

○　社会の変化に対応する教育の推進

ア　環境教育

① 環境にかかわる各教科等の指導内容を明確にし、総合的かつ系統的な指導に努める。
② 環境に対する豊かな感受性を育て、環境に配慮した生活や行動ができる態度を育成する。
③ 循環型社会を目指し、家庭、地域社会の教育機能を生かした環境教育の推進に努める。

イ　国際理解教育

① 各教科、道徳、総合的な学習の時間等、組織的、計画的な実践を行う。
② 我が国の文化と伝統を理解し尊重すると共に、異文化を理解し尊重する資質や能力を養う。
③ ＡＥＴの積極的活用を図り外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ウ　情報教育

①「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」の育成に努める。
② 情報通信ネットワークやコンピュータなどを効果的に活用し、指導方法の改善に努める。
③ 情報教育を推進する組織体制の整備と、情報モラルやマナーに関する指導の充実に努める。

木津川市立高の原小学校

高の原小学校校歌

作詞　木村良子
作曲　石崎照代

一、流れも清き　木津川を
はるかにのぞむ　この丘に
夢と希望を　語りつつ
心豊かに　伸びていく
高の原小学校

二、明るい声の　ひびき合う
木せいかおる　学び舎に
人の真実を　求めつつ
技をみがきて　育ちゆく
高の原小学校

三、輝く太陽　そよぐ風
緑あふれる　この道に
世界の友と　はげみつつ
歴史と文化　創りゆく
高の原小学校

郵便番号	６１９－０２２４
所 在 地	京都府木津川市兜台４丁目４番地１
電　　話	（０７７４）７２－８７３７～８
ＦＡＸ	（０７７４）７２－８７３９
Ｅｍａｉｌ	takanohara－es@kizu.ed.jp

１．沿革

昭 61．　4．　1	木津町立高の原小学校開校（児童数　58 名）
62．　3．20	第１回卒業証書授与式（卒業生 11 名）
平元．　1．10	京都府学校給食優良校努力校受賞
2．　3．26	北校舎９教室増築
2．　9．20	歯の健康診断優良校受賞
2．11．　1	学校給食文部大臣賞受賞
2．11．20	京都府教育実践推進校指定　学校給食研究発表会
3．　1．25	京都府学校給食優良学校賞受賞
3．　3．　1	高の原小学校校歌制定
5．　3．31	木津町立相楽台小学校開校に伴い児童 132 名転学
7．　4．　1	ＰＴＡ発足
7．11．18	創立 10 周年記念式典挙行
8．　5．16	中国天津市児童使節団との交流学習
9．10．　9	コンピュータルーム設置（21 台設置）
10．　1．19	京都府学校安全努力学校受賞
4．　1	障害児学級「ねむの木」開設
12．　4．　1	木津町国際理解推進事業指定校
13．　2．　8	国際理解教育学校公開
13．　4．　1	平成 13・14 年度小学校教育実践パイロット校(道徳)指定
13．　6．　1	創立 15 周年記念航空写真撮影
14．　2．　1	小・中学校教育実践パイロット校教育局別実践交流会(於　本校)にて授業公開
14．　4．　1	障害児学級「ねむの木２組」(情緒障害児学級)開設
14．11．16	平成 14 年度「さわやか賞」受賞
14．11．26	京都府教育委員会教育実践パイロット校「道徳教育」並びに木津町教育委員会研究指定校「道徳教育」研究発表会
15．　3．31	「道徳教育の展開」出版
15．　7．22	京都中央信用金庫「かがやき賞」受賞
15．12．　5	「道徳教育」授業研究会
16．12．24	「高の原子ども安全ネットワーク会議」発足
17．　2．26	創立 20 周年記念事業バザー
17．　6．15	創立 20 周年記念航空写真撮影
17．11．12	創立 20 周年記念行事
17．12．　1	木津町教育委員会研究指定校　算数科授業公開・研究協議会
18．11．　2	京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」受賞
19．　1．25	木津町教育委員会研究指定校　算数科授業公開・研究協議会
19．　3．12	木津川市誕生により、木津川市立高の原小学校に改称
19．　4．　1	京の子ども夢・未来校(「やましろ未来っ子」研究推進校)指定
19．　4．　1	木津川市教育委員会研究指定校
19．11．　1	山城地方夢・未来教育実践交流会　公開授業
20．　4．　1	全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究校
20．10．23	京の子ども夢・未来校(「やましろ未来っ子」研究推進校) 並びに木津川市教育委員会研究指定校　研究発表会
21．　4．　1	第２期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成 21 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
22．　4．　1	第３期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成 22 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
22．　6．　9	創立 25 周年記念航空写真撮影
22．11．30	木津川市教育委員会研究指定校　国語科授業公開・研究協議会
23．　4．　1	第４期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定 平成 23 年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

24. 4. 1 第5期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成24年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
25. 4. 1 第6期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成25年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
26. 4. 1 第7期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成26年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
平成26年度山城地方「学力向上トライアル校」指定

2．　教育

(1) 教育目標

ひ　と　り　だ　ち　　— 変化の激しい社会に対して自ら柔軟かつ的確に対応できる『生きる力』の育成 —

(2) 目指す児童像

か　し　こ　く や　さ　し　く た　く　ま　し　く

(3) 教育方針

ア　教育活動全体を通して、自ら学び自らを高めようとする質の高い学力を育成する。
イ　生命を大切にする心、他人を思いやる心などの豊かな人間性の育成に努める。
ウ　心身ともに健康でたくましく生き抜く力を育てる。
エ　創意工夫を生かした特色ある学校づくりを通して、学校の活性化を図る。
オ　家庭･地域との連携を強化･発展させ、地域社会の心の拠り所としての開かれた学校を目指す。
カ　様々な研修の機会を活用し、教職員一人ひとりの指導力の一層の育成を図るとともに、学校全体としての「学校力」の向上に努める。

(4) 本年度重点課題

ことばを大切に、いきいきと伝え合う児童の育成 〜互いに高めあえる集団とコミュニケーション能力の育成から、質の高い教育を〜

(5) 本年度の努力点

児童　　挨拶、掃除、廊下歩行、時間を守る
教師　　児童とともに行動、率先垂範、優しさと厳しさのある指導

(6) 指導の重点

○　基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実

ア　特色ある学校づくり

①　学習指導要領、京都府教育振興プラン等の趣旨及び学校教育目標を十分踏まえ、特色ある教育内容の創造を目指した教育課程を編成する。
②　教育課程の実施に当たっては、全体計画及び年間指導計画の充実とその進行管理に努め、学力の充実・向上を図るとともに、個性や能力の十分な伸長に努める。
③　校区のもつよさを積極的に生かし、学校評価や情報を公開する。また、学校評議員制度の充実や保護者・地域の人々の学校運営への参加促進など、地域の力を活用することにより、家庭や地域社会から信頼される特色ある学校づくりに努める。
④　「総合的な学習の時間」については、全体計画を各教科との連携を明らかにしながら作成し、工夫した教材をもとに、児童の実態に即した特色ある教育活動を展開する。

イ　学習指導（質の高い学力をはぐくむ）

①　学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程を適切に実施するとともに、授業改善をさらに進める。
②　綿密な指導計画に基づいた指導を進め、授業時数を確保する。
③　児童の学力の状況を的確に把握し(全国学力学習状況調査・府学力診断テスト等)、少人数による個に応じた指導を一層推進するとともに、学力向上を目指す取組を組織的に進める。
④　「コミュニケーション能力」をはぐくみ、言語活動の充実を図る取組を各教科・領域の年間指導計画に位置付け、思考力、判断力、表現力などの育成に努める。
⑤　知識・理解はもとより、自ら学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力などを育成するため、体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れるなど指導方法の工夫改善を図る。
⑥　学習指導要領に示す目標に照らして､その実現状況を評価し､きめ細かな指導とその改善に生かす。
⑦　外国語活動及び国際理解教育を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュ

ニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

⑧　児童の主体的な学習活動を促すために、「京都府子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、司書教諭などすべての教職員が学校ボランティアと連携して読書活動の充実や図書資料の活用を図り、学習情報センターとしての学校図書館の計画的な利用を進める。

⑨　毎週月曜日の放課後に補習学習の時間を設定し、学力の回復支援等児童の個別の課題に対応するとともに、家庭と連携し発達段階に応じた学習習慣の定着を図る。（ホップアップ学習との関連）

ウ　キャリア教育

①　人間としての在り方生き方にかかわる指導を基盤にして、キャリア教育を通して望ましい職業観や勤労観を身に付け、将来への希望をもち、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。

②　教育活動全体を通じてガイダンスの機能を充実させ、児童個々の能力・適性、興味・関心を的確に把握し、自己表現を図ることができるよう、キャリア教育を推進する。

エ　特別支援教育

①　特別支援教育方針を確立し、学校全体として特別支援教育の取組を一層強化する。

②　特別な教育的支援を必要とする児童個々の理解を深め、学校全体として支援する校内体制を充実させる。特別支援教育校内委員会を充実させ、通常の学級に在籍する発達上の課題を持つ児童に対する個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善を図るとともに、個別の支援計画の策定を推進する。

③　すべての児童が障がいのある人を正しく理解するための指導を計画的に行う。

④　保護者、地域社会の特別支援教育についての理解と認識を深めるための啓発に努める。

○　豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

ア　道徳教育

①　生命を大切にする心、他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の要として道徳教育を位置付け、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。

②　児童の心に響く道徳の時間を目指し、体験活動を生かす工夫、魅力的な資料(『京の子ども　明日へのとびら』等)・「わたしたちの道徳」の活用などにより、内面に根ざした道徳的実践力の育成を図る。

③　家庭や地域社会と一体となり、道徳的実践を促す環境づくりに努める。

イ　特別活動

①　教師と児童及び児童相互の人間的ふれあいを基盤として、望ましい集団活動を展開する。

②　異年齢集団（オレンジグループ）での活動を通し、児童のコミュニケーション能力の育成と社会性及び連帯感を培うとともに、高学年としてのリーダー性の育成を図る。

ウ　人権教育

①　「新京都府人権教育・啓発推進計画」と「京都府教育振興プラン」等を踏まえ、地域や児童の実態を考慮した人権教育推進計画を策定し、あらゆる教育活動を通じて人権教育を進める。

②　人権教育の推進に当たっては、同和問題を人権問題の重要な柱として位置付け、あらゆる人権問題について正しい理解と認識の基礎のもとに、解決に向けた実践的態度を養う。

③　互いの個性や価値観の違いを認め、自己とともに、他者を尊重する態度や実践力を育成する。

④　校種間、社会教育や関係行政機関との連携を強め、体系的・計画的な人権教育を推進する。

⑤　全教職員が自らの職責を自覚し、人権尊重を踏まえた教育活動を進めるために職員研修を日常的・系統的に進め、認識の深化と指導力の向上に努める。

エ　生徒指導

①　校内指導体制を確立し、組織的・計画的な指導を推進する。

②　個々の課題に対応すべく教育相談機能を充実させ、総合的な取組を推進する。

③　教職員と児童及び児童相互の心のふれあいを大切にし、深い信頼関係、好ましい人間関係の育成に努める。

④　多様な教育活動を通して、自らの課題を解決する意欲と実践力、自律心や社会性の伸長に努める。

⑤　児童の内面理解に努め、不登校やいじめの解消を図る。とりわけ、不登校にいたる段階での発見、援助等の手立てを工夫し、その未然防止に努める。

⑥　学校や社会のきまり・ルールを守ることの意義や重要性について、繰り返し指導し、児童の規範意識の向上を図る。

⑦　生徒指導の機能(自己存在感、共感的理解、自己決定の場)を生かした教育活動を展開する。

⑧　家庭、地域社会や関係諸機関との連携を強化し、児童虐待の早期発見に努めるとともに、児童を取

り巻く環境の浄化と健全な文化の育成に努める。

オ　健康安全教育

① 児童の実態に即した日常的・系統的な保健教育と保健管理を徹底し、自ら健康な生活を営むべく望ましい行動への変容を図る。

② 危機管理体制を整備・充実し、本校独自の「危機管理マニュアル」を検証し改善することにより、あらゆる教育活動における児童の安全確保に努めるとともに、生命の尊重と健康で安全な生活についての認識や実践力を高める取組の充実を図る。

③ 喫煙・薬物乱用の防止、感染症や生活習慣病の予防など現代的課題への対応を図るとともに、発達段階に即したエイズに関する指導を含む性教育の充実に努める。

④ 事故災害事例に基づく安全指導と安全管理を徹底する中で、潜在危険を予測する能力を高め、安全な生活を営む実践力を養う。特に、日常的な安全管理に関する対策、交通安全指導の徹底及び地震防災安全教育の充実を図る。

⑤ 食に関する指導計画を策定し、教育活動全体を通じて望ましい食習慣を身に付けた健康な生活を送るなど、食育を推進する。

○　社会の変化に対応する教育の推進

ア　国際理解教育

① 国際社会に生きる日本人の育成という観点から、各教科、道徳等における国際理解にかかわる指導内容を踏まえ、組織的・計画的な実践に努める。

② AET・ALT の積極的活用を図り、外国の生活、習慣、伝統等異文化を理解、尊重する態度を養う。

② 自分の考えを持ち、相手に伝わるように表現しようとする態度を養うとともに、外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

④ 帰国子女の学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かすなど適切な指導に努める。

イ　環境教育

① 身近な環境や環境問題に関心を持ち、生命及び自然を尊重する精神を養うとともに、人間と環境との関わりについて理解を深め、環境の保全やより良い環境の創造のために主体的かつ積極的に行動する実践的態度や能力の育成に努める。

② 環境に関わる各教科等の指導内容を明確にし年間指導計画に基づき総合的かつ系統的に指導に努める。

③ 環境に対する豊かな感受性を育て、環境に配慮した生活や行動ができる積極的な態度を育成する。

④ 脱温暖化社会と循環型社会づくりを目指し、家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を図り、それぞれの教育機能を生かした環境教育の推進に努める。

ウ　情報教育

① 「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」で構成される情報活用能力の育成に努める。

③ 情報通信ネットワークやコンピュータなどの情報手段及び教育機器を積極的に活用して、児童の興味・関心に応じた主体的な学習を展開し、ICT を効果的に活用した分かりやすい授業の創造を図るなど、指導方法の工夫改善に努める。

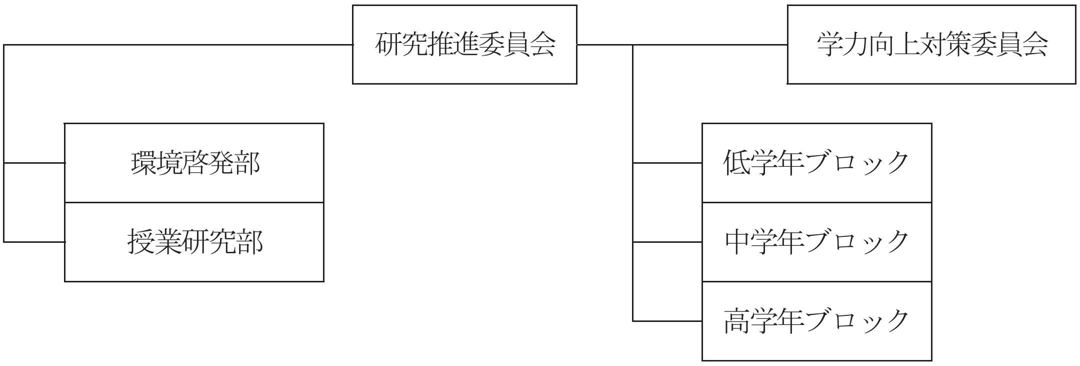
③ 個人情報の取り扱い、著作権などについて配慮するとともに、ネチケットなどの情報モラルに関する指導の進展を図る。

(7) 重点研究

ア　重点領域　　国語科

イ　研究主題　　「ことばを大切に、いきいきと伝え合う児童の育成
ー互いに高めあえる集団とコミュニケーション能力の育成から、質の高い学力を～」

ウ　研究組織　　研究推進委員会を中心に、専門研究部（全校的な取組）及び低・中・高学年ブロック（授業研究）を編成し取組を進める。



エ　重点課題　　国語科において、「伝え合う力」の育成を目指し、自分の思いや考えを適切に表現する力やそれらを理解し合う力を身に付けさせる。

木津川市立相楽台小学校

相楽台小学校校歌

作詞　西田義忠
作曲　森本陽三郎

一
ふるさとの
はるかな歴史　しのばせて
木犀かおる　木津の野辺
心とからだ　すこやかに
みんな仲よく　学びます
わたくしたちの　相楽台
相楽台小学校

二
夢うかべ
千古の流れ　とうとうと
水面きらめく　木津の川
共に手をとり　おおらかに
真実の道を　歩みます
わたくしたちの　相楽台
相楽台小学校

三
あたらしい
世紀に映える　けいはんな
文化学術　拓くまち
未来をになう　よろこびに
理想の花を　咲かせます
わたくしたちの　相楽台
相楽台小学校

郵便番号　６１９－０２２３
所 在 地　京都府木津川市相楽台５丁目 17 番地１
電　　話　（０７７４）７２－４００５
ＦＡＸ　（０７７４）７２－４４００
Ｅ－mail　sagadai-es@city.kizugawa.lg.jp

1．沿革

平5．4．1	木津町立高の原小学校より、分離・独立し、開校する（4月5日開校式）
5．4．1	平成5・6・7年度国際理解教育推進モデル校として指定を受ける（京都府教育委員会、木津町教育委員会）
5．4．7	第1回入学式（入学生39名）児童数 190 名
5.10．8	アメリカ、オレゴン州教育視察団学校訪問
6．3.12	近畿テレビ「教育の窓」で本校の国際理解教育放映
6．3.19	第1回卒業式（卒業生28名）
6．5.25	中国、天津市少年宮学校訪問
6.11.20	よい歯の学校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
7.11	よい歯の学校特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
8．3.	国際理解教育3年間のまとめ冊子刊行
8.11.6,14	第1回国際理解教育授業研究自主発表会
8.12.12	中国教育視察団学校訪問
9．5.16	英国教育視察団学校訪問
9．6.11	校歌発表会
9.10.16	全日本よい歯の学校表彰受賞（社団法人日本学校歯科医会）
9.11.12	第2回国際理解教育授業公開
10．1.19	京都府健康優良学校努力校受賞
10.10.27	府小研国語部研究協力校として実践発表
11．4．1	平成11・12年度教育実践パイロット校（総合的な学習について）指定を受ける（京都府教育委員会）
12.11.14	教育実践パイロット校「総合的な学習」研究発表会（京都府教育委員会・木津町教育委員会）
13．4．1	国立教育政策研究所指定 平成13年度教育課程研究指定校の委嘱を受ける（「総合的な学習の時間」） 木津町教育委員会研究指定（3年次）（「総合的な学習の時間」）
13.11.27	「総合的な学習の時間」研究発表会
14．2.	コンピュータ42台設置
14．5.	「人権の花」運動実施校委託（京都地方法務局・京都府人権擁護委員連合会）
14．8.27	学校歯科保健優良校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
14．9．1	学校評議員制度発足
14.11．6	創立10周年記念植樹　　14.11.16　創立10周年記念式典
15．3.14	「人権の花」運動感謝状伝達式
16．2.27	木津町地域イントラネット基盤整備完了
16．4.	木津町地域イントラネット一部運用開始
16．4．1	平成16・17年度京都府教育委員会指定「京都夢・未来校」の指定を受ける（「理科」）
16.10.21	「京都夢・未来校」指定1年次授業公開（「理科」）
17.11.10	「京都夢・未来校」理科教育研究発表会
18.11.18	ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
19．3.12	木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽台小学校と改称
19．8.24	学校歯科保健優良校表彰　特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
19.11.17	ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
20．8.22	学校歯科保健優良校表彰　特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
20.11.15	ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
21．8.20	学校歯科保健優良校表彰　特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
21.11.14	ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
22．8.21	学校歯科保健優良校表彰　特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
22.11.13	ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」

23. 8.19　学校歯科保健優良校表彰　特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
23.11.12　ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
24. 4.1　木津川市「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
24.11.10　ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
25. 4.1　平成25年度「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」土曜教育実践研究指定校
25. 5.29　「測量の日」記念事業「測量体験学習」実施（一般社団法人　京都府測量設計業協会）
25.11. 9　ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
26. 4.1　平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
26. 4.1　平成26年度「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」土曜教育実践研究指定校

２．教　　育

（１）教育方針

学習指導要領、「京都府教育振興プラン～つながり、創る、京の知恵～」及び「学校教育の重点」に基づき、「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の３つの調和を大切に、はぐくみたい力として位置付け、京都にはぐくまれた知恵を「つなぎ」「創る」ことができる人間の育成に努める。

（２）教育目標

未来を創造する人づくりに向けた教育を推進し、京都の力を活かして児童の学びを支える教育環境をつくり、家庭・地域社会・関係諸機関との連携のもと社会総がかりで「未来を展望し」「自然・人・社会とつながり」「挑戦し続けて」いける３つの力を身につけた児童を育成する。

ア　深く考え、自ら意欲的に学習に取り組むとともに、創造性あふれる児童を育成する。
イ　やさしい心と豊かな感性をもち、なかよく助け合い、励まし合う児童を育成する。
ウ　何事にも責任をもって、ねばり強く最後までやりぬく児童を育成する。
エ　生命の尊さを自覚し、自他の健康安全の維持管理に努める児童を育成する。
オ　豊かな自然や文化と伝統を尊重するとともに、国際感覚を身に付けた児童を育成する。

（３）めざす児童像

－かしこく　やさしく　たくましく　一生懸命やりぬく子－

○深く考える子　　○やさしい子　　○元気な子　　○ねばり強くたくましい子

（４）めざす教師像

○愛情と厳しさをもち、児童に信頼され親しまれる教師
○健康で明るく、活動性に富んだ教師
○信頼と協調で結ばれた組織的な教師
○常に研究と修養に励み、保護者や地域社会の信託に応える教師

（５）経営方針

ア　基本方針

児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとっては開かれた学校をめざすとともに、明るい学校づくりを通して、「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の育成に努める。

本年度の努力点

◎　笑顔で挨拶	明るい学校
◎　進んで学習	楽しい学校
◎　きれいにお掃除	美しい学校

イ　本年度の重点

（ア）学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程を適切に実施する。特に、国語科の研究実践を通して授業改善を推進する。
（イ）児童の生活実態の把握や内面理解に努める中で、不登校やいじめなどの未然防止と解決に向けた取組に努める。
（ウ）特別な支援を必要とする児童一人一人のニーズにきめ細かく対応した教育的支援の充実と個別の指導計画に基づく授業の改善に努める。
（エ）「放課後子どもプラン」の充実と積極的な活用を中心とした活動を通して、家庭や地域社会との一層の連携に努める。
（オ）「土曜教育実践研究指定校」並びに「京都府学校給食研究会研究推進委嘱校」として、児童の学力充実・向上や、心身ともに健康な児童を育成するため、保護者・地域住民との連携を推進する。

（6）指導の重点

［基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進］

ア　特色ある学校づくり

創意を生かした教育課程を編成・実施し、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図り、「展望する力」「つながる力」「挑戦する力」の育成に努める。

イ　地域に開かれた学校づくり

学校評価などを活用しながら、開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域社会との連携を強める中で、それぞれの教育機能を生かして、豊かな環境づくりに努める。

ウ　学習指導

個に応じた指導を積極的に進め、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、自ら学ぶ意欲と自ら考える態度を育てる。

また、児童の学力の状況を的確に把握・分析し、言語力の育成を基盤として、学力の充実・向上をめざす取組を積極的に進め、自ら学ぶ力の育成に努める。

エ　進路指導

人間としての在り方生き方にかかわる指導を基盤にして、自己の特性に気付き将来への希望を持たせ、それを達成しようとする意欲や態度の育成に努める。

オ　特別支援教育

発達障害のある児童一人一人の教育的ニーズに応じ、障害に基づく種々の困難の改善・克服を図りながら個性や能力の伸長に努め、生涯にわたって心豊かでたくましく生きる力を培う。

また、すべての児童が障害のある人を正しく理解するための指導を計画的に行う。

［豊かな人間性をはぐくむ教育の推進］

ア　道徳教育

生命を大切にする心、他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」のかなめとして、「京の子ども　明日へのとびら」をはじめとした資料の効果的な活用を図るなど、児童の実態を考慮しながら、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。

イ　人権教育

教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、基本的人権や同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と、人権尊重についての実践的態度を育てる。

ウ　生徒指導

心のふれあいと信頼関係に基づいた生徒指導を推進し、教育活動全体を通じて児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図り、よりよい人格の形成を促す。

エ　健康安全教育

健康に関する総合的な認識を高めながら、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生き抜く、たくましい実践力を身に付けた児童の育成に努める。

特に、防犯の観点を含めた学校安全計画の整備を図り、教職員の十分な共通理解の下、機能的で日常的な活動ができる危機管理体制を整備し、様々な場面を想定した訓練の実施をとおして、「危機管理マニュアル」の周知徹底を図る。

［社会の変化に対応する教育の推進］

ア　国際理解教育

国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養うため、他者との共生、異質なものへの寛容など、人権尊重の精神を基盤にしてわが国の文化と伝統等を尊重するとともに、諸外国の文化や伝統を理解し尊重する態度を育成する。

イ　環境教育

身近な環境や環境問題に関心を持ち、環境の保全やよりよい環境づくりのために主体的に行動する実践的態度や能力の育成に努める。

［教職員の資質能力の向上］

不断の研鑽と組織的な教育実践により、自覚と使命感を持っておのおのの職責を遂行するとともに、教職員評価制度の活用などをとおして校務分掌機能の活性化や自己の資質能力の向上に努める。

木津川市立木津川台小学校

木津川台小学校校歌

作詞　丹田長史
作曲　坂元秀樹

一、豊かな自然　輝く文化
希望に満ちた　木津川台は
みんな仲良く　はげみ合い
明るく強く　すくすく伸びる
未来を見つめ　学ぼう共に

二、明日を開く　輝くいのち
楽しさ一杯　木津川台は
みんな一緒に　助け合い
明るく強く　元気に育つ
やさしい友と　学ぼう我ら

三、真理を求め　輝くこころ
歴史を創る　木津川台は
みんな元気に　鍛え合い
明るく強く　豊かに生きる
世界の友と　学ぼう共に

郵便番号　６１９－０２２５
所 在 地　京都府木津川市木津川台２丁目４番地
電　　話　（０７７４）７３－２４１８
ＦＡＸ　（０７７４）７３－２４２０
E mail　kizugawadai-es@kizu.ed.jp

1．沿　革

平成３年	４月	１日	木津町立木津川台小学校開校
			児童数　　56 名
４年	３月	７日	前庭時計台設置
	５月	１日	児童数　　87 名
５年	５月	１日	児童数　　97 名
６年	２月	26 日	校歌発表会開催
	５月	１日	児童数　126 名
７年	４月	１日	ふるさと交流学習促進事業１年次
			(文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	５月	１日	児童数　151 名
	８月	６日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流（於竹野小学校）
８年	４月	１日	ふるさと交流学習促進事業２年次
			(文部省委嘱、京都府教育委員会指定校)
	５月	１日	児童数　155 名
	７月	22 日	丹後町立竹野小学校との宿泊交流（於木津川台小学校）
	11 月	１日	コンピュータ 22 台設置
	11 月	29 日	国際理解促進事業として留学生と交流
９年	３月	６日	国際理解促進事業として留学生と交流
	５月	１日	児童数　199 名
10 年	４月	１日	国際理解教育推進事業（木津町教育委員会指定校）
	５月	１日	児童数　251 名
11 年	２月	18 日	国際理解教育交流発表会開催
	２月	26 日	全国教育美術展地区学校賞受賞
	５月	１日	児童数　307 名
12 年	４月	１日	特別支援学級設置
	５月	１日	児童数　338 名
	11 月	８日	創立 10 周年記念式典
13 年	３月	31 日	特別支援学級廃止
	５月	１日	児童数　368 名
14 年	５月	１日	児童数　428 名
15 年	４月	１日	特別支援学級設置
			木津町教育委員会指定教育実践研究校（国際理解教育）
			豊かな体験活動推進事業(「地域間交流」)として京都府より委託、地域交流推進校として指定(15・16 年度)
	５月	１日	児童数　465 名
			全国ＪＡ小中学校交通安全ポスターコンクールで学校賞受賞
16 年	４月	１日	京都府豊かな体験活動推進事業地域交流推進校指定(2 年次)
			国際理解教育推進事業（木津町教育委員会指定校）
	５月	１日	児童数　499 名
	11 月	26 日	「英語活動」研究発表会開催
17 年	５月	１日	児童数　543 名
18 年	４月	１日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（文部科学省指定）
	５月	１日	児童数　599 名

19 年　3月 12 日	三町合併による木津川市移行のため、 「木津川市立木津川台小学校」に名称変更
4月　1日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（２年次）
5月　1日	児童数　620 名
10 月 25 日	平成 19 年度学校安全優良校表彰
12 月　8日	山城未来っ子ＥＫＩＤＥＮ出場
20 年　4月　1日	人権教育総合推進地域事業推進協力校（３年次）
5月　1日	児童数　625 名
12 月　6日	山城未来っ子ＥＫＩＤＥＮ出場（４位入賞）
21 年　5月　1日	児童数　650 名
12 月　5日	山城未来っ子ＥＫＩＤＥＮ出場
22 年　3月	増築校舎完成
5月　1日	児童数　672 名
10 月 12 日	創立 20 周年記念学習発表会
12 月　4日	山城未来っ子ＥＫＩＤＥＮ出場
23 年　5月　1日	児童数　682 名
12 月　3日	山城未来っ子ＥＫＩＤＥＮ出場
24 年　5月　1日	児童数　674 名
25 年　5月　1日	児童数　684 名
12 月　7日	山城未来っ子ＥＫＩＤＥＮ出場
26 年　5月　1日	児童数　649 名

2　教育

(1)　教育目標

「明るく　強く　心豊かに生きる子の育成」

ア　質の高い学力を身に付け、主体的に学ぶ力をもった児童を育てる。
イ　心身ともに健康でたくましい児童を育てる。
ウ　豊かな感性をもち、創造性あふれる、心豊かな児童を育てる。
エ　生命と自然を大切にし、文化と伝統を尊重する児童を育てる。
オ　個人の尊厳と人権を尊重し、国際性豊かな児童を育てる。

(2)　めざす児童像

ア よく考える子・・質の高い学力。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力など
イ たくましい子・・心身の健康。たくましい体や体力、行動力など
ウ 心の豊かな子・・生命を尊重する心、思いやりや正義感。豊かな人間性や社会性、国際性など

(3)　めざす学校像

ア　明るく楽しい学校・・・・児童が教職員や友達と明るく触れ合いながら、互いに個性を発揮して意欲的に学び、自己実現のできる学校
イ　夢と希望のある学校・・・児童が将来の夢や希望をもち、自らよりよい生き方を考え、自ら学び、主体的に行動する学校
ウ　美しく魅力のある学校・・児童が愛着をもち、誇りをもって学ぶ学校。児童の感性や好奇心・探求心に働きかけて、豊かな情操を育み、児童の学ぶ意欲や学ぶ意欲や自発的な活動を呼び起こす学習環境の学校
エ　創意あふれる元気な学校・児童と教職員が共に元気で、何事にも創意工夫して積極的に取り組む活発な学校
オ　特色ある開かれた学校・・保護者や市民の信託と期待に応える教育活動を展開する特色のある開かれた学校
家庭や地域と強く連携し、教育的な機能を相互に補完しあい共に子どもを育てていく学校

(4)　めざす教師像

ア　心身ともに健康で、互いに連携し、協働する教師
イ　人間性豊かで、教育への創意と情熱に溢れる教師
ウ　使命と責任を自覚し、不断の研さんに努める教師
エ　家庭や地域との連携に努めきめ細かく対応して児童・保護者から信頼される教師

(5)　学校経営方針

学習指導要領、京都府教育委員会「京都府教育振興計画」及び木津川市教育振興基本計画を踏まえ、児童の実態等を把握し、家庭や地域社会との連携を深めて本校教育のより一層の充実に努める。

ア　すべての教育活動を通して、「生きる力を育み、新しい時代を拓く」児童の育成に向け、学校教育目標やめざす児童像等の具現化を図る。
イ　基礎・基本の徹底と言語活動の充実につとめ、学力の充実・向上と個性を伸ばす教育を推進する。

ウ　豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。
エ　社会の変化に対応する教育を推進する。
オ　教職員の連携・協働体制を確立して教育活動の活性化を図り、「生きる力」の育成に努めて特色ある学校づくりを推進する。
カ　開かれた学校を目指して家庭や地域社会との連携を一層推進する。
キ　学校評価・教職員評価を、日常の教育活動の活性化に結びつけるとともに、教職員の資質向上を図る。

(6)　本年度の努力点
ア　学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の充実
①　学習指導要領に基づく教育活動を実施し、「生きる力」の育成に努める。
②　創意工夫をこらして年間指導計画や授業の改善を図り、指導と評価の一体化を目指した取組を進め、質の高い学力の充実・向上に努める。
イ　「言語活動の充実」についての研究・実践の深化
①　国語科を中心に、特に「話す・聞く」の言語能力向上を目指した研究を推進する。
②　地域や児童の実態等に応じ、各学年間の系統性や発展性を踏まえ、学校として一貫性のある体系的な学習活動の展開に努める。
ウ　人権教育の推進
　基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、教育の基盤となる学校・地域社会との一体的な取組を進める。また、道徳との整合性を図る。
エ　特別支援教育の推進
①　特別な支援が必要な児童の個々のニーズに応じた指導を図る。
②　理解教育を推進するとともに校内や南山城支援学校等との交流教育を推進する。

(7)　本年度の指導の重点
《基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実》
ア　学習指導
　基礎学力の充実を図り、体験的な学習や問題解決的な学習などを通して児童自らが主体的に学ぶ意欲を育てるとともに、個に応じた指導など指導方法の工夫改善に努める。
①　学習状況の的確な把握と指導目標の明確化による授業改善に取り組み、基礎学力の充実に努める。国語科を中心に各教科や各領域において言語活用能力の充実に努める。
②　児童一人一人のよさや可能性を伸ばす授業を追求する。
③　授業研究を通した研修の充実を図り、学力の充実・向上に向けた指導体制の確立を図る。
④　読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、読書活動の充実を図る。
⑤　体力づくりを通して心身の健康の増進を図る。

イ　進路指導
　望ましい職業観や勤労観を身に付け、自らの進路を主体的に切り拓く能力の基礎を培う。
①　人間としての生き方にかかわる指導を基盤にして、自己の特性に気づかせながら将来の希望を育てる。
②　児童一人一人が将来どのような社会人、職業人として生きるかを、教科、 道徳、特別活動などあらゆる分野で意識させるようにする。
③　進路に関する指導力を高めるための研修を推進する。
ウ　特別支援教育
　障害のある児童個々の教育ニーズに応じた教育課程を編成し、教育実践を進め、心豊かでたくましく生きる力を培うとともに、すべての児童の社会性を養い、好ましい人間関係を育

てるための交流教育を推進する。

① 特別支援学級の児童における個別の指導計画による個に応じた指導内容と指導方法の工夫改善を図る。
② すべての児童が障害のある人について正しく理解するため、相互理解に基づく交流教育を学校の教育活動全体の中に位置付けて進める。
③ 特別な教育支援を必要とする児童の理解を深め、校内体制の整備と個に応じた指導方法の工夫改善を図る。
④ 特別支援教育に関する教職員研修の充実を図るとともに、関係機関との連携による相談を重視した就・修学の指導に努める。

《豊かな人間性をはぐくむ教育の推進》

エ 道徳教育

生命を大切にする心、他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」のかなめとして、児童の実態を考慮しながら、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。特に、人権教育との繋がりを図りながら、児童の道徳的な心情を豊かにし、判断力を高め、実践意欲と態度の向上を図ることによって道徳的実践力の育成に努める。

① 道徳教育の全体計画、学級における指導計画及び道徳の時間の年間指導計画に基づき、児童の心に響く指導の徹底に努める。
② 豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動などを展開し、児童の道徳性を育てる。
③ 授業公開などを通して、学校における道徳教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。

オ 人権教育

教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、児童の実態を的確に把握して基本的人権や同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解や認識の基礎と、互いの個性や価値観の違いを認め、自己を尊重し他者を尊重する態度や実践力を育てる。

① 「新京都府人権教育・啓発推進計画」並びに京都府教育委員会並びに木津川市教育委員会の「指導の重点」を踏まえた人権教育推進計画を策定し、全校体制を整え、日常的な点検をしながら実践に努める。
① 人権教育の推進に当たっては、これまでの同和教育の中で積み上げられてきた成果と手法への評価を踏まえ、すべての人の基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、同和問題を人権問題の重要な柱として位置付け、あらゆる人権問題の解決に向けた実践的態度の育成を図る。
② 個々の課題に即した指導による基礎学力の定着・向上に努めるとともに身近な問題について、自ら気付き、主体的に考え、解決しようとする態度を育成する。
③ 学校・家庭・地域が一体となった人権教育を進めるとともに、校種間の連携及び学校間の交流を強化し、児童の発達段階に即し、道徳の時間との繋がりを図りながら体系的・計画的な人権教育を推進する。
⑤ 研修は日常的・系統的に進め、認識の深化と指導力の向上に努める。

カ 生徒指導

人間の尊厳という観点に立ち、教育活動全体を通じて、児童の個性の伸長と社会性の育成を図り、よりよい人格の形成を促す。そのため、児童一人一人の生活実態の把握や内面理解に努め、個々の課題の解決を図るとともに、望ましい集団活動を通して、人間としての生き方を自覚して実践する力を育てる。

① 基本的な生活習慣を確立するとともに発達段階に応じた判断力や自律心を育成し、児童が自ら学校生活について考え、存在感や充実感をもった楽しい学校生活を送るための取組を進める。
② 学校行事や児童会の集会活動、ボランティア活動等を通じて心の触れ合いや信頼関係の

大切さと集団の規律を自覚させ、自主性や社会性を育てる。

③　不登校やいじめなどについては、教育相談機能を充実させるとともに、問題事象に対応する指導体制を確立し組織的に問題解決にあたる。また、問題事象の未然防止に努める。

キ　健康安全教育

生命の尊重を基盤とし、健康に関する総合的な認識を高めながら、基本的生活習慣を確立させ、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生きるたくましい実践力を身につけた児童を育成する。

①　健康安全教育の推進体制を機能させ、発達段階に応じた指導内容や指導方法を工夫し、系統的・総合的・組織的に取り組む。

②　喫煙・薬物乱用などの防止及び歯の健康や生活習慣病の予防についての理解を深め、食生活を自己管理する能力と態度を育成する。

③　危機管理体制を整備・充実し、日常的な安全指導と安全管理を徹底し、校内及び登下校の安全確保と不審者対応の確立に努める。

《社会の変化に対応する教育の推進》

ク　国際理解教育

国際社会に主体的に生きる日本人としての基礎的資質を養うため、人権尊重の精神を基盤にして、我が国の文化と伝統等を尊重するとともに、諸外国の文化や伝統を理解し尊重する態度を育成する。

①　国際理解教育に関する年間指導計画を充実させ、教育活動全体を通じて組織的・計画的な実践に努める。

②　広い視野を持ち、自分や相手のよさを認めあい、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育てる。

③　自分の考えを持ち、相手に伝わるように表現する態度を養うとともに、外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ケ　環境教育

身近な環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的態度や能力の育成に努める。

①　環境教育に関する各教科等の指導内容との関連を明確にした年間指導計画に基づき、教育活動全体を通じて計画的・総合的・系統的な指導に努める。

②　身近な環境に意欲的にかかわり、問題を見いだし、考え、判断して、よりよい環境づくりや環境の保全にすすんで参加しようとする実践的態度を養う。

③　環境教育関連活動として、特別活動や総合的な学習の時間での取組の充実を図るとともに、学校、家庭、地域社会等との連携を図り、循環型社会を目指した環境教育の推進に努める。

コ　情報教育

情報化社会の進展に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する能力と態度を育成する。

①　教育活動全体を通じて情報教育が推進できるよう、各教科等の関連性を図りながら、年間指導計画に位置づける。

②　児童の興味･関心に応じた主体的な学習を展開するなど､指導方法の工夫改善に努める｡

③　コンピュータ等を身近な道具として慣れ親しみ、抵抗感なく使いこなせる能力と態度をを育成するとともに、情報の価値についての理解を深め、情報モラルに関する指導に努める。

【重点研究】

「豊かに伝えあう力を持つ児童の育成」

木津川市立梅美台小学校

梅美台小学校校歌

作詞　宇田弘一
　　　巽　稔史
作曲　森本陽三郎

一
緑も豊かな高台に
ゆかしく香る梅の花
楽しく学ぼう　手をとりあって
瞳がきらきら　明るい子
望みを高く　明日を拓き
さあ　未来へ　翔こう

二
小鳥もさえずる学び舎に
うす桃色の花水木
仲よく遊ぼう　肩くみあって
いつでも輝く　元気な子
夢みる翼　大きく広げ
さあ　世界へ　翔こう

郵便番号　６１９－０２１５
所 在 地　京都府木津川市梅美台四丁目２６番地
電　　話　（０７７４）７３－６４２１
ＦＡＸ　（０７７４）７３－６４２３
Ｅ－mail　umemidai-es@city.kizugawa.lg.jp

1．沿革

平 9. 4. 1	学研都市の建設に伴い「木津小学校梅谷分校」を廃し、旧分校校区と梅美台・州見台地域を校区として開校（児童数112名）
10. 5.26	中国天津市児童使節団来校
11. 4. 1	京都府小学校教育研究会図書館教育の研究協力校（平成11年度～平成12年度）
5.29	ＰＴＡ発足に伴いＰＴＡ設立総会開催
12.11.16	京都府小学校教育研究会図書館研究大会を本校で開催
13. 4. 1	特別支援学級開設、「たんぽぽ学級」と命名
5.28	中国天津市児童使節団来校
6.24	読書活動の優秀実践校として文部科学大臣表彰受賞
14. 2. 8	木津町指定国際理解教育実践発表会を開催
9. 1	学校評議員設置
15. 2.28	校歌制定
16.11. 1	児童数の増加に伴い、仮設校舎（２階建て、普通教室５室）建設
17.10.26	京都教育大学現代ＧＰ「知的財産創造・活用力を育成する教員の養成」事業において実施する小学校における知的財産創造・活用力育成のための教材化モデル及び授業パッケージ開発のための研究協力校（先端技術領域）
18. 4. 1	児童数の増加に対応するため、多目的ホールを普通２教室に改装
11.25	創立１０周年記念行事開催
19. 3.12	木津川市誕生に伴い、木津川市立梅美台小学校と改称
19. 4. 1	州見台小学校を分離　（全11学級、児童数２５６名となる）
20. 9.26	「やましろ地域学習推進研究協力校」（平成２０年度・２１年度）
11.15	京都教育大学現代ＧＰ事業研究協力校最終年度発表
21. 4. 1	児童数増加に対応するため、プレハブを教室として使用
1.14	京都府山城教育局指定「やましろ地域学習推進研究協力校」実践発表会
22. 2. 1	京都府山城教育局指定「育ちと学びをつなぐ実践交流会」実践発表
23. 4. 1	京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校
24. 4. 1	児童数の増加に対応するため、６教室を増築 京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校（２年次）
25. 4. 1	児童数の増加に対応するための新校舎４階建１６教室増築に伴う、プレハブ校舎４教室を使用
26. 4. 1	新校舎４階建１６教室使用開始。プレハブ校舎４教室解体。 京都府教育委員会「教師力向上」教育実践力継承事業協力校

2　教　　育

(1) 学校教育目標

豊かな心と優れた感性を持ち、心身ともに健やかに、ひとり立ちできる児童の育成

(2) めざす児童像

○　なかよく・・・・・・優しく思いやりがあり、感謝できる子

○　かしこく・・・・・・めあてを持ち、すすんで学ぶ子

○　たくましく・・・・・元気で、くじけず、やり抜く子

(3) 学校経営方針

○　京都府教育振興プランの三つのはぐくみたい力と本校のめざす児童像との関係を「展望する力」＝「かしこく」、「つながる力」＝「なかよく」、「挑戦する力」＝「たくましく」とする。

　具体的には、木津川市教育振興基本計画にある「共に『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子ども」を育むことを念頭に、いつも夢を持ち、自分や他者を大切にし、どんな困難な状況にあっても、共に粘り強く対処し、未来を切り拓いていくことのできる「生きる力」にあふれた“梅美台っ子”を育成する。

○　児童の学力実態を踏まえ、学級の安定化を図るとともに、指導方法の工夫改善を図ることにより学力の確実な定着及び向上を図る。

○　教職員の資質・能力の向上のために、「教師力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。

○　ユニバーサルデザインによる教育をさらに推し進めることにより、学習規律及び生活規律を確立する。

○　学校だよりやＨＰによる情報発信及び「学校支援地域本部事業」「木津南中学校区きずなプロジェクト」と連携することにより、保護者・地域社会との一層の連携を強め、期待に応える学校づくりを目指す。

ア　質の高い学力をはぐくみ、個性や能力の伸長を図る教育の推進

イ　規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

ウ　たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

エ　安全・安心な環境づくり

オ　保護者や地域との連携

カ　教職員の資質能力の向上

(4) 経営の重点

ア　質の高い学力をはぐくみ、個性や能力の伸長を図る教育の推進

(ｱ) 学習状況の的確な把握と指導方法の工夫改善を行う。

・ 学力診断テスト（国・府）、ＣＲＴ等により、児童の学力実態を把握・分析するとともに、明確化された課題の確実な定着のための指導の徹底を図る。

・日常の授業において、児童の実態に即した創意工夫ある授業を展開する。

・全ての教科・領域等において「言語活動」を育成する取組を進める。

(ｲ) 特別な支援を必要とする児童への支援方策を明らかにし、個に応じたきめ細かな指導を行う。

(ｳ) 「家庭学習の手引き」を基に、家庭との連携を大切にし、発達段階に応じた学習習慣の定着を図る。

イ　規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

(ｱ) 児童と教職員の信頼関係づくりに努める。

(ｲ) 仲良く助け合い、高まることの素晴らしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合う児童相互の人間関係づくりに努める。

(ｳ) 発達段階に即した計画的な人権教育の推進に努める。

(ｴ) 人権意識の涵養を図り、児童間の好ましい人間関係を築くことにより、いじめ等の人権問題の未然防止に努める。

(ｵ) 道徳の時間では、効果的な資料の活用や体験活動を通し、児童の心に響く授業を展開することにより、道徳的な心情、道徳的判断力、実践意欲と態度を養い、道徳的実践力の醸成に努める。

(ｶ) 明るく優しさのある教育環境の維持・向上に努める。

ウ　たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

(ｱ) 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動、地域の大会などへ積極的に参加する児童の育成に努める。

(ｲ) 豊かな運動体験や望ましい食習慣の形成など体力づくりの工夫に努める。

(ｳ) 計画的な保健指導の実施に努める。

(ｴ) 自ら安全な行動がとれる能力と態度の育成に努める。

エ　安全・安心な環境づくり

(ｱ) 児童の目線に立った校舎・遊具等施設の安全確保のための点検と安全指導を実施する。

(ｲ) 安全マップの見直しを図るとともに、通学路の安全点検と安全指導を実施し、児童の安全確保に努める。

(ｳ) 危機管理マニュアルに基づき、日頃から適切な対応ができるように努める。

オ　保護者や地域との連携

(ｱ) 家庭及び地域に開かれた学校を目指し、地域の人材・施設・環境を生かした特色ある学校づくりを推進する。

(ｲ) 学校支援地域本部事業及び「きずなプロジェクト」との連携を推進し、地域人材や施設の積極的な活用を図る。

カ　教職員の資質能力の向上

(ｱ) 不断の研鑽と組織的な教育実践により、学校としての「教育力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。

(ｲ) 学校教育目標の実現に向け、設定した自己目標の具現化を図る。

(ｳ) 計画的な教育実践に努める。

（５）重点研究内容

(ｱ) 研究領域

算数

(ｲ) 研究主題

基礎学力向上により、自力解決できる児童の育成

～ユニバーサルデザインの視点を活かした学習指導の創造により～

木津川市立州見台小学校

州見台小学校校歌

作詞　尾崎　昌功
作曲　森本　陽三郎

一　光さす　色あざやかな　学び舎に
笑顔と元気が　満ちあふれ
州見の丘に　はずんでる
やさしさ　ぬくもり
みんなで　広げよう
今　心の歌を　奏でよう

二　風が吹く　緑も豊かな　学び舎に
夢と希望が　満ちあふれ
州見の空に　届いてる
未来の　扉を
みんなで　開こう
今　心の歌を　響かせよう

郵便番号　　６１９－０２１６
所 在 地　　京都府木津川市州見台一丁目３２番地
電　　話　　（０７７４）７２－９２３７
ＦＡＸ　　（０７７４）７２－９２４４
Ｅｍａｉｌ　　kunimidai-es@city.kizugawa.lg.jp
HP URL　　https://www.kyoto-be.ne.jp/kunimidai-es/cms/

１．沿革

平成19年４月	木津川市立木津小学校・梅美台小学校から分離し、 独立校として開校 第１回入学式（入学生114名　全17学級　児童数510名）
平成20年３月	校歌制定 第１回卒業証書授与式（卒業生　62名）
平成20年４月	第２回入学式（入学生138名　全19学級　児童数600名） 親のための応援塾開催
平成21年３月	第２回卒業証書授与式（卒業生　62名）
平成21年４月	第３回入学式（入学生134名　全23学級　児童数659名） たんぽぽ学級３組設置
平成22年３月	第３回卒業証書授与式（卒業生　79名） 児童数増加に伴い、新校舎（２階建普通教室６室）建設
平成22年４月	第４回入学式（入学生135名　全26学級　児童数719名）
平成23年３月	第４回卒業証書授与式（卒業生　98名）
平成23年４月	第５回入学式（入学生118名　全27学級　児童数745名） 中校舎にエレベーター設置 京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校
平成24年３月	第５回卒業証書授与式（卒業生102名）
平成24年４月	第６回入学式（入学生144名　全27学級　児童数796名）
平成24年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校　中間発表会
平成25年３月	第６回卒業証書授与式（卒業生122名）
平成25年４月	第７回入学式（入学生118名　全27学級　児童数785名）
平成25年11月	京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校　研究大会
平成26年３月	第７回卒業証書授与式（卒業生137名）
平成26年４月	第８回入学式（入学生153名　全27学級　児童数808名）

２．教育

（1）経　営　方　針

本校は今年度、木津川市発足と同時期に開校し８年目となる。昨年度までの生徒指導上及び特別支援上の課題と成果を整理し、これまでの本校教育活動の在り方について、見直す作業と今後の見通しを持つことは重要である。

そこで、昨年から継続して、行事等に関する従来の考え方や方向を改めて検討し、全職員が教育活動の基本的な考え方を共通認識しながら協働していく必要がある。

具体的な行為としての指導を、何を第一に考えながら行うかは、学校の雰囲気を形成していく上で最も影響力のあることであるため、児童の実態の振り返りと捉え直し、そして、指導のポイントをきめて取りかからねばならない。

そのことが、従来の経営方針であった学校の教育力、すなわち「学校力」を強化し、「教師力」を強化し、それを通して、子どもたちの「生きる力」を豊かに育てること、このことは「京都府教育振興プラン」及び「木津川市教育振興基本計画」に示されたはぐくみたい力とも一致するところである。

また、保護者、地域の理解と協力を得ることは、地域総がかりの教育として重要であり、学校として、それら協力者との連携の方法をさらに探っていかねばならない。

なお、平成25年度の京都府小学校教育研究会情報教育研究大会での成果を引き続き研修の重要な要素として取り組みながら、発展的な取組を府内各地に発信することも今後の役割として重要である。

以上のことから、以下の点を重点項目として取り組みたい。

ア　学級経営、生徒指導の充実

学習指導を中心とした教育活動は、小学校においては学級経営がその基本単位として有効に成立していることが前提条件である。また、前向きで明るい校風を築くには学級経営の状況を基盤にした、考え抜かれた有効、効果的かつ組織的な生徒指導が必然である。

このため、これまでの経過にとらわれることなく、率直に現実を見直した学級経営、生徒指導が、引き続き本校の第一義的課題である。

イ　質の高い学力の向上

学級経営が正常に機能していれば、次に重要なのは学習活動である。一方では、学習に取り組む姿勢の質的良否は、それだけで学級経営や生徒指導に重大な影響を及ぼす。この相互の関係を念頭に置き、児童における学習活動への認識の向上に努めねばならない。

ウ　保護者との連携の質的改善

上記⑴、⑵との関連で重要であるのは、保護者との関係の質的な在り方である。

児童の視線を同じ価値へと収斂する過程で、小学校段階では保護者の姿勢は極めて重要であり、時代的にも、地域的にも本校においては近隣他校においてより重要であると考えられる。

保護者と琴線を合わして子どもと向かい合える手だては、教師自らの人格や対話能力をも問い直すものかも知れない。しかし、本校においてはこのことを等閑に付しておくことはできない。教師自らの具体的方途を探るべきである。

エ　情報教育研究の成果を活かして

昨年度１１月に実施した京都府小学校教育研究会情報教育研究大会での成果として得た、情報教育・ＩＣＴ活用の方向性、さらに、木津川市教育におけるＩＣＴ活用の先進的活用等を市内をはじめ府内各校へ先進校として発信していく責任が課せられている。

昨年度まで研究に携わった職員を中心にあらゆる教育資源をフルに活用して、今年度の授業にも有効に活用し、ＩＣＴの授業における可能性をますます広げていきたい。

上記重点に基づき、以下のとおり、目標等を設定する。

（2）教　育　目　標

地域総がかりの活動をとおした、児童の人格的陶冶を目指した教育活動の推進

（3）め ざ す 児 童 像

○かしこく・・・・・めあてをもち、すすんで学ぶ子ども

○やさしく・・・・・優しく思いやりがあり、感謝できる子ども

○すこやかに・・・・元気で、くじけず、やり抜く子ども

（4）本年度の分野別指導観点

ア 質の高い学力の育成

(ｱ) 授業ルーティーンの確立による、学ぶ姿勢の育成

(ｲ) 家庭との連携により学習習慣の定着を図る。

(ｳ) 京都式少人数指導により、児童の実態に応じた指導方法や指導体制を工夫し、授業改善を推進し個に応じた指導を積極的に進める。

(ｴ) 知的活動やコミュニケーション活動等の基盤であることばの力をはぐくむため、全教育活動を通して言語活動を充実させる。

イ 安定した学級経営の推進

(ｱ) 教師の個性や創造性を発揮した指導による、担任との信頼関係に基づいた学級経営を行う。

(ｲ) 児童の個性や創造性の伸長に努め、自らを表現する力を育成する。

ウ 道徳教育の充実

(ｱ) 指導内容指導方法の確立を図り、実践意欲の湧く道徳教育に取り組む。

(ｲ) 道徳的実践の場としての体験的な活動や奉仕活動を活発に行い、家庭や地域との連携を深めながら、基本的な生活の習慣形成に努める。

(ｳ) 人との関わりを大切にし、人間、動物、自然等に対する畏敬、感謝、思いやりの心などを培い、うるおいのある豊かな心情を育てる。

(ｴ) 「読書活動の充実」「植物の栽培」「ボランティア活動」などの実践活動を通して、感動する心、共感する心、働く喜び、成就感などを体験し、心のふるさとを持つ児童の育成に努める。

エ 特別支援教育の充実

(ｱ) 障害のある人及び特別支援教育についての正しい理解や認識を深める指導の充実を図る。

(ｲ) 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うための校内体制の整備充実、活用を図る。

(ｳ) 発達障害を含む障害のある児童に対する個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善を図る。

(ｴ) 障害のある児童に対する個別の教育支援計画を作成し活用する。

オ 特別活動の充実

(ｱ) 児童の自主的な実践活動を重視し、活動内容の充実を図る。

(ｲ) 集団の中で、正しく自己表現できるように指導の充実に努める。

(ｳ) 社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動を通して心豊かでたくましい心の育成を図ると共に、存在感、充実感のある学校生活を送らせるための指導を充実させる。

カ 人権教育の推進

(ｱ) 教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、児童の実態を的確に把握し、教育の

機会均等を図り、学力の充実・向上や進路保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図る。
(ｲ) 基本的人権や同和問題など様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎と互いの個性や価値観の違いを認め、自己を尊重し、他者を尊重する態度や実践力を培う。

キ 生徒指導の改善
(ｱ) 本校に望ましい校風を育成するため、積極的、計画的な生徒指導を推進する。
(ｲ) 全教職員の共通理解の下、効果的な取組を共通して推進する。
(ｳ) いじめの問題については、児童の発する心のサインを見逃さず、早期発見と早期対応に努める。
(ｴ) 家庭や地域社会や関係諸機関との連携を密にし、児童の学校外活動への参加を促すなど、児童を取り巻く環境の浄化等、地域ぐるみでの子どもの健全育成をめざす。

ク 健康安全教育の推進
(ｱ) 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する。
(ｲ) 身の回りの危険に気付き正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する。
(ｳ) 学校における児童の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び職員研修等に関する学校安全計画を策定し、実施する。また、「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。
(ｴ) 望ましい食習慣を身に付けた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する。

ケ 国際理解教育の推進
(ｱ) 我が国の文化と伝統を理解し尊重するとともに、異文化を理解し尊重する資質や能力を育成する。
(ｲ) 外国語活動を通じたコミュニケーション能力の素地の育成を図る。

コ 教育の情報化に努める。
(ｱ) ＩＣＴと授業過程の親和性、及び効率的・効果的な運用の方法を、学校内外へ提示できるよう研究を進める。
(ｲ) ネットワーク基盤などのＩＣＴの活用を通して児童の情報リテラシーを向上させるとともに、プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーを育成する。
(ｳ) 校務の情報化を積極的に進め、子どもと触れ合う時間の確保に努める。

木津川市立城山台小学校

郵便番号　619－0218

所 在 地

京都府木津川市大字木津小字初田２３７番地

電　話　（0774）71－3900

ＦＡＸ　（0774）71－3901

Ｅmail　shiroyama-es@city.kizugawa.lg.jp

HP　http://www.kyoto-be.ne.jp/shiroyamadai-es/cms/

１．沿　革

平２６．４．４　　開校式
平２６．４．７　　平成２６年度始業式
平２６．４．８　　平成２６年度入学式

２．教　育

学校教育目標
　豊かな感性と知力を培い、意欲的に生きる子どもの育成
目指す児童像
　明るい子(明るく素直な心・思いやりの心を育てる)
　考える子(主体的に行動（学習）する態度を育てる)
　たくましい子(心と体を鍛え、最後までやりぬく力を育てる)
重点研究テーマ
　自然・人・社会とつながり、意欲的に未来を創る児童の育成

学校経営方針

豊かな心の育成
・豊かな人間関係を通じて自己肯定感を高め、 道徳教育、教育相談、生徒指導を中心とした全教育活動を通じて　「心の教育」の充実を図り、自然・人・社会とつながり共生できる力の育成に努める。

学力の充実と向上
・授業改善を推進し、児童に基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、確かな学力の充実を図るとともに、個性を活かす教育の充実に努め、学力向上に繋げていく。

体力の向上と忍耐力の育成
・心身ともに健康で安全に生き抜く、たくましい実践力を身に付け、失敗を恐れず積極的に、最後まで物事に取り組むことができる力の育成に努める。

教師力の育成・向上と組織的な協同体制の確立
・教職員一人一人の能力や特性を活かし、組織体の一員として学校経営に参画し協同体制で指導力の向上を図る。

木津川市立加茂小学校

加茂小学校校歌

桜井　武雄　作詞作曲

一
加茂の子どもは明るい子
なかよくすなおなよい子ども
鹿背山木津川友として
学びにはげむ小学生
ぼくたち加茂の小学生

二
加茂の子どもは元気な子
教えの庭のあたたかく
山ふところにいだかれて
ゆたかにのびる小学生
わたしら加茂の小学生

三
加茂の子どもは日本の子
日本の子どもは世界の子
みんなでつくるよい国の
平和な町の小学生
ぼくたち加茂の小学生

郵便番号　　６１９－１１５２
所在地　　京都府木津川市加茂町里西上田１１番地１
電　話　　（０７７４）７６－２１０２
ＦＡＸ　　（０７７４）７６－８００２
E-mail　　kamo@educet01.plala.or.jp

１．沿革

明治　８年　２月	加茂町大字里に里村小学校として創立
２０年　７月	加茂尋常小学校と改称
２１年　８月	相楽郡第四高等小学校併設
３２年　５月	加茂町尋常高等小学校と改称
３６年１０月	加茂町大字里小字東上田一番地に校舎新築
昭和１６年　４月	国民学校令により加茂国民学校と改称
２２年　４月	法律並びに文部省令により加茂町立加茂小学校と改称
２９年１０月	中校舎、木造二階建８教室改築竣工
３１年　９月	南校舎、木造二階建８教室改築竣工
３４年　２月	校旗、児童会旗新調、新校歌制定
３４年　８月	給食調理室竣工、９月より完全給食実施
３５年１１月	京都府より昭和３５年度健康優良特選校受賞
３７年１２月	京都府より昭和３７年度健康優良校受賞
３８年　３月	京都府より昭和３７年度安全優良校受賞
８月	毎日放送より学校教育テレビ協力感謝状受賞
９月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
１０月	育友会活動優良に付き京都府ＰＴＡ協議会長、全国ＰＴＡ協議会長、文部大臣表彰受賞
１２月	昭和３８年度健康優良校として京都府及び朝日新聞社より受賞
４０年　４月	障害児学級併設
１１月	学校図書館優良学校として文部大臣表彰受賞
４１年　３月	学校基本調査優良学校として文部大臣表彰受賞
４２年１０月	小学校教育課程、国語科京都府実践学校の指定をうけ研究発表
１１月	学校図書館優良学校受賞
１１月	全日本歯の優良校受賞
４４年１０月	学校給食京都府実践学校の指定をうけ研究発表
４５年１０月	学校給食京都府実践学校として４４年度に引き続いて指定をうけ研究発表 同和補習学級開設
４７年　３月	本館、並びに体育館改築竣工
４９年　３月	創立百周年記念行事を行う
５４年　２月	京都小学校お話コンクール、最優秀学校賞受賞
５６年１２月	京都小学校社会科研究大会を行う
５８年　６月	現在地に新校舎新築移転、プール竣工（７月）運動場整備（８月）
６０年　９月	よい歯の学校特別表彰
６２年　３月	学校農園設置
６３年１１月	優良子ども銀行で大蔵大臣・日銀総裁表彰を受ける

平成　元年	１月	府小教研・府教育実践校、特別活動研究発表会開催
	７月	中庭整備
３年	１月	視聴覚室整備
		京都府小学校視聴覚教育研究大会開催
	５月	京都府交通安全優良学校として受賞
	８月	観察池設置
４年	５月	校長室エアコン設置
６年	３月	研究紀要「かもの教育」第１号発刊
		職員室・保健室エアコン設置
	１１月	創立１２０周年記念行事を行う
７年	３月	研究紀要「かもの教育」第２号発刊
	１１月	学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
８年	１月	学校給食優良校として京都府教育長表彰受賞
		学校給食優良校文部大臣・京都府教育長表彰受賞記念式典を行う
	３月	研究紀要「かもの教育」第３号発刊
	４月	平成８、９年度統計教育研究指定
９年	３月	研究紀要「かもの教育」第４号発刊
	４月	平成９、１０年度小学校教育課程研究指定校（文部省）
１０年	３月	研究紀要「かもの教育」第５号発刊
	１０月	平成９、１０年度小学校教育課程研究発表会開催
１１年	３月	研究紀要「かもの教育」第６号発刊
	４月	社会福祉協力校指定
１２月	３月	研究紀要「かもの教育」第７号発刊
	４月	平成１２、１３、１４年度食生活に関する教育実践事業指定校（文部省）
	９月	耐震補強工事、コンピュータ教室完成
１３年	３月	研究紀要「かもの教育」第８号発刊
	１１月	平成１２、１３年度食生活に関する教育実践事業研究発表会開催
１５年	３月	研究紀要「かもの教育」第９号発刊
	４月	障害児学級（情緒）併設
１７年	４月	文部科学省より３年間の学力向上拠点形成事業の指定を受ける
１９年	３月	木津川市誕生に伴い、木津川市立加茂小学校と改称
１９年	４月	木津川市教育委員会より「教育実践研究校」の指定を受ける
１９年	１１月	文部科学省指定「学力向上拠点形成事業」・木津川市教育委員会指定「教育実践研究校」の研究発表会開催
２２年	３月	新校舎増築
２３年	４月	センター給食開始（木津川市立加茂学校給食センター）
２４年	１１月	優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰受賞

2　教育

（1）教育目標

国際化、高度情報化、少子高齢化など変化の激しい社会の中で、生命の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、「生きる力」を持った創造性あふれる心豊かな人間の育成を目指す。

ア　展望する力・つながる力・挑戦する力の調和を図り、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな児童を育成する。

イ　個性の伸長を図り、基礎学力を充実し、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く児童を育成する。

（2）目指す児童像

◎　質の高い学力と豊かな心を持つ子

質の高い学力　＝　変化に対応して将来を見通し、問題を解決する実践的能力
積極的な行動力

豊かな心　＝　違いを認め、尊重し、ともに生きる人間としての資質
他人を思いやる心

◎　生命や人権を大切にする子

【児童のめあて】

・　進んで勉強する子
・　友達と仲良くする子
・　最後までがんばる子
・　命を大切にする子

（3）目指す教師像

豊かな人間性、広い社会性を身に付けた教師

不断の研鑽により、高い専門性を身に付けた教師

学校教育に寄せられる期待に応えるよう意欲を持って実践できる教師

（4）学校経営方針

京都府教育振興プラン、学校教育の重点、木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、社会に主体的に対応できる心豊かな人間の育成を目指す。

ア　基礎学力を充実し、生涯にわたり主体的に学んでいける児童の育成

イ　学習意欲に溢れ、何事も一生懸命努力する人間性豊かな児童の育成

ウ　地域に開かれ、地域とともに成長する開かれた学校の創造

エ　豊かな人間性と広い社会性、深い専門性を持った教師集団の育成

（５）具体的方針

ア　研究・研修の充実

・国語科教育研究の推進（言語活動の充実・授業方法・評価方法等）

・習熟の程度に応じた授業実践

・特別活動、生徒指導の在り方

イ「質の高い学力」を目指し、基礎・基本の徹底

教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の特質を明確にし、授業改善を積極的に進め、基礎的・基本的な内容の徹底を図り、学力の向上を目指す。

・学力充実向上・学習意欲につながる授業改善

・学力診断テスト等の分析とその手立てに基づく指導の徹底（校内補充等）

・家庭学習の充実

・学習指導要領の円滑な推進と授業時数の確保

ウ　場に応じた適切な態度の育成

児童自身が判断し、その場にふさわしい適切な言動ができる能力の育成を図る。

・挨拶、授業と遊びの区別、集会時の待つ姿勢・聴く姿勢

エ　学習規律の確保・安定した学級経営の実践

互いが学び合い、自由に伸び伸びと発言できる学級

・達成感・充実感を味わえ、学習活動等をやり切ることができる学級

オ　発表能力、表現力の育成

個々の考えを十分引き出し、発表、表現能力（コミュニケーション能力）の向上を図る。

・豊かな表現力と最後まで言い切る力の育成

・豊かな表現力・論理的思考力の育成の具体的な手立て

カ　人権教育の指導充実

日常の学校生活を通じて、人権意識を高める指導を図り、実践化させる。

・全教育活動を通して指導の充実を図っていく。

キ　特別支援教育の指導充実

児童個々の課題に応じた支援と指導体制の充実を図る。

・支援の必要な児童への方策の明確化と改善

・支援体制の整備と校内委員会の充実

・　楽しく、互いに学び合う厳しさを持った学校 ・　豊かな人間性、質の高い学力を身に付けた児童の育成 ・　豊かな表現力と、問題解決能力を持った児童の育成

木津川市立恭仁小学校

恭仁小学校校歌

作詞　辰巳　利治
作曲　中原　郁男

一、みどりの山を　めぐらして
風さわやかな　ふるさとは
恭仁の京の　宮どころ
昔しのんで　学ぶ子の
楽しい恭仁の　小学校
希望が窓に　あふれてる

二、泉の流れ　清らかに
ふたぎの野辺を　ゆくほとり
心ゆたかに　ほがらかに
いつも元気に　はげむ子の
明るい恭仁の　小学校
大きな夢を　そだててる

三、さやかに晴れた　山川の
歴史はかおる　みかの原
ここに巣立って　たくましく
あすをになって　進む子の
仲よし恭仁の　小学校
かがやく未来　待っている

郵便番号	６１９－１１０６
所在地	京都府木津川市加茂町例幣中切 31・32 番地
電　話	（０７７４）７６－２１０３
ＦＡＸ	（０７７４）７６－８２３０
E-mail	kuni-es@educet01.plala.or.jp

1．沿革

明治 ６ 年 ５ 月 １ 日	創立　相楽瓶原小学校と称す　教科課程を上等下等の二等とする
〃 ６ 年 ８ 月	恭仁小学校と改称
〃 １４年	教科課程を初等中等高等の三等に改める
〃 ２０年 ７ 月	恭仁尋常小学校と改称、高等科は加茂当尾両村と合併、加茂尋常小学校の一部をこれにあて、相楽郡第四高等小学校と称する
〃 ２２年１１月	相楽郡第四高等小学校の分教室を併置
〃 ２４年 ４ 月	尋常小学校の分教室を併置
〃 ２４年 ８ 月	尋常小学校の終業年限を４年と定める
〃 ２５年１０月	恭仁高等小学校を併置す　１１月同校の終業年限を４年に定める
〃 ３２年 ３ 月 ８ 日	全校舎落成移転（小字　中切）
〃 ３２年 ６ 月	恭仁尋常高等小学校と改称
〃 ３７年 ３ 月	校章制定
〃 ３９年 ８ 月１５日	校章改訂並びに校旗新調
大正１２年 ５ 月 １ 日	創立５０周年記念式を挙行　以後３月１日の改築記念日を廃し、５月１日を創立記念日に制定する
昭和１１年 ３ 月２０日	校地拡張　現在地に全校舎を改築
〃 ２２年 ４ 月 １ 日	法律並びに文部省例により瓶原村立恭仁小学校と改称
〃 ２２年 ４ 月	恭仁育友会設立
〃 ２６年 ４ 月	町村合併により加茂町立恭仁小学校と改称
〃 ２８年 ８ 月	講堂拡張
〃 ２９年 ６ 月	学校放送施設完成
〃 ３０年 ４ 月	２教室増築
〃 ３１年１０月	新校歌制定
〃 ３４年１０月	給食室・手洗場新設、学校給食を開始
〃 ４３年 ９ 月	水泳プール竣工
〃 ４６年１２月１０日	府より特別教育活動研究の指定をうけ研究発表
〃 ４７年 １ 月２２日	府教委・府学校保健委員会より安全教育協力校として表彰を受ける
〃 ４７年 １ 月２４日	相楽地方学校保健委員会より安全教育の表彰を受ける
〃 ４７年 ４ 月２３日	京都府交通安全優良校として表彰を受ける
〃 ４８年 １ 月 ６ 日	府教委・府学校安全会より安全教育優良校として表彰を受ける
〃 ４９年 ５ 月 ５ 日	創立百周年記念式典を挙行
〃 ５２年 ８ 月 ９ 日	交通安全子ども自転車全国大会参加（京都府代表）
〃 ５３年 ３ 月１０日	家庭科教室兼視聴覚教室改造
〃 ５３年 ９ 月１６日	総合遊具新設
〃 ５５年 ５ 月１５日	相楽郡交通安全協会より表彰をうける（児童会）
〃 ５７年 ４ 月１５日	財団法人京都府交通安全協会より表彰を受ける（児童会）
〃 ６２年 １ 月	府教委、日本体育学校健康センターより学校安全協力校として表彰を受ける
平成 元 年 ５ 月 １ 日	京都府より、依頼を受け、「恭仁・緑の少年団」を発足する
〃 元 年 ５ 月 １ 日	算数科の研究に取り組む（加茂町指定）（２年間）
〃 ３ 年 ４ 月 １ 日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）の指定を受ける（２年間）
〃 ３ 年 ５ 月２６日	恭仁緑の少年団、全国植樹祭に参加
〃 ３ 年 ５ 月２６日	京都府より「学校緑化推進校」の表彰を受ける
〃 ３ 年 ８ 月３１日	校舎南側窓枠アルミ製窓に取替
〃 ４ 年 ８ 月２５日	社会科資料室新設
〃 ４ 年 ８ 月３０日	運動場東側校門改修
〃 ４ 年 ８ 月３１日	校舎北側窓枠アルミ製窓に取替改修

〃　４年９月３０日	社会科資料「加茂町みかの原」発行
〃　４年１１月２７日	京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）研究発表
〃　５年８月３１日	講堂窓枠アルミ製窓に取替改修、用務員室倉庫屋根葺替
〃　５年１１月６日	創立１２０周年記念式典を挙行
〃　８年４月１日	京都府社会福祉協議会福祉協力校の指定を受ける（３年間）
〃　１０年４月１日	いづみ学級を開設
〃　１０年８月	コンピュータを各教室に導入（１６台）
〃　１１年８月	家庭科室改修
〃　１２年４月	西校舎２教室を３教室に改造して留守家庭児童会室を設け開始される
〃　１３年４月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間）の指定を受ける（２年間）
〃　１３年８月	校舎２階屋根葺替
〃　１４年８月	ノートパソコンを２階和室に導入（１５台)、２階特別教室に転落防止用手すりを設置
〃　１４年１２月	京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間の研究発表）
〃　１５年１１月	創立１３０年周年記念行事を行う（２８０名集まる）
〃　１９年２月	東トイレの新築水洗化及び校地周囲のフェンスの新設
〃　１９年３月	木津川市誕生に伴い木津川市立恭仁小学校と改称
〃　２２年３月	いづみ学級が閉級される
〃　２３年４月	給食が自校炊飯方式からセンター方式に変更となる
〃　２５年１１月	創立１４０周年記念行事を行う
〃　２６年４月	いづみ学級が開級される

２．教育

１　学校教育目標

児童一人一人のよさを伸ばすとともに、質の高い学力を身に付け、思いやりをもって行動できる、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指す。

めざす児童像

かしこく・・・・・・・・・(知) やさしく・・・・・・・・・(徳) たのもしく・・・・・・・・(心・体)

２　学校経営方針

新学習指導要領並びに京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画を踏まえ、教育目標と学校経営方針を明確にした教育課程を編成する。学習活動をはじめとする教育活動の充実を図り、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して、生きる力をはぐくみ、保護者や地域の信頼に応える教育活動を推進する。

児童一人一人の個性を伸長するとともに、本校の課題と考える学力の充実・向上、及び言語・コミュニケーション能力の向上に努め、他者を尊重し互いに高め合う児童像として『かしこく、やさしく、たのもしく』の具現化を目指す。

〈本年度からのスローガン〉平成25年～27年

本校リニューアル(耐震工事) を前に、施設・設備・教育活動を見直し、恭仁小学校をより魅力的な学校にする。

３　本年度重点課題

京都府教育振興プランで、「はぐくみたい力」として表された、展望する力、つながる力、挑戦する力の調和を大切にした教育を推進する。

○ 児童の実態の認識 (ア) 素直で素朴であり、可塑性が高い。 (イ) 家庭学習の習慣が定着しておらず、学習の習得状況における個人差が大きい。 (ウ) これまで、安定した地域・家庭に育ってきた児童がほとんどであったが、次第に母子・父子家庭の割合がも増加してきている。 (エ) 限られた集団の中で育っていることから、新しい発見や練り合う場が少なく、自ら考え行動する「自立する力」や「自己表現力」に弱さがみられる。

(1) 全教育活動をとおして新学習指導要領の趣旨を踏まえ、学力の向上・充　　実を重視するとともに、言語・コミュニケーション能力を高める。

ア　課題解決のための具体的な方策

(ア) 基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力の育成

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得の徹底

＜基礎学力充実のための基盤づくり＞

＊朝学習、朝読書、学習規律、学習習慣、学習環境

＊学習意欲の向上、家庭学習の充実

＜教師の授業力向上・・・研究や研修＞

＊個に応じた指導、習得し活用する授業づくり、子どもの意欲を引き出す魅力ある授業づくり、国語や算数科を中心に、思考力・判断力・表現力(コミュニケー　ション能力)を重視した学習展開を図る

＊特別支援教育の充実とその研究を生かした授業づくり

(イ) 安心して生活できる学級づくり

・子どもたちにとって伸び伸びと過ごせる楽しい場としての学級経営に努める。

・子ども理解を深め、丁寧で適切な指導のもと、子どもと教職員が信頼関係で結ばれ、一人一人が自己存在感を持ち、お互いに学び合い育ち合う学級経営を進める。

(2) 保護者・地域に信頼される開かれた学校づくり― 安心・安全の学校―

ア　全教職員が課題や成果を共有し、ひとつのチームとなって経営に参画する。

イ　人間関係力（かかわり合う力）の育成を目指し、自ら考え表現し伝え合う力としてのコミュニケーション力を育成する。

ウ 教育相談活動を充実させ、その機能をより活かすように創意工夫する。

エ 保護者の願いや地域の期待を把握する。（学校評価、学校評議員）

オ 教育活動を積極的に公開・情報提供しとともに、地域の歴史や伝統を学び教育活動に生かして、理解と支援を得る。

カ 保護者や地域人材等、積極的に外部人材の活用を図る。

キ PTAとの協働を推進する。

(3) 豊かな心の育成

ア　人を思いやり、尊重する心の育成する。

イ　コミュニケーション力を高め、人や社会とつながり共生していく力を身に付ける。

ウ　社会体験活動などを通して、規範意識を高める。

指導目標

1　質の高い学力をはぐくむ

（1）学習指導

ア　言語活動の充実を図る取組を各教科・領域の年間計画に位置づけ、「ことばの力」をはぐくむ実践を高める。

イ　児童の思考力・判断力・表現力の向上に焦点を当てた授業の工夫改善を実践し、より効果的な方法を探る。

ウ　基本的スキルの定着を徹底するとともに、児童個々の発達や学び方に着目し、指導の展開を図る。

エ　家庭学習の習慣を定着させるため、家庭と連携しながら繰り返し指導を行い「家庭学習の手引き」を活用しながら、家庭学習の定着を図る。

2　規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

(1) 道徳教育

ア　授業を計画的に行い、「京の子ども、明日へのとびら」など効果的な資料の活用を図り、豊かな体験活動を通して、道徳的実践力や道徳的実践の意欲の向上を図る。

(2) 規範意識の醸成

ア　よき市民として成長するために、社会のルールやマナーを尊重し規範意識を身につける。

(3) 芸術文化活動

ア　身近な自然や芸術文化への積極的なかかわりと豊かな表現活動を重視する。

イ　恭仁宮跡をはじめとする地域の伝統文化を学ぶ機会の充実を図る。

3　たくましく健やかな身体をはぐくむ

(1) 体育・スポーツ活動

豊かで楽しい運動経験を通した体力づくりの工夫による学校体育の充実

(2) 健康安全教育

基本的な生活習慣を確立させ、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生き抜く、たくましい実践力を身に付けた児童を育成する。また、食育をとおして望ましい食習慣を身に付けた児童の育成に努める。

4　一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす

(1) 特色ある学校づくり

ア　児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとっては開かれた学校を目指し、「はぐくみたい力」の育成に努める。

イ　創意工夫された積極的な教育活動の積極的な情報発信により、保護者・地域の理解と信頼を得る学校づくりを推進する。

ウ　地域の環境や歴史と伝統を学び、教育活動に生かし恭仁小ならではの教育を充実させる。

(2) 進路指導

ア　児童一人一人の目的意識を高め自らの進路を主体的に切り拓く態度を育成する。

イ　自己の特性に気付かせ将来への希望をもたせる指導を充実させる。

ウ　地域等での学習体験を通してキャリア教育の実践を図る。

(3) 特別支援教育

ア　ノーマライゼーションの進展を踏まえ、障害のある児童の個性や能力の伸長に努めるとともに、障害のある人を正しく理解するための指導を計画的に行う。

イ　校内委員会を有効に機能させ、特別支援教育コーディネーターを中心に障害のある児童の理解と把握に努め、個に応じた指導の推進と指導方法の工夫改善を図る。

ウ　特別支援教育の観点からの授業実践を研究し、日々の授業改善に生かしていく。

(4) 人権教育

ア　日常の生活の中に見られる児童の姿から実態を把握し、課題解決を図る積極的な人権教育を進める。

イ　「新京都府人権教育・啓発推進計画」と「指導の重点」を踏まえた人権教育を推進する。

5　社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

(1) 国際理解教育

ア　異文化を理解し尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力を育成する。

イ　外国の人と実際にふれあう機会を工夫し、自国と異文化の理解に努め、外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ウ　英語活動は中学校との接続を意識した教育活動を計画・実施する。

エ　日本や地域の伝統文化・歴史を学び異文化理解の認識を深める。

(2) 環境教育

ア　身近な環境や環境問題に関心をもち、人間と環境のかかわりについて理解を深める。

イ　全体計画に基づいた指導の充実を図る。

(3) 情報教育

ア　情報教育の３観点相互の関係を考え、児童の発達段階に応じたバランスのよい指導を実施する。

イ　安全性を重視した教育の情報化に努める。

6　学校の教育力の向上を図る

(1)　生徒指導

ア　生徒指導の３機能を生かし、積極的な生徒指導を進める。また、いじめや不登校を起こさない指導の充実に努める。

7　安心・安全で充実した教育環境を整備する

(1) 学校危機管理と安全対策の充実と危機管理マニュアルの不断の見直しを図る。

(2) 耐震工事中の教育活動については、施設整備の整理を図り、教室移動等をスムーズに行い、よりよい教育環境づくりを計画・実施する。

8　すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

(1) 「家庭教育の手引き」を活用し、家庭教育へ啓蒙とサポート体制を充実する。

9　地域社会の力を活かして、子どもをはぐくむ環境をつくる

(1) 子どもの体験活動を重視した授業や取組

(2) 保護者や地域人材の積極的活用

(3) 地域の環境や歴史・伝統を生かした授業を実践する。

(4) 小中連携を積極的に進め加茂町全体で統一した教育活動を進めていく。

１０　教職員の資質向上

校長をはじめ教職員は不断の研鑽と組織的な教育実践により、自覚と使命感をもって職責を遂行するとともに自己の資質能力の向上に努める。また、このことを通して教育活動の活性化を図る。

(1) 教職員の使命と責任

ア　自己の人間性を豊かにし、児童・保護者の信頼関係を確立する。

イ　自らの意識改革に努め連携を図り、組織としての学校の教育力を高める。

ウ　自己の資質能力の向上に努め、常に計画的・継続的な教育実践に取り組む。

(2) 教職員研修

不断の研鑽によって自己の人格を陶冶し、学校教育に寄せられた期待に応えるように努める。また、積極的に研修の機会に参加するとともに、研修成果の活用を図る。

木津川市立南加茂台小学校

南加茂台小学校校歌

作詞　久保田　ツギヱ
作曲　吉　中　俊　道

一
いずみの流れ清らかに
稔り豊かな加茂の里
希望の窓につどう友
強くやさしくたくましく
手を取り学ぶ丘の上
ああ　南加茂台小学校

二
歴史も古きゆかりの地
風さわやかな大空に
両手をのばしすこやかに
きたえしわざと心持ち
未来に向けてはばたこう
ああ　南加茂台小学校

郵便番号　619－1127
所 在 地　京都府木津川市南加茂台１２丁目１１番地
電　　話　（０７７４）７６－３４００
ＦＡＸ　（０７７４）７６－８２３２
Ｅｍａｉｌ　nagamodai@educet01.plala.or.jp

１．沿革

昭和５７年　４月　１日	京都府相楽郡加茂町立南加茂台小学校として開校	
５７年　４月　６日	第１学期始業式	（児童数　１５８名）
５７年　４月　７日	第１回入学式　新入児４６名	
５７年　６月　７日	図書館開館（蔵書３，５００冊）	
５７年　８月　１日	校旗制定	
５８年　１月１４日	校歌制定	
５８年　３月１９日	第１回卒業式	
５８年　４月　７日	第２回入学式　新入児１０５名	（児童数　６１１名）
５９年　４月　６日	障害児学級開設	
５９年　４月１９日	育友会発足	
６１年　４月　８日	第５回入学式　新入児２１０名	（児童数１０６８名）
６１年　８月３１日	普通教室６教室増築　運動場拡張	
６２年　８月３１日	普通教室６教室(ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ)増築（一時使用）	
６３年　４月　７日	第７回入学式　新入児２１２名	（児童数１３１４名）
平成　元年　３月３０日	高学年用図書室増設（一時使用）	
元年　４月　７日	第８回入学式　新入児２１２名	（児童数１４１３名）
元年　８月　１日	低学年用プール増設	
２年　４月　７日	第９回入学式　新入児２０９名	（児童数１３６９名）
３年　４月　８日	第 10 回入学式　新入児２０３名	（児童数１３３８名）
３年　５月２０日	増築教室に冷房設備設置	
４年　２月２２日	創立 10 周年記念式典実施（記念下敷配付、記念誌発行）	
４年　４月　７日	第 11 回入学式　新入児１５５名	（児童数１２３１名）
５年　４月　７日	第 12 回入学式　新入児１２７名	（児童数１１４０名）
６年　３月３１日	中庭プレハブ教室解体	
６年　４月　７日	第 13 回入学式　新入児１１３名	（児童数１０３１名）
７年　４月　７日	第 14 回入学式　新入児９２名	（児童数　８９７名）
８年　４月　１日	ティーム・ティーチング教員配置	
８年　４月　８日	第 15 回入学式　新入児８５名	（児童数　７６６名）
８年１１月１４日	創立１５周年記念航空写真撮影	
９年　４月　８日	第 16 回入学式　新入児６２名	（児童数　６２１名）
１０年　３月　５日	児童会空き缶回収で加茂きはだ園へ車椅子寄贈	
１０年　４月　７日	第 17 回入学式　新入児７６名	（児童数　５３７名）
１１年　４月　１日	情緒障害児学級開設	
１１年　４月　７日	第 18 回入学式　新入児５１名	（児童数　４５９名）
１１年　５月２０日	情報教育室（コンピュータ室）設置	
１１年　７月	学童保育室移転設置	
１２年　４月　７日	第 19 回入学式　新入児５４名	（児童数　４０９名）
１２年　４月	京都府社会福祉協議会　福祉協力の指定を受ける（平成１２～１４年度）	
１３年　３月１４日	学校だより「さかみち」地域広報版を配付	
１３年　４月　７日	第 20 回入学式　新入児３７名	（児童数　３５８名）
１３年１１月１７日	創立２０周年記念事業（記念下敷配付、記念誌発行）	
１４年　４月　９日	第 21 回入学式　新入児４６名	（児童数　３２１名）
１５年　４月　８日	第 22 回入学式　新入児３５名	（児童数　２９２名）
１６年　４月　７日	第 23 回入学式　新入児４４名	（児童数　２６５名）
１７年　４月　７日	第 24 回入学式　新入児４７名	（児童数　２６２名）
１８年　４月　７日	第 25 回入学式　新入児３５名	（児童数　２５２名）
１８年　３月１２日	木津川市誕生に伴い、木津川市立南加茂台小学校と改称	
１９年　４月　１日	特別支援学級（情緒）再開設	
１９年　４月　７日	第 26 回入学式　新入児４３名	（児童数　２６０名）
１９年　４月	京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究協力校の委嘱を受ける（平成１９～２１年度）	
２０年　４月　７日	第 27 回入学式　新入児４３名	（児童数　２６０名）
２１年　４月　７日	第 28 回入学式　新入児２３名	（児童数　２３６名）
２１年　６月２６日	京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究大会	
２２年　４月　７日	第 29 回入学式　新入児４５名	（児童数　２３８名）
２３年　４月　７日	第 30 回入学式　新入児３７名	（児童数　２２８名）
２３年１１月　６日	開校３０周年学校公開、総合遊具寄贈設置、記念下敷き配付	
２４年　４月　１日	当尾小学校との統合　通学車両運行	
２４年　４月　９日	第 31 回入学式　新入児３５名	（児童数　２３６名）
２５年　４月　９日	第 32 回入学式　新入児３５名	（児童数　２２８名）
２６年　４月　８日	第 33 回入学式　新入児３１名	（児童数　２１４名）

２．教育

１　学校教育目標

創意を生かし、知恵をつなぎ、新しい価値を作り出す、魅力ある学校、特色ある学校づくりに努めるとともに、自ら学び、生き生きと輝く子どもを育てる。

『強く　やさしく　たくましく、自ら学び生き生きと輝く子どもの育成』

～「ひとつながり」をキーワードに～

めざす児童像

・助け合い　学びあう子（自尊感情の涵養）
・元気で明るく　たくましい子（個性の尊重）
・自ら学び　やりぬく子（自主・自立の促進）

２　学校経営方針

《基本的な考え方》

学習指導要領並びに京都府教育振興プラン及び、木津川市教育振興基本計画や指導の重点を踏まえ、教育目標と学校経営方針を明確にした教育課程を編成する。学習活動をはじめとする教育活動の充実を図り知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して、生きる力をはぐくみ、保護者や地域の信頼に応える教育活動を推進する。

児童一人一人の個性を伸長するとともに、本校の課題と考える学力の充実・向上、及び言語・コミュニケーション能力の向上に努め、他者を尊重し互いに高め合う児童像として『助けあい学び合う子、元気で明るく　たくましい子、自ら学び　やりぬく子』を目指す。

《経営目標》

・ことばの力を基盤とした確かな学力を身に付けさせるとともに、豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力をはぐくみ、〝生きる力〟を育成する。
・児童と教職員の信頼関係のもとで、児童理解を大切にして、一人一人が自己存在感を持ち共に学び高め合う学校づくりを進める。
・保護者の教育に対する期待や願いを的確に把握し、創意と熱意ある積極的な教育活動を展開して、保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりを進めることにより、学校力を高める。

３　本年度重点課題

京都府教育振興プランで、これまで「生きる力」として表現されていた概念を３つの具体的「はぐくみたい力」として表した、展望する力、つながる力、挑戦する力の調和を大切にした教育を推進していく。

(1) 全教育活動を通して、より質の高い学力の向上・充実を図り、併せて児童一人一人の個性や能力の伸長を図る。

ア　児童の実態の認識

(ｱ) 子どもたちは、比較的穏やかな環境の中で育ち、明るく素直である。また、基礎的な学力や規範意識もおおむね身に付けて育っている。

(ｲ) 保護者の教育への関心は比較的高いが、児童の中には自己中心的な言動も目立ち、自他の存在を大切にできない言動がしばしば見られ、人間関係力に弱さがある。

(ｳ) 近年学力や生活上特別な支援や配慮を必要とする児童が増えてきている。また、保護者の価値観の多様化や、保護者の生活実態が起因となる課題を有する家庭が増えつつある。

イ　課題解決のための具体的な方策

(ｱ) 基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力の育成

a　学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得の徹底

・基礎学力充実のための基盤づくり
＊朝学習、朝読書、学習規律、学習習慣、学習環境の整備
・教師の授業力向上・・・研究や研修
＊個に応じた指導、習得し活用する授業づくり、子どもの意欲を引き出す魅力ある授業づくり、全ての教科で思考力・判断力・表現力(コミュニケーション能力)を重視した学習展開を図る

(ｲ) 安心して生活できる学級づくり
・子どもたちにとって伸び伸びと過ごせる楽しい場としての学級経営に努める。
・子ども理解を深め、丁寧で適切な指導のもと、子どもと教職員が信頼関係で結ばれ一人一人が自己存在感を持ち、お互いに支え合い育ち合う学級経営を進める。
・教師の信頼関係を重視した指導に努める。

(2) 豊かな人間性の育成や健康や体力の向上
ア　人を思いやり、尊重する心を育成する。
イ　コミュニケーション力を高め、人や社会とつながり共生していく力を身に付ける。
ウ　社会体験活動などを通して、規範意識を高める。

(3) 地域や保護者から信頼される開かれた学校づくりを進め学校力を高める
ア 保護者の願いや地域の期待を把握する。（学校評価、学校評議員）
イ 人間関係力（かかわり合う力）の育成を目指し、自ら考え表現し伝え合う力としてのコミュニケーション力を育成する。
ウ 全教職員が課題や成果を共有し、ひとつのチームとなって経営に参画する。
エ 保護者や地域人材等、積極的に外部人材の活用を図る。
オ 教育活動を積極的に公開・情報提供し教育活動に対する理解と支援を得る。
カ 教育相談活動を充実させ、その機能をより活かすように創意工夫する。
キ PTAとの協働を推進する。

4　指導の重点

1　質の高い学力をはぐくむ

（1）学習指導
ア　基本的スキルの定着を徹底するとともに、児童個々の学び方に着目した指導の展開を図る。
イ　児童の思考力・判断力・表現力の向上に焦点を当てた授業中の「仕掛け」を計画し、試しながらより効果的な方法を探る。
ウ　家庭学習の習慣を定着させるため、家庭と連携しながら繰り返し指導を行う。

2　規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

(1) 道徳教育
ア　授業を計画的に行い、「京の子ども、明日へのとびら」など効果的な資料の活用を図り、豊かな体験活動を通して、道徳的実践力や道徳的実践の意欲の向上を図る。
(2) 芸術文化活動
ア　身近な自然や芸術文化への積極的なかかわりと豊かな表現活動を重視する。
イ　歴史豊かな地域の伝統文化を学ぶ機会の充実を図る。

3　たくましく健やかな身体をはぐくむ

(1) 体育・スポーツ活動
豊かで楽しい運動経験を通した体力づくりの工夫による学校体育の充実
(2) 健康安全教育
基本的な生活習慣を確立させ、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生き抜く、たくましい実践力を身に付けた児童を育成する。また、食育をとおして望ましい食習慣を身に付けた児童の育成に努める。

4　一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす

(1) 特色ある学校づくり
ア　児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとっては開かれた学校を目指し、「はぐくみたい力」の育成に努める。
イ　創意工夫された積極的な教育活動の積極的な情報発信により、保護者・地域の理解と信頼を得る

学校づくりを推進する。

(2) 進路指導

ア　児童一人一人の目的意識を高め自らの進路を主体的に切り拓く態度を育成する。

イ　自己の特性に気付かせ将来への希望をもたせる指導を充実させる。

(3) 特別支援教育

ア　ノーマライゼーションの進展を踏まえ、障害のある児童の個性や能力の伸長に努めるとともに、障害のある人を正しく理解するための指導を計画的に行う。

イ　校内委員会を有効に機能させ、特別支援教育コーディネーターを中心に障害のある児童の理解と把握に努め、個に応じた指導の推進と指導方法の工夫改善を図る。

(4) 人権教育

ア　日常の生活の中に見られる児童の姿から実態を把握し、課題解決を図る積極的な人権教育を進める。

イ「新京都府人権教育・啓発推進計画」と「学校教育の重点」を踏まえた人権教育を推進する。

5　社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

(1) 国際理解教育

ア　異文化を理解し尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力を育成する。

イ　外国の人と実際にふれあう機会を工夫し、自国と異文化の理解に努め、外国の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ウ　高学年に英語活動を位置付け、本格実施の状況を踏まえた活動を計画・実施する。

(2) 環境教育

ア　身近な環境や環境問題に関心をもち、人間と環境のかかわりについて理解を深める。

イ　全体計画に基づいた指導の充実を図る。

(3) 情報教育

ア　情報教育の３観点相互の関係を考え、児童の発達段階に応じたバランスのよい指導を実施する。

イ　安全性を重視した教育の情報化に努める。

6　学校の教育力の向上を図る

(1)　生徒指導

ア　生徒指導の３機能を生かし、積極的な生徒指導を進める。また、いじめや不登校を起こさない指導の充実に努める。

7　安心・安全で充実した教育環境を整備する

(1) 学校危機管理と安全対策の充実

(2) 学校の施設整備による、質の高い教育環境づくり

8　すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

(1) 家庭教育へのサポート体制の充実

9　地域社会の力を活かして、子どもをはぐくむ環境をつくる

(1) 子どもの体験活動を重視した授業や取組

(2) 保護者や地域人材の積極的活用

１０　教職員の資質向上

校長をはじめ教職員は不断の研鑽と組織的な教育実践により、自覚と使命感をもって職責を遂行するとともに自己の資質能力の向上に努める。また、このことを通して教育活動の活性化を図る。

(1) 教職員の使命と責任

ア　自己の人間性を豊かにし、児童・保護者の信頼関係を確立する。

イ　自らの意識改革に努め連携を図り、組織としての学校の教育力を高める。

ウ　自己の資質能力の向上に努め、常に計画的・継続的な教育実践に取り組む。

(2) 教職員研修

不断の研鑽によって自己の人格を陶冶し、学校教育に寄せられた期待に応えるように努める。また、積極的に研修の機会に参加するとともに、研修成果の活用を図る。

木津川市立上狛小学校

上狛小学校　校歌

作詞　酒井　雨虹
作曲　杉本　秀治

一
見よ　大川の　水の面は
円かなる　月影やどし
天地のわけを　さながらに
小さき目にも　教うなり
おお　狛の河原のなでしこと
咲けよ朝夕　我等学び子

二
聞け　城山の　松風は
学び舎の　窓の辺訪いて
尊きさとし　さながらに
小さき耳に　ささやけり
おお　狛の河原のなでしこと
学べたゆまず　我等学び子

郵便番号　６１９－０２０４
所在地　京都府木津川市山城町上狛学校１番地
電　話　（０７７４）８６－２００２
ＦＡＸ　（０７７４）８６－５５００
Ｅmail　kamikoma-es@kyoto-be.ne.jp

１．沿革

明治　６年 上狛小学校創立（４月１３日）
　　２０年 上狛尋常小学校発足
　　２５年 上狛高等小学校が併設
　　３２年 組合立上狛尋常高等小学校と改称
大正　７年 実業補修学校附設
昭和　９年 校歌制定
　　１６年 組合立上狛国民学校と改称
　　２２年 上狛町、高麗村組合立上狛小学校と改称
　　２３年 育友会発足
　　３１年 町村合併により山城町立上狛小学校と改称
　　４０年 育友会文部大臣表彰受賞、プール完成
　　４１年 鉄筋２階建て北校舎完成
　　４２年 給食センター完成 給食開始
　　　　　中庭に庭園と池が完成
　　４５年 中庭に飼育小屋が完成
　　４６年 運動場拡張
　　４９年 山城地方給食指導研究会開催　学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
　　５０年 学校優良校として、京都府教育委員会より表彰
　　５２年 日本水泳連盟より学童水泳優良校受賞
　　５３年 鉄筋３階南校舎改築完成、運動場拡張
　　５４年 校舎前庭園完成
　　５７年 体育館改築完成
　　５９年 山城地方社会科教育研究発表会開催
　　６３年 第４３回国民体育大会京都国体（成年女子ソフトボール会場）
平成　２年 京都府教育委員会・山城町教育委員会教育実践推進校（算数科）
　　　　　＜指定２年 平成３年発表＞
　　３年 第３６回「才能開発実践教育賞」受賞
　　５年 京都府社会福祉協力校指定（３年間）
　　　　人権擁護ポスターコンクール学校賞受賞
　　　　１２０周年記念講話会
　　６年 京都府小学校教育研究会保健安全研究会
　　８年 京都府教育委員会教育実践パイロット校・山城町教育委員会指定（図画工作科）
　　　　＜指定２年　平成９年発表＞
　　１１年 コンピューター教室整備　コンピューター設置
　　１３年 京都府学校安全協力校として京都府教育委員会より表彰、門扉・フェンスの設置
　　１４年 配膳室設置、給食センター改築（椿井地域へ移転）
　　１５年 創立１３０周年記念植樹
　　１６年 京都府教育委員会環境教育推進校「京のエコ・スクール」
　　　　　山城町教育委員会指定（指定２年 平成１７年発表）
　　１８年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）
　　１９年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校　継続）
　　　　　京都府交通安全協会より交通安全表彰受賞(5 月)
　　　　　「みんなで読もう１０００万冊読書キャンペーン」京都新聞社賞受賞
　　２０年 「やましろ地域学習推進事業」平成２０年度やましろ地域学習推進研究協力校

２１年　「やましろ地域学習推進事業」平成２１年度やましろ地域学習推進研究協力校
２１年　コンピュータ教室整備（機器交換）
２２年　文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」実践中心校
２２年　南校舎耐震補強工事完了
２３年　文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」本発表
２３年　南校舎屋上防水工事完了
２４年　南校舎南側花壇新設
２５年　理科・図工室を南校舎に移転

２．教育
（１）経営方針
＜児童の夢と希望をはぐくむ上狛小学校の教育の創造＞

「学校は、子どもたちにとって、安心してのびのびと過ごせる楽しい場でなければならない」ことを念頭に置き、学習指導要領、「京都府教育振興プラン～つながり、創る、京の知恵～」「府・市の学校教育の重点」を踏まえ、校長主導の学校体制の下、教育目標と学校経営方針を明確にした教育課程を編成し、日々の教育活動の充実を図り、質の高い学力、豊かな心、健やかな身体をバランスよくはぐくみ、ふるさと上狛を愛し、夢と希望を持って未来に向かってはばたく児童の育成を目指す特色ある学校づくりに努める。また、子どもたちが、包み込まれているという感覚の中で、展望する力、つながる力、挑戦する力の充実・向上を図る。

（２）教育目標
「心豊かで思いやりがあり、自ら学び、たくましく生きる子」

＜目標達成のための基本方針＞

ア　基礎的・基本的な内容の徹底を図り、活用する力を育成し、質の高い学力の充実・向上を図る。また、知的好奇心や探求心をはぐくみ、主体的に学習する意欲や態度を養う学習意欲の向上を図る教育を推進する。
イ　道徳教育や自然・社会体験活動、特別活動、読書活動等を重視し、相手を思いやる心、自他の生命や人権を尊重する心、感動する心など、豊かな心と規範意識をはぐくむとともに、家庭・地域と連携して食育推進を図り、健やかな身体をはぐくむ教育を推進する。
ウ　国際化・情報化・循環型社会で子どもたちが主体的に生きていけるよう自己の生き方を深く見つめさせるとともに、創造性・想像力、コミュニケーション能力等をはぐくむ教育を推進する。
エ　地域の自然・文化、歴史等を学校教育活動に取り入れながら、家庭・地域社会・関係機関との連携に努め、学校教育への地域人材等の活用を図るとともに、地域社会と共に子どもを守り育て信頼される学校づくりを推進する。
オ　特別支援教育についての理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導、必要な支援を充実させる取組を推進する。

（３）研究主題
「確かな学力を身に付け、自ら学ぶ子どもの育成」

～互いに伝え合い、共感できる授業を通して～

ア　研究領域　国語科と算数科　地域連携の推進
イ　研究にせまるための重点事項
（ア）主体的な学習が進められるように、指導計画を見直し、教材・教具の工夫や

言語活動・算数的活動を取り入れ、国語科と算数科に関する研究と実践に努める。

（イ）指導と評価の一体化を図る。個々の状況を見取り、個に応じた指導・支援を進め、基礎的・基本的な内容を着実に定着させる。

（ウ　自分の考えを持ち、互いに伝え合い、共感・共有する授業づくりを工夫するとともに、ノート指導の充実を図ることにより、活用する力を育成し、質の高い学力の充実・向上を図る。

（オ）地域で支える学校教育推進事業(京都府)を活用し、地域ぐるみで学校を支える体制を整備することにより、学校教育の充実を図る。ふるさと学習に取り組み、郷土愛をはぐくむための取組を進め、児童の心豊かな人間性・社会性を高める。

（４）めざす児童像

＜やさしく・かしこく・たくましく＞

ア　明るく思いやりのある子
イ　自ら学び考える子
ウ　元気でたくましい子

（５）めざす学校像

ア　自然とともに豊かな心をはぐくむ場としての学校
イ　個性を伸ばし、主体的に学び誰もが輝く場としての学校
ウ　安心・安全で、家庭・地域に開かれた場としての学校

（６）めざす教師像

＜教育は信頼関係の上に成り立つことを自覚し、日々の実践を大切にする教師＞

ア　子どもに教育的愛情を持ち、より良い関係を築く教師（子と教師）
イ　保護者と連携・協力し、信頼関係を築く教師（保護者と教師）
ウ　常に課題意識を持ち実践力のある教師
エ　研修に努め、高い専門性をはぐくみ、情報の共有化・協働体制を図る教師
オ　文化や自然など地域と積極的に関わり、広い社会性と豊かな人間性溢れる教師

（７）特色ある学校づくり

＊創意ある教育活動を展開し、児童にとっては魅力ある学校、家庭・地域にあっては開かれた学校を目指すことを通し、学校への信頼を醸成し、教育の活性化を図る。

ア　基礎的・基本的な内容を身に付けさせ、少人数加配・特別支援加配等の活用により、個々の学力の充実・向上を図るとともに、積極的な読書活動などの取組を

通して豊かな心をはぐくみ、個々の児童の個性・能力の伸長に努める取組を推進する。

イ　組織的・系統的な食の指導の在り方を検討し、学校給食の充実と教育活動全体を通じた食育の推進を図り、発達段階に応じた児童の食や健康への意識を高める。

ウ　特別支援教育を積極的に進め、障害のある児童一人一人のニーズに応じ、学校全体として支援する校内体制の充実を図る。

エ　道徳教育を大事にするとともに、相手を思いやる心や自他の生命や人権を尊重する態度を育て、いじめや不登校については早期発見と対応に努める。

オ　「総合的な学習の時間」等について、育てたい力を明確にし、教科・道徳・特別活動などとの関連を明確にしながら、全体計画を見直し、人やふるさと上狛の自然・文化・環境問題等を意識した取組を行い、特色ある教育活動を推進する。

カ　ふるさと上狛の自然や産業、生活や文化・歴史の教材化や地域の人材等を積極的に取り入れた様々な自然・社会体験活動、問題解決的な学習を推進する。

キ　コンピュータ等の教育機器の積極的な活用を図り、情報活用能力を育てるとともに、基本的な情報モラルやマナーの育成を図る。

ク　外国語活動等を通してコミュニケーション能力の素地を養うとともに、異文化や日本文化（お茶等）の理解を深める教育を行う。

ケ　危機管理マニュアルを点検するとともに、危機管理体制等を整備・充実し、教職員・児童の危機意識と対応能力を高める。また、避難訓練や「なでしこ安全推進会議」を大切に、保護者・地域住民と連携しながら、安心・安全な学校づくりを図る。

木津川市立棚倉小学校

棚倉小学校校歌

作詞　中谷志津枝
作曲　杉本　秀治

一、大空めざし　伸びてゆく
光明山の　わか竹に
まけず伸びよと　日はまねく
ああすくすくと　立ちあがる
光の子なり　我等みな

二、清き流れを　のぼりゆく
泉の川の　若あゆに
まけず進めと　風はよぶ
ああひとすじに　学びゆく
励みの子なり　我等みな

三、涌き出の森の　大杉が
語る栄えの　その歴史
うけつぎゆけと　枝は鳴る
ああ喜びに　勇み立つ
望みの子なり　我等みな

郵便番号　６１９－０２０１
所在地　京都府木津川市山城町綺田局塚１４
電　話　（０７７４）８６－２５１３
ＦＡＸ　（０７７４）８６－５６９８
Ｅmail　tanakura-es@kyoto-be.ne.jp

１．沿革

明治　　５年　綾杉に綺田校創立（５月 25 日）
　　　２１年　綺田尋常小学校発足
　　　２５年　棚倉高等小学校を綺田尋常小学校に設置
　　　３２年　棚倉高等小学校を廃して綺田尋常小学校に併置し、校名を綺田尋常高等小学校と改称
大正　　３年　大字綺田小字局塚１４に移転改築
　　　　　　　綺田尋常高等小学校を棚倉尋常高等小学校と改称　実業補習学校附設
昭和　１１年　奉安殿並びに校舎の落成式挙行
　　　１６年　棚倉国民学校と改称
　　　２２年　棚倉村立棚倉小学校と改称
　　　２３年　棚倉小学校校歌制定
　　　２８年　講堂竣工式挙行
　　　３１年　上狛村、高麗村、棚倉村が合併し山城町となる。校名を山城町立棚倉小学校と改称
　　　３８年　新校舎改築開始（普通教室１１，特別教室５、管理室３）
　　　４０年　新校舎落成竣工　プール竣工
　　　４２年　学校安全優良校として日本学校安全会より表彰　完全給食開始
　　　４３年　障害児学級開設
　　　４４年　緑地帯整備完工
　　　４５年　交通教室整備（模擬道路、自転車練習場設置）
　　　４７年　昭和４６年度学校安全優良校表彰　　昭和４７年度学校安全文部大臣表彰
　　　　　　　創立１００周年記念行事実施　　　　昭和４７年度学校安全教育研究発表会
　　　４８年　昭和４７年度全日本交通安全協会会長表彰、昭和４８年度学校安全教育研究発表会
　　　４９年　障害児学級閉鎖
　　　５０年　児童増加に伴い、３教室増築並びに体育倉庫増築
　　　５３年　運動場一部拡張　　理科教室改装
　　　５４年　文部省、府教委小学校教育課程研究指定（図画工作科）～５５年
　　　５５年　小学校教育課程（図画工作科）研究発表会
　　　５８年　新校舎（特別教室）竣工（３教室、便所、児童昇降口）
　　　　　　　校地北西部の水田を買収し、大運動場完成（１２，９１１平方メートル）
　　　６０年　運動場照明施設完成　　　体育館竣工（７２６平方メートル）
　　　６１年　学校安全教育表彰（学校安全努力校）　第４３回国民体育大会　京都国体開催
平成　　元年　府小研体育研究大会　　校舎大規模改造完成
　　　　３年　学校安全教育長表彰（学校安全努力校）
　　　　　　　文部省･京都府教育委員会及び山城町教育委員会教育実践推進校(体力つくり)指定(３年間)
　　　　４年　体力つくり研究発表会（２年次）　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）
　　　　５年　体力つくり研究発表会（３年次）
　　　　６年　学校安全努力校表彰　　全国学校体育研究校表彰
　　　　７年　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）
　　　　８年　障害児学級開設　福祉協力校指定(３年間)　保健室・給食配膳室改修　公共下水道供用開始
　　　　９年　放送室・放送設備改修
　　　１０年　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）　ふるさとふれあい推進校指定（２年間）
　　　１１年　コンピュータルーム開設　　ふるさとふれあい推進校発表
　　　１２年　金銭教育指定（第１年次）
　　　１３年　金銭教育指定（第２年次）　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）
　　　１４年　金銭教育研究発表会・金銭教育シンポジウム開催（２月８日）
　　　１５年　京都府教育委員会「夢・未来校」・文部科学省「学力向上ﾌﾛﾝﾃｨｱｽｸｰﾙ」指定（15・16年）
　　　１６年　全日本学校関係緑化コンクール　学校林活動の部入選（国土緑化推進機構理事長賞）
　　　　　　　「学力向上ﾌﾛﾝﾃｨｱｽｸｰﾙ」「京都夢・未来校」研究発表会
　　　　　　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）
　　　１８年　京の子ども夢・未来校「やましろ未来っ子」「学力向上ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開発校」指定(18･19年)
　　　１９年　加茂町、木津町、山城町が合併し木津川市となる。木津川市立棚倉小学校と改称
　　　　　　　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）　放送設備改修
　　　　　　　京の子ども夢・未来校「やましろ未来っ子」「学力向上ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開発校」研究発表会
　　　２１年　特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」）研究推進校（１年次）
　　　２２年　特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」）研究推進校（２年次）
　　　　　　　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）
　　　　　　　栄養教諭を中核とした食育推進事業（１年次）
　　　２３年　栄養教諭を中核とした食育推進事業（２年次）
　　　２４年　「学校林・遊々の森」全国子どもサミットｉｎ京都参加
　　　　　　　学校支援地域本部事業発足
　　　　　　　第53回交通安全国民中央大会交通安全栄誉賞表彰
　　　２５年　京都府愛鳥モデル校指定（継続・３年間）
　　　　　　　木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
　　　２６年　木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
　　　　　　　プール改修工事・校舎建替え工事（～２７年）

２．教育
　児童や地域の実態を踏まえ、学習指導要領並びに府教育委員会「京都府教育振興プラン～つながり、創る、京の知恵～」「学校教育の重点」、市教育委員会「木津川市教育振興基本計画～生きる力をはぐくみ新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」「学校教育の重点」に即して創意ある教育活動を推進し、特色ある学校づくりを進める。特に、個性を生かし一人一人を大切にした教育の推進、質の高い学力をはぐくむために、授業改善に基づく学力の充実・向上を図る。また、全ての教育活動において、３つのはぐくみたい力である「つながる力」「展望する力」「挑戦する力」を育て、子どもたちに「包み込まれているという感覚」を実感できるような教育活動を展開する中で、共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子どもの育成を目指す。そのため、校長を主導とした学校体制の下で、日々の教育活動の充実に努めるとともに、不断の研修と組織的な教育実践により教職員の資質・能力の向上を図り、職責の遂行に努める。
　すべての児童に対する教育的愛情をもち、豊かな人間性、広い社会性及び高い専門性を基盤とした実践的指導力の向上を図り、保護者や地域住民の信託と期待に応えるよう努力する。

(1) 学校教育目標

　学校・家庭・地域の連携の下、子どもたち一人一人を大切にして、子どもたちが「包み込まれているという感覚」を実感できるような教育活動を展開し、子どもたちの個性や能力を伸ばしつつ、『共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども』をはぐくむ。

自分のよさを生かしながら、自立できる子どもの育成

(2) めざす児童像

○心と体をきたえる子	・全力で学習・運動する子 ・掃除をがんばる子
○思いやりのある子	・相手の立場に立って考える子 ・挨拶できる子
○よく考える子	・読書をがんばる子 ・物を大切にする子

(3) 学校経営方針（中期経営目標）

　校長主導のもと、教職員の力を集結し、次の４点に重点を置いて教育活動を展開する。

ア　各学年で身に付けさせるべき力を明確にするとともに、精選した指導と教育活動を徹底する。また、少人数指導等を生かして、児童一人一人の学力の向上を図る。

イ　児童理解の力を磨き、日々の教育実践を積極的に進める。また、生徒指導の３機能を生かし、教師自らの実践力を高める。（自己決定の場の設定・自己存在感・人間的ふれあい）

ウ　積極的に地域や家庭への情報発信・地域や家庭からの受信を行い、地域に開かれた、地域から信頼される学校づくりを推進する。

エ　積み上げてきた重点研究の成果を生かしつつ、たなリンピックプロジェクト（学び・つながり・きまり）の取組をより一層深め、道徳教育の基盤づくりを進める・

(4) 学校経営の重点（短期経営目標）

ア　質の高い学力の向上（知識・技能、活用の力、学習意欲）
（ア）基礎・基本の定着及び活用する力の育成を図る指導の工夫
（イ）学習意欲の向上
（ウ）言語活動と図書館教育の充実
（エ）特別支援教育の推進

イ　豊かな人間性の育成と健康や体力の向上
（ア）道徳教育の推進
（イ）人権教育の推進
（ウ）健康や体力の向上
（エ）食育の推進

ウ　生徒指導の充実
（ア）生徒指導の３機能を生かした学級経営
（イ）生徒指導の実践（いじめ・不登校児の未然防止）
（ウ）教育相談の充実

エ　地域に開かれた学校づくり
（ア）学校の顔が見える（学校通信等の活用）
（イ）保護者の声をとらえる（PTA等各種団体との連携）
（ウ）地域・保護者と連携する（人・もの・ことの活用、たなっこ安全推進会議、学校改築に向けての情報の共有化）

本年度の重点目標及び具体的方策

(1) 教育目標・組織運営

教育目標や運営方針を教職員が理解するとともに、さまざまな機会をとらえて保護者や地域の人々に知らせる。 各分掌相互の連携を図り、円滑な組織運営を進める。

ア　教職員が教育目標や学校経営の重点を踏まえて、教育実践を進める。
イ　さまざまな機会に自校の課題と改善等について説明し意見を聞く。
ウ　各分掌の活動内容を教職員に周知し、協働意識を高める。
エ「学力アップ」「環境整備」「課題分析・授業改善」の各専門部会を生かし、組織的な対応を図る。

(2) 安全管理・文書管理

危機管理について、日頃から対応できるように教職員の共通理解を図る。文書の作成・整理・保管等を適正に行う。

ア　安全の日を設定し、教職員全員が児童の目線で点検する。（毎月１日）
イ　危機管理に関する訓練や研修を行い、教職員の危機管理意識の向上に努める。（地震・不審者・火災・警報発令時）
ウ　個人情報保護の観点に留意し、厳正に取り扱う。

(3) 学習指導の充実

学習状況の的確な把握と質の高い学力の向上を目指す。（知識・技能・活用の力、学習意欲）

ア　児童の学習状況を把握し、基本的な学習規律を大切にし、指導体制・指導方法・指導形態等を工夫改善する。
イ　教育活動全体を通して、言語活動の充実をめざす。
ウ　家庭と連携し、学習習慣の確立を図る。

(4) 図書館教育の充実

読書の楽しさを味わい、読書活動を広げ、読書全体を深めながら読書習慣が身に付くような取組を進める。

ア　読書意欲の向上と読書習慣の形成に向けた具体的な取組を実践する。
イ　司書教諭と担任との連携を図る。また、ボランティアの有効活用を図る。

(5) 特別支援教育の推進

特別な教育的支援を必要とする児童一人一人に応じた支援を行う。

ア　校内委員会を定期的に開催する。
イ　専門諸機関との連携を図る。
ウ　個別の指導計画に基づく授業改善を図る。
エ　個別の教育支援計画を作成し、指導に生かす。

(6) 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実

道徳教育

児童の心に響く教材を活用し、道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を付ける。

ア　「京の子ども　明日へのとびら」を活用し、心の教育を充実させる。
イ　保護者参観日等に授業を積極的に公開する。

人権教育

さまざまな人権問題の解決の視点を明確にした学習を行う。

ア　人権学習資料集等を活用し、学習内容の工夫・改善を図る。
イ　互いの人権を尊重する学級風土をつくる。

(7) 健康・体力の向上

健康・体力の向上の取組を推進する。 食育の推進を通して地域社会や自らの生活を見つめる。

ア　「体力づくり指導の手引き」等を活用し、豊かで楽しい運動経験を通して、児童の体力づくりを進める。
イ　計画的に健康安全教育を推進する。
ウ　食育の重要性について理解を深め、理想的な食事の摂取を目指す態度を養う。
エ　地域の特産物について認識を深め、大切にする心を養う。

(8) 生徒指導の充実

指導の方向、内容を明確にし、学校の協力体制・指導体制を確立する。 児童理解と信頼関係に基づいた教育相談活動を充実する。

ア　生徒指導の３機能を生かし（自己決定の場の設定・自己存在感・人間的ふれあい）、学校生活の基盤となる豊かな学級経営に努める。
イ　日々の欠席状況を把握し、不登校やいじめの兆候を見逃さず、不登校を未然に防止する。

(9) 社会の変化に対応する教育の推進

外国語活動

英語に対する関心や理解を深め、積極的なコミュニケーション能力を育成する。

ア　１～４年　英語に親しむ。
イ　５，６年　英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。
ウ　年間指導計画を改善する。

環境教育

身近なところから環境に関心をもつとともに、地域の活動へと広げる。

ア　体験活動を通して身近な環境に関心をもつようにする。
イ　自分に何が出来るのかを考えさせ、身近なことから実践する態度を育成する。
ウ　清掃活動に関する実践力を高める。

情報教育

情報活用能力を育成し、発達段階に応じた情報モラルに関する指導に努める。

ア　１～３年　親しむ。
イ　４～５年　慣れる。（機器の活用）
ウ　６年　　　使う。（表現、発信）
エ　年間カリキュラムに基づくコンピュータ学習を行う。
オ　情報モラルについての学習を行う。

(10) 教員の資質向上

教員の資質と組織力の向上を目指す職員研修を実施する。

ア　週案の活用を図る。（教材研究、板書計画、準備物等）
イ　研究・研修会等を通して授業力（指導力・評価力等）の向上を図る。
ウ　自己研修に努め、資質の向上に努める。

(11) 地域に開かれた学校づくり

教職員も、積極的にＰＴＡ活動や地域行事等に参加する。

ア　学校のホームページを更新し、情報を発信する。
イ　授業を様々な機会に公開する。
ウ　学校だよりを発行する。（地域回覧、民生児童委員への配布等）
エ　授業や教育活動等で地域の人材、保護者の協力を得る。（学校支援地域事業本部・放課後子どもプランの活用）
オ　自治会・老人会・民生児童委員等地域との連携を図る。
カ　学校評議員会を開催し、活発に意見交換ができるようにする。

学校評価の方針と計画

(1) 方針

適切な学校評価、外部評価等により、学校経営・教育活動の改善の課題を明確にし、経営方針や組織・運営、教育活動に生かし、学校改善を図る。

(2) 計画

ア　評価の実施については、区切りのよい時期に、組織的・計画的に実施する。
イ　常に改善をめざす評価として、評価の視点は、マネジメント・サイクル（RESEARCH－PLAN－DO－CHECK－ACT）を基本とする。
ウ　評価を通して改善が明確になった課題について、校内研修において全教職員の共通認識を図り、改善策を講じる。
エ　教職員評価を実施するとともに、それらを学校評価に活用する。

木津川市立木津中学校

木津中学校校歌

作詞　石山　修
作曲　吉中俊道

一
東の空にかぎろう　朝日子の
光をあびて　この学園に
つどう若人　いのちは躍動る

二
木津川はその名清しき　泉川
永久に変わらぬ　流れこそ
木津中健児の　たゆまぬ姿

三
青丹よし奈良のみやびを　近代の
文化に生かす　力こそ
われらの胸に　たぎる血潮ぞ

四
天と地の寄り合うきわみに　万象の
生成力あり　わが校の
集いに平和の　力こもれり

郵便番号	６１９－０２２２
所 在 地	京都府木津川市相楽高下４－８
電　　話	（０７７４）７２－０００７
ＦＡＸ	（０７７４）７２－００９４
ＵＲＬ	http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/

1．沿革

昭22．5．3	町立木津小学校南校舎を借用して開校式挙行
23．3.21	木津南垣外に新校舎上棟式挙行
10.19	新校舎へ移転
25．6.18	講堂竣工式挙行
26．4．8	町村合併に伴い相楽村出身生徒を編入
27．6．5	相楽村との合併により現在地に本館竣工式挙行
6.30	新校舎へ移転
28．5.27	南校舎を旧地から移転し、竣工式挙行
10.30	生産教育研究発表会実施
29．4.23	講堂を旧中学校から移転、竣工式挙行
30．7.30	プール竣工
11．8	文部省指定産業教育研究発表会実施
31．3.	木津小学校から２教室移築
12.11	同和教育研究発表会実施
32．9．1	優良図書館表彰受賞
11.21	学校図書館研究発表会実施
34．6．1	バックネット新設
11.25	道徳教育研究発表会実施
35．5．1	障害児学級開設
36．2.24	障害児教育研究発表会実施
3.20	進路指導研究発表会実施
9.16	第二室戸台風のため校舎一部倒壊
11.21	府教委指定「学級活動における進路指導」研究発表会実施
37．6.29	体育館竣工
11.10	特別教育活動研究発表会実施
39.12.30	鉄筋校舎竣工
40．2．2	文部省指定道徳教育研究発表会実施
3.17	学校安全努力校として表彰を受賞
42.11．6	技術科研究発表会実施
43．4.15	学校給食開始
44．2.24	学校経営研究発表会実施
45．4.28	本館新築竣工
46．2.25	生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
11.25	生徒指導研究（文部省推進校）報告会実施
47.11.13	生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
50．2.25	自由研究「学級活動」発表
52．1.21	文部省指定道徳教育研究（２年継続）発表実施
53.11．2	郡中学校自主研究発表「集団を高めるために」
54．3．2	鉄筋４階建校舎竣工
55．3.20	鉄筋４階建校舎増築竣工
57．3.20	クラブボックス完成
12.10	運動場防球ネット設置
59．3.30	運動場夜間照明設置
61.10.15	体育館大規模改修工事完了

62. 5.25	校長室改装
63. 8.30	南北校舎大規模改修工事完了
平2.11. 6	郡中学校自主研究発表「学習意欲を高める指導の充実」
3. 8.30	職員室床面前面改修完了
10.31	プール新設竣工
11.25	自動車駐車場の新設
12.10	人権作文コンテスト感謝状受賞法務省局長賞
12.25	体育館ギャラリー手すり設置
4. 3.10	武道場の新設竣工
3.31	バックネット新設竣工
9.30	コンピュータ教室完成
5. 8.31	グラウンド大規模改修工事完了
6. 8.25	職員室空調設備設置工事完了
7. 8.30	放送設備全面改修
8. 1.21	武道場進入通路舗装
8. 9	文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業
9. 4. 5	体育館東入口屋根完成
5. 3	創立50周年記念式典実施
10. 4. 5	自転車置場増設
11.22	「さわやか賞」受賞
12. 4. 1	情緒障害児学級設置
8.	下水道・室外トイレ改修
13. 4. 1	「児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業」研究指定
14.11.	受水槽改修
15. 7.30	京都府中学校総合体育大会ソフトテニスの部優勝
10.18	山城地方中学校駅伝競走大会　男子優勝
12.	コンピュータ室備品新規購入及び、光ファイバー、イントラネット整備
16. 2.	「児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業」発表（於・東京）
4.	スクールカウンセラー配置
	文部科学省指定「キャリア教育推進地域指定事業」（３ヶ年）
18. 4	心の居場所相談員配置
	文部科学省指定「人権教育推進地域事業」（３ヶ年）
19. 3.12	木津川市誕生に伴い、木津川市立木津中学校と改称
10.20	山城地方中学校駅伝競走大会　男子優勝(第29回近畿中学校駅伝競走大会出場)
11.10	「キャリア教育」文部科学大臣表彰受賞
12.21	木津中学校創立60周年を迎える(記念品配布)
20. 7.30	京都府中学校総合体育大会サッカーの部優勝（近畿大会出場）
21.1.20	平成18・19・20年度文部科学省指定　人権教育総合推進地域事業　「人権教育研究大会」
3.	クラブボックス裏に自転車置き場増設
21. 7.30	京都府中学校総合体育大会サッカーの部２年連続優勝（近畿大会出場）
21.8.22	全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場（男子:110mH、女子:100mH）
22.7.30	京都府中学校総合体育大会サッカーの３年連続優勝（近畿大会出場）
23. 4.1	梅美台及び州見台地域の生徒増加に伴い木津川市立木津南中学校の開校により分離
26. 3.12	新校舎棟・体育館落成式

２．教育

（1）学校教育目標

「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

（2）めざす生徒像

「強い人、考える人、あたたかい人」

・豊かな心と、たくましい身体を持った生徒

・自らの考えで、進んで実行する生徒

・他と協力し、助け合い励まし合う生徒

（3）本年度の研究主題

ア　規範意識の育成とその定着

～　「豊かな心」「生きる力」の育成とかかわって　～

イ　確かな学力の定着

～ICT 器機を活用し、木津中方式の授業づくりを通じた学力の向上～

（4）教育目標を具現化するための努力点

ア　学級・学年経営の充実

○学級を基盤として自らを大切にすると共に、他人を大切にする意識を高め、協力し助け合う気持ちや態度を育む。また、心豊かな人間性に満ちた生徒の育成に努める。

○学級の諸活動を、学年や学校全体に整合（連動）させるよう、その工夫に努める。

イ　学習指導の充実

○全国学力・学習状況調査の実施とその分析・活用。

○学習指導要領に基づく年間指導計画の完全実施と検証。

○「評価」と「指導」の一体化を更に意識し、評価基準の客観性・信頼性を追求する。

○全教育活動において、さらに「国語力の育成」をめざす。

ウ　道徳教育の推進

○教育活動全体を通じて、道徳的心情・判断力を高め教育愛に根ざした道徳的実践力を育成する。

○学年、学校としての授業の蓄積を大切にする。

エ　生徒指導の推進

○毅然とした指導に撤し、正義の通る集団を育てるなかで、規範意識を高める。

○常に「先取りの生徒指導」を心がける。

○事象に対しては機動力に富む、組織的対応を行う。

○不登校・不登校傾向の生徒に対する理解を共有し、指導にあたる。

○通学路の安全点検及び登下校時の安全指導の徹底を図る。

オ　人権教育の推進

○一人一人を大切にした指導を徹底する。

○さまざまな人権問題の正しい理解と問題解決のための実践力を育てる。

（本校の課題を明確にし、焦点化した取組みを展開する。）

カ　特別支援教育の推進

○障害のある生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、障害に基づく種々の困難の改善・克服を図りながら個性や能力の伸長に努め、心豊かでたくましく生きる力を培う。

キ　健康安全教育の推進

〇健康に関する認識を高め、保護者の理解・協力を得ながら基本的な生活習慣の確立に努める。

〇「安全・安心」な「学校」をめざす。

ク　進路指導の充実

〇自己理解の上に、自らの進路を決定できる実践力の育成を図る。

〇キャリア教育をさらに充実させ、望ましい職業観、勤労観を育む。

ケ　地域との連携

〇あらゆる機会を通じて、学校・地域・家庭の連携を密にし、相互の教育的機能の高揚に努める。

〇「発信力」を更に強め、質を高める。

木津川市立木津第二中学校

木津第二中学校校歌

作詞　中村吉三
作曲　尾上昭典

一　はるかなる　歴史の歩み　礎に
　清き流れの　木津川を
見渡す丘の　学び舎に
　英知を磨く　若人が
手をとり進む　未来には
　清新の意気　たかまりて
あゝ　我が　木津第二中学校

二　友愛の　心豊かに　育くみて
　四周の山の　ふところで
礼節守る　学び舎に
　身体を鍛え　若人が
手をとり進む　未来には
　躍進の音　たからかに
あゝ　我が　木津第二中学校

郵便番号　　６１９－０２２４
所 在 地　　京都府木津川市兜台６丁目１番地
電　　話　　（０７７４）７２－８７３４～５
ＦＡＸ　　（０７７４）７２－８７３６
E mail　　kizu2-jhs@city.kizugawa.lg.jp

1．沿革

昭 61．4．1	木津町立木津第二中学校開校（生徒数　17 名）
62．3.13	第 1 回卒業証書授与式挙行（卒業生　5 名）
63.11.30	京都府教育委員会・木津町教育委員会指定教育実践研究発表社会科
平 元．3．9	校歌発表会
6.23	アメリカ政府派遣高校生大使来校　交流会実施
12．4	相楽郡中学校教育研究会指定研究発表 テーマ「国際理解教育」奈良県立高校留学生 17 名招校
4．3．7	ＰＴＡ設立総会（ＰＴＡ発足）
5．3.25	新校舎竣工（普通教室９、図書室、第２音楽室、コンピュータ教室各１）
4．1	府教育委員会教育実践推進校「指導方法の改善」研究指定
6．4．1	府教育委員会より平成６・７・８年度国際理解教育推進モデル校に指定される。
12．1	指導方法の改善「数学科におけるＩＴ」研究発表会
7.10.22	開校 10 周年記念式典挙行
8．2.23	全国教育美術展学校表彰受賞
9.11.30	京都府教育委員会より、『さわやか賞』受賞
11．4．8	平成 11・12 年度京都府統計教育研究指定校指定
12．4．1	障害児学級新設
13．3.10	第 6 回全国環境ポスターコンクール学校賞受賞
4．1	スクールカウンセラー活用事業開始
14.12.19	中学生税に関する作文コンクール学校賞受賞
15．4．1	英語・数学での少人数指導の開始､情緒障害児学級の設置
4.14	木津町公園都市緑化協会によるビオトープ設置と植樹事業
16．8．2	校内 LAN 整備
9.	普通教室扇風機設置
17.11.25	開校 20 周年記念式典
19．3.12	木津川市誕生に伴い、木津川市立木津第二中学校と改称
4．1～	平成 19 年度「キャリア教育実践プロジェクト」(文部科学省地域指定)の「キャリア・スタート・ウィーク」実施校として指定を受ける。(8.23～28　職場体験学習実施２年)
10.11	内蒙古自治区教育訪問団来校
19.	駐輪場設置
20．4．9	校区再編成に伴い、木津川台小学校区の生徒が入学する。
11.21	相楽地方中学校教育研究会指定発表「キャリア教育」
11.22	「キャリア教育」文部科学大臣表彰
23．3	駐輪場増設
24．4	同志社大学との連携事業（｢プロデュース能力」養成プログラムの開発）
24．5	プール改装
25．4	木津川市立小中学校情報教育研究指定
25.10	「木津川市地域で支える学校教育推進事業」木津第二中学校区学校支援本部設置
26．2	木津川市立小中学校情報教育研究指定公開授業
26．5	木津川市特色ある学校づくり推進校

２．教育

（１）学校教育目標

生徒一人一人が持つ可能性を最大限に開発し、生涯にわたる学習の基礎を培い、確かな見通しを持って主体的に生き抜く力を育む。

（２）めざす生徒像

『友愛』　他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒
『礼節』　礼儀と節度を守る生徒
『協力』　力を合わせ、よい校風をつくる生徒

（３）経営方針

学校教育目標達成に向けて、教職員が力を合わせ、生徒の実態を踏まえて、ＲＰＤＣＡサイクルによる組織的・計画的な教育活動を推進すると共に、家庭、地域社会、関係機関との連携を深め、魅力ある学校づくりに努める。

ア　次世代を担う教育の推進に努める。
イ　生涯にわたって主体的に学び続ける意欲と能力の育成に努める。
ウ　生徒指導の充実を図り、心豊かでたくましく生きる生徒の育成に努める。
エ　高い教育理念と指導力・情熱と行動力を持ち、互いに高めあおうとする教職員集団の育成に努める。
オ　家庭、地域社会、関係機関等との連携を深め、魅力ある学校づくりに努める。

（４）本年度の指導の重点

ア　主体的・協同的な学びをはぐくむ指導方法の開発・研究
・効果的な ICT 活用と言語活動の充実
・個に応じた指導の充実による基礎・基本の徹底
・学力調査等を活かした授業改善と指導と評価の一体化

イ　学びの連続性を重視した連携の強化
・小中連携した学力の実態分析と相互授業参観・合同研修による指導方法の改善
・小中高連携した英語等の授業交流と指導方法の研究

ウ　主体的・協同的な学びの基盤となる豊かな心の育成
・道徳教育、人権教育、特別活動の推進体制の整備と研修や授業公開の充実による学校教育全体を通した豊かな心の育成

エ　安心・安全な教育環境づくり
・いじめの未然防止に向けた開発的生徒指導の研究と教育相談体制の充実
・不登校生徒への組織的対応と関係機関との連携

オ　特別な支援を要する生徒への組織的な支援体制の確立
・個別の指導計画の作成と関係機関と連携した支援の充実

カ　家庭・地域と連携した魅力ある学校づくりの推進
・ＰＴＡや学校地域支援本部等との連携強化
・家庭や地域への積極的な情報発信と学校評価の充実

（５）本年度の研究主題

「主体的・協同的な学びをはぐくむ”木津二メソッド”の創造」

木津川市立木津南中学校

木津南中学校校歌

作詞　長澤　秀明
作曲　森本陽三郎

一
水澄み渡る　木津川の
豊かな流れ　永遠に
古き都に　思いはせ
高き理想を　求めゆく
我らは学ぶ　未来のために
ともに創らん　木津南

二
清風薫る　青い空
白き学舎　堂々と
若人の声　響き合い
明日への希望　わき上がる
我らは紡ぐ　たがいの絆
ともに歩まん　木津南

郵便番号　619-0216
所在地　京都府木津川市州見台四丁目２６番地
電　話　（０７７４）７１－０８５０
ＦＡＸ　（０７７４）７１－０８５３
ＵＲＬ　http://www.kizu.ed.jp/kizu-m-jhs

1．沿革

平成 23．4．　1　　木津川市立木津中学校から分離、開校（４月５日開校式）
23．4．　8　　第１回入学式（入学生 134 名　全校生徒 281 名　10学級）
24．1．18　　校歌発表会
24．3．14　　第１回卒業証書授与式（卒業生　５１名）
平成 24．4．10　　第２回入学式（入学生 163 名　全校生徒 394 名　13学級）
25．3．14　　第２回卒業証書授与式（卒業生　９７名）
平成 25．4．10　　第３回入学式（入学生 186 名　全校生徒 484 名　16学級）
26．3．14　　第３回卒業証書授与式（卒業生　１３６名）
平成 26．4．9　　第４回入学式（入学生 204 名　全校生徒 511 名　18学級）

木津川市立木津南中学校

学校教育目標

木津川市の木である桜と悠久の木津川の流れを表しています。

主体的に未来を創造し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成

～すべての生徒が「包み込まれているという感覚」を実感できる学校～

学習指導要領

京都府教育振興プラン
木津川市教育振興基本計画等

目指す生徒像

1　未来を展望し主体的に**創造**する生徒
2　目標に向かって**挑戦**し続ける生徒
3　自然、人、社会とつながり**共生**できる生徒

教育の視点

本校が主体となり、保護者・地域社会・関係機関等と**協働**し、**社会総が かり**の教育を推進する。

創　造

1　木津南中学校の新しい伝統と校風づくりの推進
2　目指す生徒像の具現化
3　生徒が生き生きと学ぶわかる授業の工夫・改善
4　学研都市等の地域の特色を生かした教育の創造
5　安心・安全な学校づくり

挑　戦

1　生徒と教職員による「温かく、熱い」学校づくり
2　生徒の自主的・自立的な学習や活動の重視（基礎・基本の徹底と質の高い学力の育成）
3　一人一人の進路希望の実現
4　教員のていねいな評価と励まし
5　部活動の活性化

共　生

1　人、もの、授業を大切にする心の教育の充実
2　いじめや暴力を許さない学校づくり
3　一人一人が大切にされ、それぞれのニーズに応じた教育の推進
4　ことばの力などコミュニケーション能力の育成

協　働

1　生徒と教職員の信頼関係を重視
2　生徒を中心に据えた保護者との連携強化（PTA）
3　地域に信頼される特色ある学校づくり（積極的な情報発信と地域の教育資源の活用）
4　小中高連携の充実による円滑な接続

RPDCAサイクルによる組織的な学校改善（**チーム木津南**）

平成26年度の新たな挑戦

①学習指導要領に基づく指導方法の研究　②学校支援地域本部事業と「きずなプロジェクト」の充実
③特別支援教室の研究　④学校図書館機能の活用充実　⑤NIE（新聞を活用した教育）の継続
⑥安心・安全な学校づくりの具体化（学校・地域が連携した防災教育の試み）

２．教育

（１）　教育目標

主体的に未来を創造し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成

～すべての生徒が「包み込まれているという感覚」を実感できる学校～

（２）　目指す生徒像

ア　未来を展望し主体的に*創造*する生徒

イ　目標に向かって*挑戦*し続ける生徒

ウ　自然、人、社会とつながり*共生*できる生徒

（３）　教育の視点

目指す生徒像を具現化するため、本校が主体となり、保護者や地域の方々、関西文化学術研究都市の研究施設、保育園や幼稚園・小中高等学校など、関係機関との*協働*により*社会総がかり*の教育を進めていく。

（４）　学校経営方針

教育実践テーマ　「創造・挑戦・共生・協働」

ア　創造

（ア）　木津南中学校の新しい伝統と校風づくりの推進

（イ）　校長主導による学校体制の確立と全教職員の学校運営参画意識の高揚

（ウ）　目指す生徒像の具現化

イ　挑戦

（ア）　ＲＰＤＣＡサイクルによる学校目標の具現化と学校の活性化

（イ）　生徒と教職員との協働による「温かく・熱い」学校づくり

（ウ）　教員のていねいな評価と励まし

（エ）　生徒の自主的・自立的な学習や活動の充実

a 基礎・基本の徹底と学力の充実・向上

b 自分たちで生活のルールやマナーを守ることの重視

c 個々の生徒の希望進路の実現

（オ）　部活動の活性化

ウ　共生

（ア）　人、もの、授業を大切にする心の教育の充実

（イ）　いじめや暴力を許さない学校づくり

（ウ）　一人一人のニーズに応じた教育の推進

（エ）　ことばの力などコミュニケーション能力の育成

エ　協働

（ア）　生徒と教職員の信頼関係を基盤とした取組の重視

（イ）　生徒を中心に保護者との連携の強化（PTA）

（ウ）　地域に信頼される学校づくり（積極的な情報発信と地域の教育資源の活用）

（エ）　小中高連携の充実による円滑な接続
（オ）　研鑽と研修による教職員の資質向上と協働による組織的・計画的な教育の構築（「チーム木津南」としての教育）

（５）　本年度の指導の重点
【創造・挑戦・共生】
ア　木津南中学校の新しい伝統と校風づくりを推進する。
（ア）新しい学校の目指す目標や校風を日常生活に位置づける。
生活の目標（あいさつ・美しい学校づくり・時間を意識した行動）
（イ）地域の特色を生かし、保護者の要望を把握し、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める。
学校支援地域本部事業の展開、きずなプロジェクトの充実
（ウ）学習指導要領の趣旨に基づき、創意ある教育課程を編成し効果的な教育活動を推進する。
学習指導要領の全面実施、学校図書館機能の充実、ＮＩＥの充実
（エ）安心・安全な学校生活の確立を目指す。
通学路の安全点検、校内の安全点検、防災教育の充実
イ　質の高い学力を育成する。
（ア）基礎・基本の徹底と学力の充実・向上に向け、目指す授業像を明確にし、授業改善を行う。
（イ）習熟の程度に応じた指導やティームティーチングなど個に応じた指導に努める。
（ウ）一時間一時間の授業を大切にする校風と授業規律を確立する。
（エ）基礎・基本の徹底を図る取組を全校で実施する。また、１年生に対しては「ふりスタ」、２年生に対しては「中２学力アップ集中講座」，３年生に対しては「ステップアップ学習」を活用し、補習学習を充実させる。
（オ）すべての教科及び教育活動の中で、ことばの力の育成を年間指導計画に位置づけ具体化する。
（カ）地域の研究機関や科学館等と連携し、体験的学習や課題解決型の学習など学習への興味・関心を高め、学習意欲を喚起する。
（キ）家庭学習の方法や内容を明確にして家庭学習を定着させる。
（ク）朝の読書の定着と多様な読書活動を推進する。
ウ　規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ。
（ア）道徳教育の要としての「道徳の時間」を指導方法や教材を工夫を通して充実させる。
（イ）関係機関と連携した非行防止教室等の実施により規範意識を高める。
（ウ）学級活動を基盤として、自他を大切にする、ものを大切にする意識を高め、協力し助け合う気持ちや態度をはぐくむ。
（エ）生徒の自主的・主体的な活動を３年間の計画的・継続的な取組として構築する。
オ　一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす。
（ア）あらゆる教育活動を通して人権教育を推進する。
（イ）特別支援教育コーディネーターを中心に校内特別支援教育委員会を充実し、発達障害を含む特別な支援を必要とする生徒を支援する。特に特別支援教室の在り方を研究する。
（ウ）キャリア教育を通して望ましい職業観や勤労観をはぐくみ、自ら進路希望の実現を図る。
カ　たくましく健やかな体をはぐくむ。
（ア）生徒の自主的な活動を支援し、部活動を活性化させる。
（イ）学校保健計画に基づく保健学習と保健指導を充実させる。
（ウ）食に関する指導計画に基づく食育の充実を図る。

（エ）部活動を積極的に取り組み、自治活動としての質を高める。
キ　社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ。
（ア）教科、総合的な学習の時間等で環境教育、情報教育、国際理解教育等について発達段階に応じ系統的に取り組む。
（イ）地域社会へのボランティア活動を積極的に進める。
ク　学校の教育力の向上を図る。
（ア）いじめ・暴力行為・不登校の未然防止と早期発見、早期対応に努める。
（イ）ネットいじめや携帯電話等に係る情報モラル教育を充実させる。
（ウ）スクールカウンセラーと連携し日常の教育相談を充実させる。
（エ）教員相互の自主的な研鑽とともに計画的・系統的な研修を実施し、授業力や学級経営能力を高めるとともに、人間性を磨く。

【協働】
ケ　安心・安全で充実した教育の環境を整備する。
（ア）学校の施設・設備の安全点検の徹底を図る。
（イ）危機管理マニュアルの検証と改善を図る。
（ウ）避難訓練、防犯教室等の実施により危機対応能力をはぐくむ。
（エ）保護者や地域の方々の協力を得て通学路の安全の徹底を図る。
（オ）図書館の毎日の開館と教科等での有効な活用及び市立図書館との連携を図る。
（カ）校区の２小学校と連携し、情報交換、授業交流、合同研修等の実施により、円滑な接続を図る。また、高等学校との連携強化に努める。
コ　すべての教育の出発点である家庭教育を支援する。
（ア）日常の連絡、通信、家庭訪問など保護者との連絡を密にし、意思疎通を図り、同じ目線で生徒への指導を進める。
（イ）学校公開や授業参観、説明会等において保護者の参加率を高める工夫をする。
（ウ）ＰＴＡと協働し、学校への支援をいただくとともに講演会や学習会など子育てについて考える機会を設定する。
サ　地域社会の力を生かして子どもをはぐくむ環境をつくる。
（ア）ＨＰ（ブログ）や通信、携帯メールなどにより積極的に学校の教育活動について情報発信する。
（イ）子どもの健全育成に向け学校・家庭・地域社会・関係機関と連携して「きずなプロジェクト」としてネットワーク化を図り、具体的な活動を展開する。
（ウ）地域の方々や学研都市研究機関、資料館等地域の人材や施設・設備を生かした出前授業や体験学習等の取組を構築する。
（エ）学校の教育活動に意見をいただく場を設定し（アンケート、会議）、学校改善に生かす。
（オ）地域社会の行事に積極的に参加する。

木津川市立泉川中学校

泉川中学校校歌

作詞　辰己利治
作曲　桜井武雄

一、清き山なみ　めぐらせる
恭仁の宮居を　まのあたり
おおしくつよく　すこやかに
学びにはげむ　若き友
ああ泉川中学に　ああ泉川中学に
若き時代の　理想あり

二、山のみどりの　かげうつし
泉のながれ　たゆるなく
こころを珠と　みがきつつ
真理をもとめ　つどう友
ああ泉川中学に　ああ泉川中学に
とわにかわらぬ　誠あり

三、古くさかえし　三つのさと
あかるき文化　うけつぎて
平和の　基　きづかんと
たがいに睦ぶ　若き日々
ああ泉川中学に　ああ泉川中学に
ひかりかがやく　未来あり

郵便番号　619－1142
所 在 地　京都府木津川市加茂町大野鳥田 75 番地
電　　話　（０７７４）７６－２１０１
ＦＡＸ　（０７７４）７６－８２３３
Ｅmail　izumigawa@educet01.plala.or.jp
ＨＰ　http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2620001

1　学校の沿革

昭和 22 年 5 月 3 日	京都府相楽郡組合立泉川中学校と校名変更
22 年 6 月 12 日	京都府相楽郡加茂町外２ヶ村組合立泉川中学校と校名変更
23 年 5 月 12 日	泉川中学校育友会結成
23 年 7 月 30 日	木造２階建10教室・便所竣工、運動場整備
25 年 5 月 18 日	木造平屋建５教室・本館・便所竣工
26 年 2 月 25 日	泉川中学校同窓会発足
26 年 4 月 1 日	３町村合併に伴い加茂町立泉川中学校と改称
31 年 2 月 18 日	校旗、校歌生徒会歌制定
31 年 9 月 28 日	特別教室竣工
34 年 4 月 1 日	屋内運動場竣工
38 年 6 月 29 日	米国ウィラード中学校と姉妹校関係成立
39 年 11 月 26 日	国際理解教育研究発表
40 年 1 月 7 日	沖縄山内中学校と姉妹校関係成立
41 年 2 月 15 日	国際理解教育研究優秀校として学校教育賞受賞
41 年 3 月 9 日	国際理解教育碑建設
42 年 3 月 27 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
42 年 12 月 4 日	補習学級開設
43 年 3 月 28 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
43 年 8 月 8 日	姉妹校沖縄山内中学校生徒本校訪問
44 年 3 月 31 日	普通９教室改築落成
44 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
44 年 4 月 1 日	障害児学級開設
44 年 5 月 1 日	普通教室改築竣工
45 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
45 年 9 月 25 日	補習学級で部落問題学習を始める
46 年 1 月 18 日	補習学級を別の地域でも開設
46 年 1 月 28 日	本館（含特別教室）改築竣工
46 年 3 月 31 日	姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
46 年 6 月 7 日	２地域の補習学級を隣保館で合同開設
46 年 10 月 30 日	文化祭意見発表会の部で生徒が部落問題を訴える
47 年 11 月 6 日	社会科の中における部落問題認識学習について研究発表
48 年 4 月 8 日	ユネスコ協同学校に指定される
50 年 1 月 17 日	ユネスコ協同学校研究発表
52 年 11 月 11 日	創立30周年記念文化祭
54 年 5 月 7 日	補習学級を児童館で開設
57 年 1 月 8 日	南加茂台より第１回転入生受入れ
57 年 9 月 1 日	校地移転（大字大野）・校舎竣工普通教室12教室・特別教室７教室
58 年 8 月 22 日	水泳プール竣工
59 年 3 月 19 日	普通教室７教室・特別教室、美術、音楽、理科教室３教室竣工
62 年 4 月 6 日	障害児学級を「あすなろ学級」と命名
62 年 11 月 5 日	第24回全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
63 年 3 月 3 日	普通教室３教室・視聴覚室１教室竣工
平成 2 年 1 月 31 日	普通教室６教室竣工
2 年 12 月 7 日	京都府教育委員会指定教育実践推進研究発表（国語科）
5 年 3 月 1 日	泉川中学校育友会を泉川中学校ＰＴＡに改称
5 年 4 月 1 日	京都府社会福祉協力校の指定を受ける（５年度～７年度）
5 年 9 月 1 日	コンピュータ教室完成
6 年 11 月 21 日	京都府中学校教育研究会国語部研究大会
8 年 2 月 1 日	府、さわやか賞（奨励賞）受賞

8 年 11 月 28 日	相楽郡中学校教育研究会指定研究校研究発表（特別活動を通して）
9 年 7 月 1 日	平成９・10年度文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始
9 年 11 月 1 日	50周年記念式典挙行
11 年 4 月 1 日	スクールカウンセラー、（町）心の教室相談員の委託事業開始（文部省）
12 年 3 月 24 日	コンピュータ機器入れ替え（教育用）
13 年 4 月 1 日	情緒障害児学級を開設
15 年 10 月 28 日	京都府中学校教育研究会英語部研究発表会(公開授業)
18 年 4 月 1 日	通級指導教室開設
19 年 3 月 12 日	木津川市誕生に伴い、木津川市立泉川中学校と改称
20 年 4 月 1 日	教育目標を「質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する」と改訂し､｢目指す学校像｣｢目指す教師像｣｢目指す生徒像｣を策定
	「教育総合計画」を策定
20 年 10 月 18 日	第55回山城地方中学校駅伝競走大会　男子初優勝(男子41校出場)
21 年 4 月 1 日	京都府教育委員会及び京都府山城教育局、木津川市教育委員会「京の子ども、夢・未来校（『ことばの力』育成プログラム開発協力校）」の研究指定を受ける（平成21・22年度）
21 年 10 月 17 日	第56回山城地方中学校駅伝競走大会　男子二連覇(男子41校出場)
22 年 4 月 1 日	テニスコート(２面)、バレーボールコート(１面)及び学校給食配膳室を新設
22 年 4 月 12 日	学校給食開始
22 年 6 月 19 日	第63回山城地方中学校陸上競技大会　男女総合優勝
22 年 10 月 16 日	第57回山城地方中学校駅伝競走大会　男女とも三位
22 年 12 月 7 日	「ことばの力」育成プログラム開発協力校研究成果発表会開催
23 年 4 月 1 日	京都府教育委員会「京の未来創造校」・木津川市教育委員会「教育実践推進校」の研究指定を受ける(平成23･24年度)　－質の高い教育をめざす授業改善システムの構築－
24 年 12 月 4 日	「質の高い教育を目指す学校改善システムの構築」研究発表会開催

2　教育

(1) 教育目標

質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する。

(2) めざす生徒像

○　自ら学び、考え、判断し行動する生徒

○　自他を大切にする生徒

○　身体をきたえる生徒

(3) 学校経営方針

ア　「木津川市教育振興計画～生きる力をはぐくみ　新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」をもとに、生徒・教職員が一体となって、「熱く、温かく、優しく」を合い言葉に、「元気な、ホットな、信頼される」学校づくりに取り組む。

イ　基礎・基本を徹底するとともに、授業方法の改善・工夫により質の高い学力の育成を目指す。

ウ　規範意識や人を大切にする心など、豊かな人間性をはぐくむため、人権教育を基盤に、道徳の授業や特別活動等における心の教育を充実する。

エ　心身ともにたくましく生きる力の育成に向けて、生徒の自主・自立を重視し、体験活動や部活動を活性化する。

オ　保護者、地域、関係機関と双方向の連携を強め、開かれた学校、安心・安全な信頼される学校づくりを進める。

カ　地域の教育資源を活用した特色ある取組を進め、生徒の豊かな体験活動を創造する。

(4) 重点目標

ア 学校づくり

・学校経営計画に基づいた教育活動を推進する。

・生徒、教職員、保護者等協働による、合い言葉「熱く、温かく、優しい」学校づくりを推進する。

・校区の小学校との連携により義務教育 9 年間見通した教育を推進する。

・人材育成を積極的に推進する。

イ 学力の充実・向上

・各調査等を生かし、生徒が生き生きと学ぶわかる授業を創造する。

・ICT の活用等、積極的に指導方法の工夫改善を図る。

・計画的、組織的に学力向上に向けた取組を推進する。

ウ 豊かな人間性の育成

・人、もの、授業を大切にする心の教育を充実させる。

・地域の人材等の活用により社会総がかりの取組を推進する。

・同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向けた学習や啓発を計画的指導を推進する。

・発達障害等を含む特別な支援を必要とする生徒に対する正しい理解と認識を培う特別支援教育の充実に努める。
・人権教育等に関わる教職員研修の一層の充実を図る。

エ 健やかな身体の育成

・健康で安全な生活の確保ための組織的・計画的な健康安全教育を推進する。
・部活動を活性化させる。

オ 生徒指導の充実

・規範意識の確立に努める。
・教職員の一致した指導と保護者、関係機関との連携を重視し、いじめ、暴力、不登校の未然防止や早期発見･早期対応に努める。
・各取組における生徒の良さやがんばりをていねいな評価と励ましにより、信頼関係を築くことを重視する。
・生徒の自主的・自立的な学習や活動を充実させる。

木津川市立山城中学校

山城中学校校歌

作詞　中谷　志津枝
作曲　中原　都男

一
山城平野ひろがりて
学びの園にしののめの
希望の星はまたたけり
仰ぐひとみに青春の
もゆるいのちは輝きぬ
我等が山城中学校

二
遠山なみに雲なびき
朝日夕日の照りはゆる
歴史ににおう我が里よ
輝く伝え生かしつつ
新たなる理想めざしゆく
我等が山城中学校

三
泉の川の水きよき
平和の姿たたえつつ
小やむときなく流れゆく
いざや友垣手をとりて
ともに睦ばむとこしえに
我等が山城中学校

郵便番号　６１９－０２０５
所在地　京都府木津川市山城町椿井柳田３３番地
電　話　（０７７４）８６－２００１
ＦＡＸ　（０７７４）８６－５３８１
Ｅｍａｉｌ　yamasiro-jhs@kyoto-be.ne.jp

1　学校の沿革

昭和22年５月	上狛町・高麗町・棚倉村組合立上狛中学校として開校
22年８月	校章制定
22年10月	上狛中学校育友会結成
23年７月	新校舎移転　２階建10教室竣工
23年７月	体育後援会の結成
24年12月	上狛中学校同窓会の結成
25年５月	本館棟並びに平屋建５教室竣工
27年１月	組合立山城中学校と校名を変更
31年８月	上狛町・高麗町・棚倉村の町村合併により山城町と命名され、それに伴い山城町立山城中学校と校名を変更
32年２月	校歌制定（作詞中谷志津枝氏・作曲中原都男氏）
34年10月	体育館（鉄筋コンクリート造）竣工（549㎡）
37年３月	技術科教室完成（147㎡）
38年２月	文部省指定産業教育研究発表会
42年４月	完全給食開始
42年６月	ＮＨＫ学校放送指定校となる（テレビ視聴）
45年３月	鉄筋コンクリート３階建　普通教室(9)の竣工
46年３月	〃　〃　特別教室(6)・準備室(4)の竣工
45年３月	〃　〃　管理室･図書室･視聴覚教室・会議室等の竣工
48年３月	校庭拡張･整備竣工（3,647㎡）
49年５月	技術科教室新築（198㎡）
51年３月	格技室の完成（旧技術科室の改修により）
51年８月	自転車置場の完成　防球ネット完成（南側）
53年３月	創立30周年記念にクラブボックスの完成（育友会より）
59年３月	鉄筋コンクリート２階建（地下倉庫）　普通教室(4)の増築竣工
59年４月	京都府社会福祉協力校指定（３ヵ年）
60年７月	京都府中学校陸上競技選手権大会　男子総合準優勝　女子総合優勝
61年11月	府・日本体育学校保健センター指定健康安全教育研究実践発表会
63年10月	第43回国民体育大会 京都国体開催 山城町会場(成年女子ソフトボール)
平成元年11月	文部省指定教育実践推進校　道徳教育研究発表会開催
９年10月	創立50周年記念式典開催（記念誌「わかば」発行）
11年７月	大規模改造工事（Ⅰ期・耐震）
12年７月	大規模改造工事（Ⅱ期・耐震）
13年２月	コンピュータ新機種の導入
14年４月	京都府教育委員会　環境教育推進校「京のエコスクール」（２ヵ年）指定
15年２月	第３回世界水フォーラム関連イベント「身近な川の生物調査を通じて、水辺環境の保全を考える」シンポジウム発表（於：京都テルサ）
15年４月	財団法人　省エネルギーセンター「省エネルギー教育推進モデル校」（３ヵ年）指定
15年11月	京都府教育委員会　環境教育推進校「京のエコスクール」研究発表会開催
15年11月	平成15年度優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰受賞（於：東京ホテルニューオオタニ）
16年２月	平成15年度省エネ学習事例発表全国大会発表（於：東京パナソニックセンター）
16年４月	通学服をブレザー等に変更
16年６月	財団法人　社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター「エネルギー教育実践校」（３ヵ年）指定
16年11月	社団法人　食品容器環境美化協会「第５回環境美化教育最優秀賞　文部科学大臣奨励賞」受賞
16年12月	財団法人　省エネルギーセンター「省エネ共和国」建国
17年２月	サンケイ新聞写真ニュースセンター「第１回学校自慢エコ大賞　中学校部門エコ大賞」受賞
18年10月	体育館竣工式
19年３月	日本エネルギー環境教育学会「第２回シンポジウム」発表（於：東京ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｾﾝﾀｰ）
19年３月	木津川市誕生に伴い、木津川市立山城中学校と改称
20年４月	文部科学省「公立中学校運動部活動振興事業」に指定
20年11月	コンピュータ等情報機器の新機種導入
21年４月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス･パートナーシップ･プロジェクト(SPP)」事業に採択
21年４月	相楽地方中学校教育研究会より平成21,22年度研究校に指定
22年４月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス･パートナーシップ･プロジェクト(SPP)」事業に採択
22年12月	相楽地方中学校教育研究会指定発表「質の高い学力の育成とその基盤となるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の育成」
23年２月	文部科学省委託「栄養教諭を中核とした食育推進事業」研究発表
23年４月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス･パートナーシップ･プロジェクト(SPP)」事業に採択
24年３月	平成２３年度交通安全優良校表彰
26年４月	独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス･パートナーシップ･プロジェクト(SPP)」事業に採択

2　教　育

(1) 学校教育目標

深く考え、明るく強く心豊かな生徒の育成

【めざす生徒像】

ア 自ら学ぶ意欲をもち、深く考える生徒
イ 豊かな心と協調性をもつ生徒
ウ 強い心身とたくましい実践力を備えた生徒

(2) 学校運営方針

上記の目標を達成するために、学習指導要領や府・市教育委員会の「教育振興基本計画」「学校教育の重点」等に即して創意ある教育計画を立案し、地域の実態に即して特色ある教育活動を推進する。そのため、教職員は教育公務員としての使命と責任を自覚し、不断の研さんと教職員評価の活用などを通して資質能力の向上に努める。

また保護者や地域社会との連携を深め、地域の力を活用することにより開かれた学校教育を推進し、信頼される学校づくりに努める。

ア 質の高い学力の育成と個性や能力の伸長を図る教育を推進する。
イ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を目指した活動を重視する。
ウ 教職員の資質能力の向上を図る研修や取組を充実する。
エ 日常の点検活動を重視した、安心・安全な教育環境づくりを推進する。
オ 地域の特性や保護者の願いを取り入れた教育を推進する。

(3) 重点目標

ア 質の高い学力の育成
- 個に応じた指導等により、質の高い学力を育成する。
- 学力向上プログラムの作成や小中連携などを推進し、指導方法の工夫改善に努める。
- 学力診断テストの分析結果などを活用し、指導と評価の一体化を図る。
- 家庭との連携を密にし、学習習慣の確立を図る。

イ 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成
- 道徳教育や人権教育を中心とした心の教育の充実を図る。
- 総合的な学習の時間等を活用し、体験的な活動を推進する。
- 課題のある生徒の個別支援計画の作成と活用を図る。
- 日常のすべての教育活動を通して体力の向上を図る。
- 規範意識やコミュニケーション能力等を高めることにより社会性の育成に努める。

ウ 地域の信頼を高める学校づくり
- 学校評価などを活用しながら教育活動の充実に努める。
- 家庭、地域社会、関係機関との連携を深め、開かれた学校づくりを進める。
- 情報や事例をもとに、安心・安全な教育環境づくりに努める。

(4) 具体的実践計画

努　力　点	実　　践　　事　　項
1　質の高い学力の育成	○研究授業等による授業の工夫改善 ・基礎・基本の定着・活用する力の育成 ・学習意欲の向上 ○山城中の授業スタイルの確立 ・「学びのための５つの約束」の徹底 ・「ねらい」「ひと工夫」「振り返り」の授業スタイルの確立 ○学力の課題分析と学力向上プログラムの検証改善 ○丁寧な個別指導 ・全校学習会の毎週実施と個別指導 ・「ふりかえりスタディ」「中２学力アップ講座」等の活用 ○小中連携を活用した授業研究会の実施 ○家庭と連携した学習習慣の確立 ・学習交流会等の工夫 ・広報活動と評価
2　豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成	○教職員研修の充実 ・道徳の授業研究の充実、人権教育・ライフスキル教育の充実 ○「総合的な学習の時間」等を利用した体験的活動の充実 ・福祉やボランティア活動の内容の充実 ○読書活動の推進（朝読書の充実） ○生徒の規範意識の醸成 ・「山城中学校のしおり」の徹底 ・「時間」「掃除」「あいさつ」など基本的行動の徹底 ○食育の取組等による健康な生活習慣の確立 ○魅力ある学校生活の構築（部活動の活性化など） ○ともに行動、ともに感動（ふれあいを大切に）
3　地域の信頼を高める学校づくり	○積極的な情報提示、学校公開と説明責任 ・保護者の立場に立った教育推進 ・学期に一回は保護者と直接会話 ○文書管理、守秘義務、服務規律の徹底 ○安心安全な学校生活の構築 ○地域で支える学校教育推進事業の活用 ・地域人材等の積極的活用 ・福祉やボランティア活動などによる地域貢献

(5) 研究テーマ

学び合い、高め合う授業の創造

○言語活動の充実を基盤とした、活用する力（思考力・判断力・表現力等）を育成する

○心（自尊感情、規範意識等）を育てる道徳の授業